

国際学類 ハンドブック

2024年度（令和6年度）入学者用

Student Guide 2024

金沢大学国際学類

School of International Studies, Kanazawa University

ようこそ、金沢大学国際学類へ！

国際学類長 中野 涼子

金沢大学国際学類に入学された皆さん、おめでとうございます。入学に関する一連の行事に参加して、大学生になったことを実感されているのではないのでしょうか。しかし、大学入学は一つの区切りであって終着点ではありません。これから始まる大学生活は、長い人生の中では一つのエピソードであり、高校時代とは異なる新たな学びの出発点です。

グローバル化が進み、不確実性の高まる現代の社会においては、もはや〇〇大学卒業というだけでは評価されません。大事なことは、そこで何を学び、何を考え、何を身につけたかということです。高校までは、大学入学が一つの目標であり、多くの教科で良い成績を取ることが大切だったかもしれません。でも、これからは、自分はこの広い社会の中で何をやりたいのか、そのために、金沢大学国際学類で何を学ぶことができるのかについて、じっくりと考えてみてください。国際学類では、「異文化とのしなやかな共生」の実現を目指し、世界と人間についての広い教養と優れたコミュニケーション能力を身につけることを重視してきました。ぜひ、自分にとって関心のあること、やってみたいことを見つけ、それについて主体的に深く学び、一生を通じて生かせることのできる真の実力を養っていきましょう。

この『国際学類ハンドブック』は、国際学類で学び、経験していく上での重要なガイドとなります。まずは熟読し、卒業までは手元に置いて大切に、必要に応じて参照して下さい。大学での学修計画は、規定に基づいて自分で作っていく必要があります。自らの意志で、何を中心に学んでいくかを決め、履修する授業を選択していかなければなりません。将来どんな職業に就きたいのか、そのためには何を学び、どのような能力を養う必要があるのか、留学や海外研修をどう組み入れるのか、そうしたことを常に意識しながら、様々な手続きやルールに従って卒業要件を満たしつつ、自分のための学修計画を立ててください。この『ハンドブック』には、そのために必要なさまざまな情報が掲載されています。

ただ、この『ハンドブック』だけではわからないこともあると思います。時には進むべき道に迷うかもしれません。そんな時は、遠慮なく教員や教務・学生支援担当の職員、信頼のおける同級生や先輩たちに相談して下さい。人に頼るのはよくないと思っている人もいるかもしれません。でも、人は頼り、頼られる社会的な存在です。他の人との対話をとおして、自分一人では考えもしなかった様々な発見や気づきがあるはず。一人で抱え込んだり、思い悩んだりするのではなく、「人を頼る力」、そして、「対話する力」という重要なスキルを身につけてください。

2008年4月に開設された国際学類も、今年度で17年目です。これまで、学類生たちには留学・海外研修などの海外体験を奨励してきており、その方針は今も変わっていません。コロナ禍に見舞われた時期には、実際の海外体験ができず、オンラインでの海外交流に限られたことがありましたが、通常は60%以上の学類生が海外の提携校に留学（半年～1年）、90%以上が何らかの海外研修に参加しており、昨年度はその傾向が大分戻ってきました。日本の社会とは異なる地域やコミュニティからの視点を得ることは、自分自身を見つめ直す上でもとても有益です。国際学類の卒業生たちが社会で活躍して高い評価を得てきたのも、それらが達成されたことであつたと思います。

一方、10年以上も経つと社会の在り方や関心も変化し、今までのシステムの問題点も見えてきます。国際学類でも2年前に、時代に即したより柔軟な学びが実現できるよう、カリキュラムを「プログラム制」に変更しました。最初から一つの専門に特化して学ぶのではなく、広い間口から入って、何を勉強するのかを段階的に選ぶことが可能で、必要に応じた軌道修正もしやすい形になっています。同時にそれは、学生である皆さんが主体的に自ら進むべき方向性を決めていくことが求められることでもあります。授業を通じた大学での学びや同級生、先輩、留学生らとの交流の機会を十分に生かしながら、ぜひ自分にとって有益な学びの場を作るよう努力してください。皆さんと共に、学び、悩み、そして、様々な発見をしていくことを楽しみにしています。

(2024年4月)

目次

国際学類担当教員	1
----------	---

学習計画について

1. 授業科目の配分について	4
2. 専門教育科目と共通教育科目の関連及び学域GS科目, 学域GS言語科目について	4
3. 各プログラムについて	7
4. 副専攻について	36
5. 免許状・資格修得のための履修について	36
(1) 教育職員免許状	36
(2) 卒業時に取得できる資格	37
開講されている所定の授業科目を修得することによって取得できる資格	
日本語教育専攻資格のための科目表	
(3) 学類の学習が結びつく受験資格	40
(4) その他の資格	40
6. 体験実習科目について	40
7. 短期留学及び海外研修について	42
8. 外部検定試験等による単位認定について	43
9. 富山大学人文学部及び信州大学人文学部との単位互換について	46

修学上の心得

1. 授業について	47
2. 専門科目の単位数について	47
3. 履修登録について	47
4. 定期試験について	47
5. 転学域・転学類・プログラム変更について	48
6. 授業科目履修の具体的方法について	48
7. アドバイス教員について	51
8. 研究演習について	51
9. 卒業論文について	51

一般心得について

1. 国際学類図書室について	54
2. 学生研究室について	54
3. 姓名等の変更・異動の届け出について	54
4. 休学・退学について	54
5. 事故等について	55
6. 非常時における授業・試験等の取扱いについて	55
7. 学生に対する公示について	55
8. 学生団体の結成届出について	55

9. 就職について	56
10. 駐車・駐輪について	56
11. 禁煙について	56
12. ゴミの分別収集について	57
13. 『金沢大学学生便覧』『きいつけまっし』参照事項	57

規 程

1. 金沢大学人間社会学域規程	58
2. 国際学類細則	77
3. 非常時等における緊急登学停止措置に関する要項（抄）	83
角間北地区校舎配置図	86

学習計画について

1. 授業科目の配分について

卒業及び学位修得に必要な単位については、人間社会学域規程のとおりです。共通教育科目と専門教育科目の中から、必要な単位を修得しなければなりません。両科目とも、1年次から配置されていますが、共通教育科目は主として低学年で、専門教育科目は高学年で修得するように配置されています。共通教育科目の単位修得要件（36単位）については、2年次前期、遅くとも2年次中には修得するよう計画してください。また、共通教育科目については、『共通教育科目履修案内』で確認してください。

学 年	授業科目の配置
4 年	専門教育科目 学域GS科目 学域GS言語科目 専門基礎科目 専門科目 (教職科目)
3 年	
2 年	
1 年	
	共通教育科目 導入科目 (1年前期に配当) GS科目・GS言語科目 自由履修科目・初習言語科目

2. 専門教育科目と共通教育科目の関連及び学域GS科目、学域GS言語科目について

国際学類細則による単位修得要件は、下表のとおりです。

細則 別表第1 単位修得要件

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共 通 教 育 科 目	導入科目	大学・社会生活論	1 単位	
		データサイエンス基礎	1 単位	
		地域概論	1 単位	
	GS科目(6群)	1 群から5 群の各群から2 単位を含む1 2 単位 6 群から3 単位 ※ ¹ 単一の群で3 単位を超える修得単位は、自由履修科目に算入する。 計1 5 単位		2 8 単 位 以 上
		GS言語科目	Practical Englishコース4 単位, EAPコース4 単位	
		自由履修科目※ ¹	2 単位以上	
基礎科目				
初習言語科目	1 言語8 単位以上			
専 門 教 育 科 目	学域GS科目※ ²	アカデミックスキル1 単位, プレゼン・ディベート論1 単位	6 単位以上	
		学域俯瞰科目		
		データサイエンス系応用科目2 単位以上		
	学域GS言語科目	2 科目2 単位		
	専門基礎科目※ ⁴	「国際学入門」「国際学入門 E」から1 単位, 「日本文化」「日本文化 E」から1 単位※ ³ , 「研究指導 1a, 1b, 2a, 2b」から1 単位を含め4 単位必修		
専門科目※ ⁴	卒業論文(6 単位), 研究演習(A Bから4 単位以上)を含む/プログラムごとに専門必修・選択必修科目2 6 単位必修, 選択科目3 8 単位必修※ ⁶			
卒業に必要な単位数		1 2 4 単位以上		

- ※1 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した単位、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）の単位を指します。
- ※2 学域GS科目の「学域俯瞰科目」、「データサイエンス応用系科目」として開講するGS科目発展系科目群の修得単位を含みます。
- ※3 Eプログラムにあっては、国際学入門E、日本文化Eが必修です。
- ※4 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業（Eを付した授業）を、英語圏研究プログラムにあっては6単位以上、Eプログラム以外の他のプログラムにあっては4単位以上修得してください。
- ※5 教職免許を取得するために必要な「教育の基礎的理解に関する科目等」や「各教科の指導法」の単位は、卒業要件に含まれないので、十分に注意してください。
- ※6 選択科目は、学域GS科目、専門基礎科目、各プログラムの専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を超えた単位及び他学域・他学類の科目で修得した単位（24単位まで）を含みます。
- なお、2年次には、複数のプログラムを選択し、3年次にはその中から1つのプログラムを選択することになり、専門必修・選択必修科目の修得要件もプログラムによって異なります。選択するプログラムの卒業要件のことも考慮に入れながら、1年次より計画的に単位修得が出来るよう学習計画を立ててください。

【学域GS科目及び学域GS言語科目の履修の注意】

①学域GS科目

学域GS科目は、共通教育科目のGS科目と同じように金沢大学<グローバル>スタンダード（KUGS）に対応して開講する専門教育科目で、8単位以上を選択して修得する必要があります。1年次前期（Q1・Q2）開講の「アカデミックスキル」「プレゼン・ディベート論」の計2単位は必修科目です。さらに、主に1年次後期（Q3・Q4）、2年次前期（Q1・Q2）に開講される学域GS科目のうち、データサイエンス応用系科目から2単位以上を選択して履修する必要があります。なお、国際学類では8単位を超えて修得した学域GS科目単位は「選択科目」に算入されます。

また、学域GS科目のうち学域俯瞰科目とデータサイエンス応用系科目は、システム抽選対象科目となります。履修登録期間内の登録者数が各科目の適正人数（受講上限数）を超えた場合、履修登録期間終了後に、共通教育科目と同じくシステムにより抽選が行われます。履修登録補正期間になると抽選結果をインターネットで確認できますので、履修が許可されなかった場合や履修登録を間違えた場合は、補正を行ってください。操作方法等は共通教育科目のシステム抽選対象科目と同じです。

②学域GS言語科目

学域GS言語科目は、人間社会学域専門教育科目の基礎的な内容を英語で話し、書き、発表することができるようになること、ひいては様々な実践的英語力を身につけ海外留学希望者の専門的な英語力の底上げを図ることを目的とした専門教育科目です。主に2年次に開講します。「学域GS言語科目Ⅰ」（1単位）、「学域GS言語科目Ⅱ」（1単位）及び「学域GS言語科目Ⅲ」各科目（各1単位）の中から2科目2単位修得する必要があります。

なお、学域GS言語科目は単位の重複履修が認められています（時間割が同じ時限の科目履修は不可）。ただし、本学類では2単位を超えて修得した学域GS言語科目の単位は卒業要件単位に含まれません。

また、授業による履修のほか、以下ア）～イ）の方法での単位修得も可能です。詳細は掲示等で案内します。

ア）外部検定試験による単位認定

外部検定試験で所定のスコアや成績を得た者は、申請により、学域GS言語科目の単位認定を受けることができます。

対象となる外部検定試験等は下表のとおりです。

試験名	スコア等成績		認定単位
	国際学類	左記以外の5学類	
TOEIC (Listening & Reading Test)	780 以上	630 以上	「学域 GS 言語科目 I・II」2 単位
TOEIC (Listening & Reading IP Test)	780 以上	630 以上	
TOEFL iBT	83 以上	64 以上	
TOEFL ITP	550 以上	513 以上	
IELTS	6.0 以上	5.5 以上	

注：オンラインで受験する形式の検定試験は単位認定対象の検定試験に含めません。

単位認定についての留意事項

- ・ 成績評価は「認定」となります。
- ・ 認定された科目はGPA算出の対象外となります。
- ・ 認定単位数は、クォーターで定められた上限単位数には含めません。
- ・ 本制度による「学域GS言語科目」認定単位は2単位を限度とします。「学域GS言語科目 I・II」のうち、既にどちらか1単位を修得している場合は、未修得の残りの1単位分を認定します。

イ) 派遣留学や海外研修による単位修得方法

<派遣留学（本学との交流協定に基づく外国の大学への留学）>

留学先大学で修得した科目のシラバスの内容により、「学域GS言語科目」に限らず、その他の専門教育科目や共通教育科目全般が認定の対象科目となります。申請を希望する場合は、派遣留学前に人間社会系事務部学生課教務・学生支援担当に相談してください。

<派遣留学以外の海外研修>

本学域各学類提供の海外研修プログラムや海外研修・留学関係のWebサイト掲載の各種プログラムでの海外研修を行った場合、当該プログラムで規定される授業科目単位（学域GS言語科目以外の授業科目もあります）の修得が可能です。詳細は掲示等で案内します。

【言語コミュニケーション科目】

言語コミュニケーション科目とは、細則別表第3の「言語系専門科目群」の中に記載されている科目で、選択するプログラムの専門必修・選択必修科目の要件に応じて修得する必要があります。

3. 各プログラムについて

1年次の間は、共通教育科目や1年次用に開講される専門教育科目を履修しますが、2年次からはプログラムの登録をして、各プログラムの専門教育科目を中心に学ぶことになります。2年次になる段階では、複数のプログラムを選んで登録し、3年次になる段階で1つに絞り込んで主専攻プログラムとして登録します。登録した主専攻プログラムの科目表に則って所定の科目・単位数を修得し、単位修得要件を満たせば、卒業と判定されて学士(国際学)の学位が授与されます。なお、2年次で登録しているながら3年次で主専攻としなかったプログラムについては、所定の手続きを取ることで副専攻(P.36～)として登録することができます。なお、4年次になる段階で主専攻プログラムを変更することも可能です(P.48)。

国際学類には以下の10のプログラムがあり、その性質によって大きく3つの系に分類されています。

学類	系	プログラム	適正人数
国際学類	国際関係・国際協力系	国際政治プログラム	上限なし
		国際政治Eプログラム	上限なし
		国際経済プログラム	上限なし
		国際経済Eプログラム	上限なし
	地域研究系	英語圏研究プログラム	上限なし
		英語圏研究Eプログラム	上限なし
		ヨーロッパ圏研究プログラム	上限なし
		アジア・日本研究プログラム	上限なし
	インクルーシブ社会構築系	グローバルDEIプログラム*	上限なし
		日本語教育プログラム	15名

*グローバルDEIプログラムのDEIとは、Diversity, Equity & Inclusion(多様性, 公正性, 包括性)の略。

上記の表の10プログラムのなかには3つの「Eプログラム」があります。これは、本学の推進する「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」という方針に基づいて設置された、英語による授業科目のみを履修して修了できるプログラムです。Eプログラムの専門必修・選択必修科目は、E科目(英語による授業科目で一定の単位数修得が卒業要件となっている科目)、「E」はついていないものの主に英語で開講される科目(シラバスにEMI科目と表示される)、及び英語コミュニケーション科目で構成されています。なお、日本語ほか英語以外の言語による授業科目を単位修得した場合には、選択科目として卒業のための単位修得要件に含めることができます。

プログラム制では、原則、各プログラムに適正人数(主専攻として登録できる上限数)はありませんが、日本語教育プログラムだけ15名となっています。これは本プログラムが原則履修すべき科目としている「日本語教育実習1」(大学留学生)が、科目の性質上、人数制限を必要とするためです。本プログラムの主専攻登録希望者が適正人数を超えた場合には、GPA値(P.50～)及び面接による選抜を行い、結果によっては、第2希望に回ってもらうことになります。

また、国際政治Eプログラム、国際経済Eプログラム、英語圏研究Eプログラム希望者は、3年次進級時にTOEFL-iBT 72以上、TOEFL-ITP 530以上又はIELTS 5.5以上のスコアを提出する必要があります。英語圏研究プログラム希望者は、3年次進級時にTOEFL-iBT、TOEFL-ITP又はIELTSのスコアを提出する必要があります(英語圏研究プログラム配属にあたってはスコアに基準はありません)。

プログラム選択の手続き等の詳細については、説明会等を開催してお知らせします。

別表第2の1 学域GS科目

	科目番号	科目名	学 年	単 位 数	卒業に必要な単位数		備考 (履修制限等)	
					必修	選択必修		
目 初 学 者 科	10301	アカデミックスキル	1	1	1		重複履修不可	
	10302	プレゼン・ディベート論	1	1	1		重複履修不可	
学 域 俯 職 科 目	10016	ジェンダーと教育	1~4	1			重複履修不可	
			1~4	1				
	10019	異文化理解1	1~4	1				
	10020	異文化理解2	1~4	1			国際学類生は学域GS科目として履修不可	
	10090	国際学入門E	1~4	1				
	10091	日本文化E	1~4	1				
	10021	文学概論1	1~4	1				
	10022	文学概論2	1~4	1				
	10023	世界遺産学	1~4	1				
	10059	ルールリテラシー	1~4	1				
	10060	人文社会科学における法	1~4	1				
	10026	イメージの比較文化学	1~4	1				
	10058	防災学入門	1~4	2			集中講義	
	10083	マクロ経済学I	2~4	2				
	10084	ミクロ経済学I	1~4	2				
	10087	経営学概論	1~4	2				
	10088	経済史	2~4	2				
	10082	基礎統計学	1~4	2				
	10085	経済学史	2~4	2				
	10086	日本経済論	1~4	2				
	10089	経済事情(日本の財政金融と北陸経済)	2~4	2				
	10093	金沢大学の歴史を学ぶ(自校教育入門)	1~4	1			重複履修不可	
			1~4	1				
	10094	泉鏡花と金沢アート(STEAM教育入門)	1~4	1				
	100aa	質的統合法(KJ法)基礎を学ぶ	1~4	1				
			1~4	1				
	10096	イノベーション人材論	1~4	1			重複履修不可	
			1~4	1				
	10092	アジア研究基礎	2~4	1				
	10027	現代日本の文化と社会	2~4	1				
	10028	地域創造学1	2~4	1			地域創造学類生は学域GS科目として履修不可	
	10029	地域創造学2	2~4	1				
	95050	教育の制度と経営	3~4	2			学校教育学類以外	
95270	生徒の生活と進路の指導論	3~4	2			学校教育学類以外		
12BAB00	教育の思想と歴史(日本)	1~4	1					
12BCB00	教育制度概論(就学保障と学校安全)	2~4	1			学校教育学類共同教員養成課程生は必修科目(学校教育学類共同教員養成課程生のみ履修可)		
12BGB00	道徳教育論(指導法)	3~4	1					
12BNA00	子どもの生活とキャリア教育	2~4	1					
100ab	ベシック法学	—	2					
学域GS俯瞰発展系科目群(※1参照)は別に定める。								
GS科目発展系科目群(※2参照)は別に定める。								
6 国際基幹教育院提供								
学 域 G S 科 目	10070	データサイエンスの技術	1~4	1				
	10063	国際経済の理論とデータ	2~4	1			国際学類生・経済学類生は履修不可	
	10064	国際貿易の理論とデータ	2~4	1			国際学類生・経済学類生は履修不可	
	10065	データの活用に向けた線形代数学入門	2~4	2			令和3年度入学の学校教育学類生は履修不可。幾何学概論Iと幾何学概論IIとの同時履修は不可	
	10066	情報処理	2~4	1			経済学類生は学域GS科目として履修不可	
	10067	計量政治分析実習	3~4	2			法学類生は学域GS科目として履修不可	
	10080	人文学のためのデータサイエンスA	1~4	1				
	10081	人文学のためのデータサイエンスB	1~4	1				
	10097	政治・行政の調査と分析A	1~4	1				
	10098	政治・行政の調査と分析B	1~4	1				
	1000A	学校教育データサイエンス応用A	3~4	1				
	1000B	学校教育データサイエンス応用B	3~4	1				
	1000C	地域情報分析概論I	1~4	1				
	1000D	地域情報分析概論II	1~4	1				
	1000E	機械学習による企業の競争優位性の創出	1~4	1				
	10068	統計学技能I	—	2				
	10069	統計学技能II	—	3				
	学域データサイエンス系発展系科目群(※1参照)は別に定める。							
	GS科目発展系科目群(※2参照)は別に定める。							
	2 国際基幹教育院提供							
学域GS科目 小計 8								

※1 当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、履修登録期間前に公示する。

※2 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目(GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。)を履修することができる。なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、履修登録期間前に公示する。

※3 学校教育学類以外の教員免許取得のための科目でもある「教育の制度と経営」及び「生徒の生活と進路の指導論」は本規程第8条第2項に従い、履修登録単位数の上限(CAP)の対象としない。

別表2の2 学域GS言語科目

区分	科目番号	科目名	学年	単位数		備考
				必修	選択必修	
学域GS 言語科目	10101	学域GS言語科目Ⅰ	2～4	}	1	海外研修等 留学生対象
	10102		1～4			
	10103	学域GS言語科目Ⅰ（日本語）				
	10201	学域GS言語科目Ⅱ	2～4	}	1	海外研修等 留学生対象
	10202		1～4			
	10203	学域GS言語科目Ⅱ（日本語）				
	10401	学域G S 言語科目Ⅲ(Presentation)	2～4	}	2	未来創成教育 環開講
	10402	学域G S 言語科目Ⅲ(Interaction)	2～4			
	10403	学域G S 言語科目Ⅲ(English for STEM)	2～4			
	10404	学域G S 言語科目Ⅲ(Science and Society)	2～4			
10405	学域G S 言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2～4				

※ 開講時期及び履修方法等の詳細は各学類で別に定める。ただし、学域GS言語科目Ⅲの開講時期は未来創成教育環が別に定める。

※ 科目番号10102及び10202は、海外研修等による単位認定時のみ使用する。

※ 科目番号10103及び10203は、日本語学習が必要と認める外国人留学生のみ履修可能の科目である。

別表第3 専門科目

科目区分	科目番号	授業科目	学年	単位数	上段：系 下段：プログラム (◎は必修、○は選択必修)										備考
					国際関係・国際協力系					地域研究系			インクルーシブ社会構築系		
					国際政治	国際政治E	国際経済	国際経済E	英語圏研究	英語圏研究E	ヨーロッパ圏研究	アジア・日本研究	グローバルDEI	日本語教育	
専門基礎科目	16202	国際学入門	1	1	○		○		○		○	○	○	○	2科目から1単位必修 2科目から1単位必修 4科目から1単位必修 4単位必修
	16402	国際学入門 E	1	1	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	○	
	16214	日本文化	1	1	○		○		○		○	○	○	○	
	16414	日本文化 E	1	1	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	○	
	16417	研究指導 1a	2	0.5	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	○	
	16418	研究指導 1b	2	0.5	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	○	
	16419	研究指導 2a	2	0.5	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	○	
16420	研究指導 2b	2	0.5	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	○		
専門教育科目	国際関係・国際協力系共通科目群	16479	国際関係論 *1	2~4	2	○		○		○		○	○	○	国際政治・国際経済・グローバルDEIは*1と*2の2科目から2単位必修。国際政治E・国際経済Eは*2と*3の2科目から2単位必修。
		16269	国際関係論 E *2	2~4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		16209	国際協力論 1	2~4	1	○		○						○	
		16409	国際協力論 2	2~4	1	○		○						○	
		16068	国際政治経済論	2~4	2	○		○							
		16069	国際公共政策論	2~4	2	○		○						○	
		16271	国際機構論 E *3	2~4	2	○	○	○	○		○			○	
		16480	比較教育学 1E	2~4	1		○		○		○			○	
		16481	比較教育学 2E	2~4	1		○		○		○			○	
		16482	比較教育学 3E	2~4	1		○		○		○			○	
		16483	比較教育学 4E	2~4	1		○		○		○			○	
		16484	国際私法 A	3~4	2			○						○	
		16485	国際私法 B	3~4	2			○						○	
		52020	国際社会論特論 1	2~4	1	○		○							
	52520	国際社会論特論 2	2~4	1	○		○								
	16062	国際学特論 E	2~4	2	○	○	○	○							
	国際関係・国際協力系専門科目	52533	憲法（統治）A	3~4	2	○									国際政治・国際政治Eは4科目から2単位必修
		52534	憲法（統治）B	3~4	2	○									
		16049	国際コミュニケーション論	2~4	2	○		○						○	
		52529	国際法概論A	2~4	2	○		○							
		52530	国際法概論B	2~4	2	○		○							
		52541	グローバル・ガバナンス論	2~4	2	○		○							
		52537	グローバル・ガバナンス論 E	2~4	2	○	○	○	○						
		52542	国際制度論	2~4	2	○		○						○	
		16257	国際政治史 1	2~4	1	○									
		16457	国際政治史 2	2~4	1	○									
		52026	国際政治史（東洋）1E	2~4	1	○	○	○	○			○			
		52526	国際政治史（東洋）2E	2~4	1	○	○	○	○			○			
52338		国際政治史（西洋）1E	2~4	1	○	○	○	○	○	○					
52838		国際政治史（西洋）2E	2~4	1	○	○	○	○	○	○					
52538	平和構築論 E	2~4	2	○	○	○	○		○			○			
52539	外交入門 1E	2~4	1	○	○	○	○								
52540	外交入門 2E	2~4	1	○	○	○	○								
国際経済科目群	16206	国際経済学 1	2~4	1	○		○						○	国際経済は8科目から2単位必修、国際経済Eは4科目から2単位必修	
	16406	国際経済学 2	2~4	1	○		○						○		
	16260	国際経済学 1E	2~4	1	○	○	○	○		○			○		
	16460	国際経済学 2E	2~4	1	○	○	○	○		○			○		
	16208	国際貿易論 1	2~4	1	○		○						○		
	16408	国際貿易論 2	2~4	1	○		○						○		
	16261	国際貿易論 1E	2~4	1	○	○	○	○		○			○		
16461	国際貿易論 2E	2~4	1	○	○	○	○		○			○			

科目区分	科目番号	授業科目	学年	単位数	上段：系 下段：プログラム (◎は必修、○は選択必修)										備考		
					国際関係・国際協力系					地域研究系				インクルーシブ社会構築系			
					国際政治	国際政治E	国際経済	国際経済E	英語圏研究	英語圏研究E	ヨーロッパ圏研究	アジア・日本研究	グローバルDEI	日本語教育			
国際関係・国際協力系専門科目	国際経済科目群	16264	国際開発論 1	2~4	1	○		○		○			○	○		国際経済は4科目から2単位必修	
		16464	国際開発論 2	2~4	1	○		○		○			○	○			
		16262	国際開発論 1E	2~4	1	○	○	○	◎	○	○		○	○			
		16462	国際開発論 2E	2~4	1	○	○	○	◎	○	○		○	○			
	国際政治科目群		51032	国際経済法	3~4	2			○								
			51033	国際取引法 A	3~4	2			○								
			51034	国際取引法 B	3~4	2			○								
			51029	国際金融論	2~4	2	○		○								
			51030	国際金融史	2~4	2			○	○							
			51031	国際経営論	2~4	2			○	○							
		51035	計量経済学	2~4	2			○	○								
		51036	国際マーケティング論	2~4	2			○	○								
地域研究系共通科目群		51037	グローバル経済史	2~4	2			○	○	○	○	○					
		52029	文化人類学概論 A	3~4	1					○		○	○	○	○		
		52030	文化人類学概論 B	3~4	1					○		○	○	○	○		
		52031	文化人類学講義	3~4	1							○					
		52027	比較文化論 A1	2~4	1							○					
		52527	比較文化論 A2	2~4	1							○					
		52028	比較文化論 B1	2~4	1							○					
		52528	比較文化論 B2	2~4	1							○					
		36318	地理学概論A	2~4	2								○				
		51010	世界地誌 A	2~4	2	○		○					○	○			
	51011	世界地誌 B	2~4	2	○		○		○	○			○				
地域研究系専門科目	日本研究科目群	16212	日本の思想と宗教 1	2~4	1								○	○		アジア・日本は2科目から1単位必修	
		16412	日本の思想と宗教 2	2~4	1								○	○			
		16213	日本史概説 1	2~4	1									○	○		
		16413	日本史概説 2	2~4	1									○	○		
		16415	日本史概論 1	3~4	1									○	○		
		16416	日本史概論 2	3~4	1									○	○		
		16014	日本経済論	2~4	2			○						○	○		
		16265	日本民俗文化論 1E	2~4	1									○	○		
		16465	日本民俗文化論 2E	2~4	1									○	○		
		16067	日本の文学	2~4	2									○	○		
		16469	日本の古典文学 1	2~4	1									○	○		
		16470	日本の古典文学 2	2~4	1									○	○		
	16238	日本文化体験 A	2~4	2									○	○			
	16239	日本文化体験 B	2~4	2									○	○			
	16477	日本文化体験 C	2~4	1									○	○			
	16478	日本文化体験 D	2~4	1									○	○			
	16471	日本の近代文学 1	2~4	1									○	○			
	16472	日本の近代文学 2	2~4	1									○	○			
	16473	日本の現代文学 1	2~4	1									○	○			
	16474	日本の現代文学 2	2~4	1									○	○			
	52635	日本研究特論 1	2~4	1									○	○			
	52636	日本研究特論 2	2~4	1									○	○			
	16475	日本研究特論 1E	2~4	1									○	○			
	16476	日本研究特論 2E	2~4	1									○	○			
	52132	日本思想史 1	2~4	1									○	○			
	52632	日本思想史 2	2~4	1									○	○			
	52133	日本史特論 1	2~4	1									○	○			
	52633	日本史特論 2	2~4	1									○	○			

科目区分	科目番号	授業科目	学年	単位数	上段：系 下段：プログラム (◎は必修、○は選択必修)										備考			
					国際関係・国際協力系				地域研究系			インクルーシブ社会構築系						
					国際政治	国際政治E	国際経済	国際経済E	英語圏研究	英語圏研究E	ヨーロッパ圏研究	アジア・日本研究	グローバルDEI	日本語教育				
専門教育科目 地域研究系専門科目 アジア研究科目群	52201	東アジア史概説 A1	2~4	1														
	52701	東アジア史概説 A2	2~4	1														
	52202	東アジア史概説 B1	2~4	1														
	52702	東アジア史概説 B2	2~4	1														
	52241	現代中国論 A1	2~4	1	○		○											
	52741	現代中国論 A2	2~4	1	○		○											
	52242	現代中国論 B1	2~4	1	○		○											
	52742	現代中国論 B2	2~4	1	○		○											
	52243	現代中国論 1E	2~4	1	○	○	○	○										
	52743	現代中国論 2E	2~4	1	○	○	○	○										
	52206	アジア経済史 A1	2~4	1				○										
	52706	アジア経済史 A2	2~4	1				○										
	52207	アジア経済史 B1	2~4	1				○										
	52707	アジア経済史 B2	2~4	1				○										
	52210	東アジア国際交流史 1	2~4	1									○	○				
	52710	東アジア国際交流史 2	2~4	1									○	○				
	52211	東南アジア研究	2~4	1									○					
	52212	南アジア文化論	2~4	1									○					
	52249	南アジア地域論	2~4	1				○					○					
	52213	仏教文化論	2~4	1									○					
	52250	比較文化概説 A	2~4	1									○					
	52251	比較文化概説 B	2~4	1									○					
	52216	現代中国文化論 1	3~4	1									○					
	52716	現代中国文化論 2	3~4	1									○					
	52217	韓国・北朝鮮研究 1	2~4	1	○								○					
	52717	韓国・北朝鮮研究 2	2~4	1	○								○					
	52244	中国の文化と社会 1E	2~4	1									○					
	52744	中国の文化と社会 2E	2~4	1									○					
	52220	アジア研究特論 A1	2~4	1									○					
	52720	アジア研究特論 A2	2~4	1									○					
	52221	アジア研究特論 B1	2~4	1									○					
	52721	アジア研究特論 B2	2~4	1									○					
	52268	アジア研究特論 1E	2~4	1									○					
	52768	アジア研究特論 2E	2~4	1									○					
	52245	東アジア社会と教育 A1	2~4	1									○	○	○			
	52745	東アジア社会と教育 A2	2~4	1									○	○	○			
	52246	東アジア社会と教育 B1	2~4	1									○	○	○			
	52746	東アジア社会と教育 B2	2~4	1									○	○	○			
	52269	東アジアの社会学と人類学 A1	2~4	1									○	○				
	52769	東アジアの社会学と人類学 A2	2~4	1									○	○				
	52270	東アジアの社会学と人類学 B1	2~4	1									○	○				
	52770	東アジアの社会学と人類学 B2	2~4	1									○	○				
	52054	人類学的異文化理解	3~4	1			○	○	○				○					
	英語圏研究科目群	52334	米英研究 A1	2~4	1						○	○						
		52834	米英研究 A2	2~4	1						○	○						
		52335	米英研究 B1	2~4	1						○							
		52835	米英研究 B2	2~4	1						○							
		52345	アメリカ地域文化論 1E	2~4	1						○	○		○				英語圏・英語圏Eは2科目から1単位必修
		52845	アメリカ地域文化論 2E	2~4	1						○	○		○				
		52356	米英文化関係論 1E	2~4	1						○	○		○				英語圏・英語圏Eは2科目から1単位必修
	52856	米英文化関係論 2E	2~4	1						○	○		○					

科目区分	科目番号	授業科目	学年	単位数	上段：系 下段：プログラム (◎は必修、○は選択必修)										備考		
					国際関係・国際協力系					地域研究系						インクルーシブ社会構築系	
					国際政治	国際政治E	国際経済	国際経済E	英語圏研究	英語圏研究E	ヨーロッパ圏研究	アジア・日本研究	グローバルDEI	日本語教育			
専門教育科目	英語圏研究科目群	52347 イギリス地域文化論 1E	2~4	1					○	○						英語圏・英語圏Eは2科目から1単位必修	
		52847 イギリス地域文化論 2E	2~4	1					○	○					○		
		51362 英語学概説 1	2~4	1						○							
		51363 英語学概説 2	2~4	1						○							
		51364 英語学概説 1E	2~4	1						○	○						
		51365 英語学概説 2E	2~4	1						○	○						
		52350 米英メディア文化論 1E	2~4	1			○	○	○	○							
		52850 米英メディア文化論 2E	2~4	1			○	○	○	○							
		52316 アメリカ経済論 1E	2~4	1			○	○	○	○							
		52816 アメリカ経済論 2E	2~4	1			○	○	○	○							
		51366 北米文化論 1	3~4	1						○					○		
		51367 北米文化論 2	3~4	1						○					○		
		52339 米英政治・外交論 1	2~4	1		○		○		○							
		52839 米英政治・外交論 2	2~4	1		○		○		○							
		52337 米英政治・外交論 1E	2~4	1		○	○	○	○	○	○						
		52837 米英政治・外交論 2E	2~4	1		○	○	○	○	○	○						
		52333 英文法教授法	2~4	1						○							
		52363 米英研究特論 1	2~4	1						○							
		52364 米英研究特論 2	2~4	1						○							
		52359 英語圏文化論 1E	2~4	1						○	○				○		
	52859 英語圏文化論 2E	2~4	1						○	○				○			
	52357 Business Communication	2~4	1			○	○	○	○								
	52358 Management Communication	2~4	1			○	○	○	○								
	地域研究系専門科目	ヨーロッパ圏研究科目群	53036 西洋近・現代史概説	2~4	2							◎					
			52489 現代ヨーロッパ社会論	2~4	2			○				◎		○			
			52405 ヨーロッパの宗教 1	2~4	1							○		○			
			52905 ヨーロッパの宗教 2	2~4	1							○		○			
			52410 美術史 1E	2~4	1							○					
			52910 美術史 2E	2~4	1							○					
			52411 美術史 3E	2~4	1							○					
			52911 美術史 4E	2~4	1							○					
			51477 ドイツ文学史 A1	2~4	1							○					
			51478 ドイツ文学史 A2	2~4	1							○					
			51479 ドイツ文学史 B1	2~4	1							○					
			51480 ドイツ文学史 B2	2~4	1							○					
			51481 フランス文学史 A1	2~4	1							○					
			51482 フランス文学史 A2	2~4	1							○					
			51483 フランス文学史 B1	2~4	1							○					
			51484 フランス文学史 B2	2~4	1							○					
			52445 ヨーロッパ生活論 1E	2~4	1							○				○	
			52945 ヨーロッパ生活論 2E	2~4	1							○				○	
			52446 ヨーロッパ研究特論 1	2~4	1							○					
			52946 ヨーロッパ研究特論 2	2~4	1							○					
			52447 ヨーロッパ研究特論 1E	2~4	1							○					
			52947 ヨーロッパ研究特論 2E	2~4	1							○					
			52448 ヨーロッパ研究特論 3E	2~4	1							○					
			52948 ヨーロッパ研究特論 4E	2~4	1							○					
			53037 ヨーロッパ歴史特論 A	2~4	2							○					
			53038 ヨーロッパ歴史特論 B	3~4	2							○					
			52470 ヨーロッパ文化特論 A1	2~4	1							○					
52970 ヨーロッパ文化特論 A2			2~4	1							○						

科目区分	科目番号	授業科目	学年	単位数	上段：系 下段：プログラム (◎は必修、○は選択必修)										備考			
					国際関係・国際協力系					地域研究系						インクルーシブ社会構築系		
					国際政治	国際政治E	国際経済	国際経済E	英語圏研究	英語圏研究E	ヨーロッパ圏研究	アジア・日本研究	グローバルDEI	日本語教育				
地域研究系専門科目	ヨーロッパ圏研究科目群	52471	ヨーロッパ文化特論 B1	3~4	1								○					
		52971	ヨーロッパ文化特論 B2	3~4	1									○				
		52472	ヨーロッパ社会特論 A1	2~4	1									○				
		52972	ヨーロッパ社会特論 A2	2~4	1									○				
		52473	ヨーロッパ社会特論 B1	3~4	1									○				
		52973	ヨーロッパ社会特論 B2	3~4	1									○				
		52490	ヨーロッパ社会特論 CE	2~4	2									○	○			
		52491	アフリカ概説 1	2~4	1	○		○						○				
		52492	アフリカ概説 2	2~4	1	○		○						○				
		52481	ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義A	2~4	1									○				
		52482	ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義B	2~4	1									○				
		52483	ヨーロッパ・アフリカ史演習A	2~4	1									○				
		52484	ヨーロッパ・アフリカ史演習B	2~4	1									○				
		52485	ヨーロッパ・アフリカ史演習C	2~4	1									○				
		52486	ヨーロッパ・アフリカ史演習D	2~4	1									○				
		52487	ヨーロッパ・アフリカ史演習E	2~4	1									○				
		52488	ヨーロッパ・アフリカ史演習F	2~4	1									○				
		52493	アフリカ研究	2~4	1									○				
専門教育科目	グローバルDEI専門科目群	16210	異文化理解 1	1	1	○		○		○		○	○	◎	○			
		16410	異文化理解 2	1	1	○		○		○		○	○	◎	○			
		52051	ジェンダーと社会 A	1~4	1									○	○			
		52052	ジェンダーと社会 B	1~4	1									○	○			
		52053	比較ジェンダー論 E	2~4	2		○	○	○					○				
		52055	マイノリティとメディア文化論 1E	2~4	1									◎				
		52056	マイノリティとメディア文化論 2E	2~4	1									◎				
		52018	多文化主義論 1E	3~4	1									○	○			
		52518	多文化主義論 2E	3~4	1									○	○			
		52021	地球環境論 1E	2~4	1	○	○	○	○					○				
		52521	地球環境論 2E	2~4	1	○	○	○	○					○				
		52535	憲法(人権) A	2~4	2	○								○	○			
		52536	憲法(人権) B	2~4	2	○								○	○			
		52252	イスラーム社会と文化	3~4	1			○						○	○	○		
		16221	日本語教育学基礎 1	2~4	1									○	◎			
		16421	日本語教育学基礎 2	2~4	1									○	◎			
		52117	日本語教育史 1	3~4	1									○				
		52617	日本語教育史 2	3~4	1									○				
51141	日本語教育実習 1(大学留学生)	3~4	1									○						
51142	日本語教育実習 2(生活者)	3~4	1									○						
51143	日本語教育実習 3(児童・生徒)	3~4	1									○						
51144	日本語教育実習 4(日本語学校留学生)	3~4	1									○						
51134	海外日本語教育実習	3~4	2									○						
52107	日本語教科書研究 1	2~4	1									◎						
52607	日本語教科書研究 2	2~4	1									◎						
52108	日本語教授法 A1	2~4	1									◎						
52608	日本語教授法 A2	2~4	1									◎						
52112	日本語教授法 B1	3~4	1									◎						
52612	日本語教授法 B2	3~4	1									◎						
52113	第二言語習得論 1	3~4	1									○						
52613	第二言語習得論 2	3~4	1									○						
52645	言語学概論A	2~4	1									○						
52646	言語学概論B	2~4	1									○						
52647	言語学概論C	2~4	1									○						

日本語教育は5科目から2単位必修

科目区分	科目番号	授業科目	学年	単位数	上段：系 下段：プログラム (◎は必修、○は選択必修)							備考										
					国際関係・国際協力系			地域研究系			インクルーシブ社会構築系											
					国際政治	国際政治E	国際経済	国際経済E	英語圏研究	英語圏研究E	ヨーロッパ圏研究		アジア・日本研究	グローバルDEI	日本語教育							
インクルーシブ社会構築系専門科目群	52648	言語学概論D	2~4	1																○		
	52649	対照言語学 1	3~4	1																○		
	52650	対照言語学 2	3~4	1																○		
	52651	認知言語学 1	3~4	1																○		
	52652	認知言語学 2	3~4	1																○		
	52655	発達と学習の心理 A	2~4	1																○		
	52656	発達と学習の心理 B	2~4	1																○		
	52124	社会言語学 1	3~4	1																◎		
	52624	社会言語学 2	3~4	1																◎		
	51145	日本語教育評価法	3~4	1																○		
	16270	日本語学概論A	2~4	2								○								◎		
	16468	日本語学概論B	2~4	2								○								◎		
	52641	日本語史 1	2~4	1																○		
	52642	日本語史 2	2~4	1																○		
	52657	日本語文法 1	2~4	1																○		
	52658	日本語文法 2	2~4	1																○		
	52659	日本語教育とICT	3~4	1																○		
	52643	日本語音声学 1	2~4	1																○		
	52644	日本語音声学 2	2~4	1																○		
	専門教育科目	中国語コミュニケーション科目群	52748	中国語コミュニケーション初級 1	2~4	1	○	○					○	○								
52749			中国語コミュニケーション初級 2	2~4	1	○	○					○	○									
52750			中国語コミュニケーション初級 3	2~4	1	○	○					○	○									
52751			中国語コミュニケーション初級 4	2~4	1	○	○					○	○									
52752			中国語コミュニケーション初級 5	2~4	1	○	○					○	○									
52753			中国語コミュニケーション初級 6	2~4	1	○	○					○	○									
52754			中国語コミュニケーション初級 7	2~4	1	○	○					○	○									
52755			中国語コミュニケーション初級 8	2~4	1	○	○					○	○									
52271			実践中国語 1	2~4	1	○	○					○	○									
52271			実践中国語 2	2~4	1	○	○					○	○									
52226		中国語表現法 A1	3~4	1	○	○					○	○										
52226		中国語表現法 A2	3~4	1	○	○					○	○										
52227		中国語表現法 B1	3~4	1	○	○					○	○										
52227		中国語表現法 B2	3~4	1	○	○					○	○										
52228		現代中国時事文 A1	3~4	1	○	○					○	○										
52228		現代中国時事文 A2	3~4	1	○	○					○	○										
52229		現代中国時事文 B1	3~4	1	○	○					○	○										
52229		現代中国時事文 B2	3~4	1	○	○					○	○										
朝鮮語コミュニケーション科目群		52756	朝鮮語コミュニケーション初級 1	2~4	1	○	○					○	○								国際政治、国際経済、アジア・日本、グローバルDEIは、本科目群から8単位までプログラム専門必修・選択必修科目の卒業要件単位に含むことができる	
		52757	朝鮮語コミュニケーション初級 2	2~4	1	○	○					○	○									
	52758	朝鮮語コミュニケーション初級 3	2~4	1	○	○					○	○										
	52759	朝鮮語コミュニケーション初級 4	2~4	1	○	○					○	○										
	52760	朝鮮語コミュニケーション初級 5	2~4	1	○	○					○	○										
	52761	朝鮮語コミュニケーション初級 6	2~4	1	○	○					○	○										
	52762	朝鮮語コミュニケーション初級 7	2~4	1	○	○					○	○										
	52763	朝鮮語コミュニケーション初級 8	2~4	1	○	○					○	○										
	52764	朝鮮語コミュニケーション中級 1	3~4	1	○	○					○	○										
	52765	朝鮮語コミュニケーション中級 2	3~4	1	○	○					○	○										
52766	朝鮮語コミュニケーション中級 3	3~4	1	○	○					○	○											
52767	朝鮮語コミュニケーション中級 4	3~4	1	○	○					○	○											

科目区分	科目番号	授業科目	学年	単位数	上段：系 下段：プログラム (◎は必修、○は選択必修)										備考	
					国際関係・国際協力系					地域研究系			インクルーシブ社会構築系			
					国際政治	国際政治 E	国際経済	国際経済 E	英語圏研究	英語圏研究 E	ヨーロッパ圏研究	アジア・日本研究	グローバル DEI	日本語教育		
専門教育科目	英語コミュニケーション科目群	52319	アカデミック・ライティング A1	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		国際政治 E、国際経済 E、英語圏、英語圏 E、アジア・日本、グローバル DEI は、本科目群から 8 単位までプログラム専門必修・選択必修科目の卒業要件単位に含むことができる
		52819	アカデミック・ライティング A2	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52320	アカデミック・ライティング B1	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52820	アカデミック・ライティング B2	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52321	アカデミック・ライティング C1	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52821	アカデミック・ライティング C2	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52322	アカデミック・ライティング D1	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52822	アカデミック・ライティング D2	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52323	英語グローバルトピック A1	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52823	英語グローバルトピック A2	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52324	英語グローバルトピック B1	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52824	英語グローバルトピック B2	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52325	英語グローバルトピック C1	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52825	英語グローバルトピック C2	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52326	英語グローバルトピック D1	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52826	英語グローバルトピック D2	2~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52327	国際英語コミュニケーション A1	3~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52827	国際英語コミュニケーション A2	3~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52328	国際英語コミュニケーション B1	3~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		52828	国際英語コミュニケーション B2	3~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
	52329	国際英語コミュニケーション C1	3~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○			
	52829	国際英語コミュニケーション C2	3~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○			
	52330	国際英語コミュニケーション D1	3~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○			
	52830	国際英語コミュニケーション D2	3~4	1		○	○	○	○	○	○	○	○			
	ドイツ語コミュニケーション科目群	52423	ドイツ語読解基礎 1	2~4	1	○		○				○	○	○		国際政治、国際経済、ヨーロッパ圏、アジア・日本、グローバル DEI は、本科目群から 8 単位までプログラム専門必修・選択必修科目の卒業要件単位に含むことができる
		52923	ドイツ語読解基礎 2	2~4	1	○		○				○	○	○		
		52979	ドイツ語コミュニケーション初級 1	2~4	1	○		○				○	○	○		
		52980	ドイツ語コミュニケーション初級 2	2~4	1	○		○				○	○	○		
		52981	ドイツ語コミュニケーション初級 3	2~4	1	○		○				○	○	○		
		52982	ドイツ語コミュニケーション初級 4	2~4	1	○		○				○	○	○		
		52983	ドイツ語コミュニケーション初級 5	2~4	1	○		○				○	○	○		
		52984	ドイツ語コミュニケーション初級 6	2~4	1	○		○				○	○	○		
		52985	ドイツ語コミュニケーション中級 1	3~4	1	○		○				○	○	○		
		52986	ドイツ語コミュニケーション中級 2	3~4	1	○		○				○	○	○		
	52987	ドイツ語コミュニケーション中級 3	3~4	1	○		○				○	○	○			
	52988	ドイツ語コミュニケーション中級 4	3~4	1	○		○				○	○	○			
52989	ドイツ語コミュニケーション中級 5	3~4	1	○		○				○	○	○				
52990	ドイツ語コミュニケーション中級 6	3~4	1	○		○				○	○	○				
フランス語コミュニケーション科目群	52991	フランス語コミュニケーション初級 1	2~4	1	○		○				○	○	○		国際政治、国際経済、ヨーロッパ圏、アジア・日本、グローバル DEI は、本科目群から 8 単位までプログラム専門必修・選択必修科目の卒業要件単位に含むことができる	
	52992	フランス語コミュニケーション初級 2	2~4	1	○		○				○	○	○			
	52993	フランス語コミュニケーション初級 3	2~4	1	○		○				○	○	○			
	52994	フランス語コミュニケーション初級 4	2~4	1	○		○				○	○	○			
	52995	フランス語コミュニケーション初級 5	2~4	1	○		○				○	○	○			
	52996	フランス語コミュニケーション初級 6	2~4	1	○		○				○	○	○			
	52997	フランス語コミュニケーション初級 7	2~4	1	○		○				○	○	○			
	52998	フランス語コミュニケーション初級 8	2~4	1	○		○				○	○	○			

科目区分	科目番号	授業科目	学年	単位数	上段：系 下段：プログラム (◎は必修、○は選択必修)										備考		
					国際関係・国際協力系					地域研究系						インクルーシブ社会構築系	
					国際政治	国際政治E	国際経済	国際経済E	英語圏研究	英語圏研究E	ヨーロッパ圏研究	アジア・日本研究	グローバルDEI	日本語教育			
専門教育科目	フランス語コミュニケーション科目群	52999	フランス語コミュニケーション中級 1	3~4	1	○		○				○	○			国際政治、国際経済、ヨーロッパ圏、アジア・日本、グローバル DEI は、本科目群から8単位までプログラム専門必修・選択必修科目の卒業要件単位に含むことができる	
		53000	フランス語コミュニケーション中級 2	3~4	1	○		○				○	○				
		53001	フランス語コミュニケーション中級 3	3~4	1	○		○				○	○				
		53002	フランス語コミュニケーション中級 4	3~4	1	○		○				○	○				
		53003	フランス語コミュニケーション中級 5	3~4	1	○		○				○	○				
		53004	フランス語コミュニケーション中級 6	3~4	1	○		○				○	○				
		53005	フランス語コミュニケーション中級 7	3~4	1	○		○				○	○				
		53006	フランス語コミュニケーション中級 8	3~4	1	○		○				○	○				
	スペイン語コミュニケーション科目群	53007	スペイン語コミュニケーション初級 1	2~4	1	○		○				○	○			国際政治、国際経済、ヨーロッパ圏、アジア・日本、グローバル DEI は、本科目群から8単位までプログラム専門必修・選択必修科目の卒業要件単位に含むことができる	
		53008	スペイン語コミュニケーション初級 2	2~4	1	○		○				○	○				
		53009	スペイン語コミュニケーション初級 3	2~4	1	○		○				○	○				
		53010	スペイン語コミュニケーション初級 4	2~4	1	○		○				○	○				
		53011	スペイン語コミュニケーション初級 5	2~4	1	○		○				○	○				
		53012	スペイン語コミュニケーション初級 6	2~4	1	○		○				○	○				
		53013	スペイン語コミュニケーション初級 7	2~4	1	○		○				○	○				
		53014	スペイン語コミュニケーション初級 8	2~4	1	○		○				○	○				
		53015	スペイン語コミュニケーション中級 1	3~4	1	○		○				○	○				
		53016	スペイン語コミュニケーション中級 2	3~4	1	○		○				○	○				
		53017	スペイン語コミュニケーション中級 3	3~4	1	○		○				○	○				
		53018	スペイン語コミュニケーション中級 4	3~4	1	○		○				○	○				
	53019	スペイン語コミュニケーション中級 5	3~4	1	○		○				○	○					
	53020	スペイン語コミュニケーション中級 6	3~4	1	○		○				○	○					
	53021	スペイン語コミュニケーション中級 7	3~4	1	○		○				○	○					
	53022	スペイン語コミュニケーション中級 8	3~4	1	○		○				○	○					
	ロシア語コミュニケーション科目群	53024	ロシア語コミュニケーション初級 1	2~4	1	○		○				○	○			国際政治、国際経済、ヨーロッパ圏、アジア・日本、グローバル DEI は、本科目群から8単位までプログラム専門必修・選択必修科目の卒業要件単位に含むことができる	
		53025	ロシア語コミュニケーション初級 2	2~4	1	○		○				○	○				
		53026	ロシア語コミュニケーション初級 3	2~4	1	○		○				○	○				
		53027	ロシア語コミュニケーション初級 4	2~4	1	○		○				○	○				
		53028	ロシア語コミュニケーション初級 5	2~4	1	○		○				○	○				
		53029	ロシア語コミュニケーション初級 6	2~4	1	○		○				○	○				
		53030	ロシア語コミュニケーション初級 7	2~4	1	○		○				○	○				
		53031	ロシア語コミュニケーション初級 8	2~4	1	○		○				○	○				
		53032	ロシア語コミュニケーション中級 1	3~4	1	○		○				○	○				
		53033	ロシア語コミュニケーション中級 2	3~4	1	○		○				○	○				
	学類共通専門科目	36001	インターンシップ		3	2											必修
36002		卒業論文		4	6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
36108		異文化体験実習 I (海外)		1~4	1												
36101		異文化体験実習 I (海外)		1~4	2												
36102		異文化体験実習 I (海外)		1~4	3												
36103		異文化体験実習 I (海外)		1~4	4												
36104		異文化体験実習 I (海外)		1~4	5												
36105		異文化体験実習 I (海外)		1~4	6												
36106		異文化体験実習 I (海外)		1~4	7												
36107		異文化体験実習 I (海外)		1~4	8												
36201		異文化体験実習 II (海外)		1~4	2												
36323		日本史要説A		2~4	1												
36324		日本史要説B		2~4	1												
36325		東洋史要説A		2~4	1												
36326		東洋史要説B		2~4	1												

科目区分	科目番号	授業科目	学年	単位数	上段：系 下段：プログラム (◎は必修、○は選択必修)										備考		
					国際関係・国際協力系					地域研究系			インクルーシブ社会構築系				
					国際政治	国際政治E	国際経済	国際経済E	英語圏研究	英語圏研究E	ヨーロッパ圏研究	アジア・日本研究	グローバルDEI	日本語教育			
専門教育科目	学類共通専門科目	36327	政治学A	1~4	1												*4、*5 教育職員免許状取得希望者限定科目。教育の基礎的理解に関する科目「教師論」又は「教育の理念と歴史A」及び「教育の理念と歴史B」の単位を修得していること。
		36328	政治学B	1~4	1												
		36335	社会学概論1 *4	3~4	1												
		36336	社会学概論2 *5	3~4	1												
		36329	漢文学概説1	2~4	1												
		36330	漢文学概説2	2~4	1												
		36331	漢文学史A1	2~4	1												
		36332	漢文学史A2	2~4	1												
		36317	書写書道基礎	3~4	2												
		52248	地理学概論B	2~4	2												
		36321	哲学概論A	1~4	2												
		36322	哲学概論B	1~4	2												
		36333	英米言語文化概説A	2~4	1												
		36334	英米言語文化概説B	2~4	1												
		36513	ELP センター英語セミナー 1	1~4	1												
		36514	ELP センター英語セミナー 2	1~4	1												
		36515	ELP センター英語セミナー 3	1~4	1												
		36516	ELP センター英語セミナー 4	1~4	1												
		36501	外国語コミュニケーション	1~4	1												
		36502	外国語コミュニケーション	1~4	2												
		36503	外国語コミュニケーション	1~4	3												
		36504	外国語コミュニケーション	1~4	4												
		36505	外国語コミュニケーション	1~4	5												
		36506	外国語コミュニケーション	1~4	6												
		36507	外国語コミュニケーション	1~4	7												
		36508	外国語コミュニケーション	1~4	8												
		36509	外国語コミュニケーション	1~4	9												
		36510	外国語コミュニケーション	1~4	10												
		36511	外国語コミュニケーション	1~4	11												
		36512	外国語コミュニケーション	1~4	12												
		36601	国際学特別研究	1~4	1												
		36602	国際学特別研究	1~4	2												
		36603	国際学特別研究	1~4	3												
		36604	国際学特別研究	1~4	4												
		36605	国際学特別研究	1~4	5												
		36606	国際学特別研究	1~4	6												
		36607	国際学特別研究	1~4	7												
		36608	国際学特別研究	1~4	8												
		36609	国際学特別研究	1~4	9												
		36610	国際学特別研究	1~4	10												
		36611	国際学特別研究	1~4	11												
36612	国際学特別研究	1~4	12														
36701	社会実習ボランティア活動	1~4	1														
36702	社会実習ボランティア活動	1~4	2														
36703	社会実習ボランティア活動	1~4	3														
36704	社会実習ボランティア活動	1~4	4														
36613	研究演習 A1	3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8科目から4単位必修		
36614	研究演習 A2	3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
36615	研究演習 A3	3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
36616	研究演習 A4	3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
36617	研究演習 B1	3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
36618	研究演習 B2	3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
36619	研究演習 B3	3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
36620	研究演習 B4	3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

別表第4-1 国際政治プログラム科目表

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1	
卒業論文	4	6	6単位	
小計				16単位
専門基礎科目	国際学入門・国際学入門E	1	各1	2科目から1単位必修
	日本文化・日本文化E	1	各1	2科目から1単位必修
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	4科目から1単位必修
	小計			4単位
専門必修・選択必修科目	国際関係論	2~4	2	2科目から2単位必修
	国際関係論E	2~4	2	
	国際協力論1	2~4	1	4科目から2単位必修
	国際協力論2	2~4	1	
	国際政治経済論	2~4	2	
	国際公共政策論	2~4	2	
	国際機構論E	2~4	2	
	国際社会論特論1	2~4	1	
	国際社会論特論2	2~4	1	
	国際学特論E	2~4	2	
	憲法(統治)A	3~4	2	
	憲法(統治)B	3~4	2	
	国際コミュニケーション論	2~4	2	
	国際法概論A	2~4	2	
	国際法概論B	2~4	2	
	グローバル・ガバナンス論	2~4	2	
	グローバル・ガバナンス論E	2~4	2	
	国際制度論	2~4	2	
	国際政治史1	2~4	1	
	国際政治史2	2~4	1	
	国際政治史(東洋)1E	2~4	1	
	国際政治史(東洋)2E	2~4	1	
	国際政治史(西洋)1E	2~4	1	
	国際政治史(西洋)2E	2~4	1	
	平和構築論E	2~4	2	
	外交入門1E	2~4	1	
	外交入門2E	2~4	1	
	国際経済学1	2~4	1	
	国際経済学2	2~4	1	
	国際経済学1E	2~4	1	
	国際経済学2E	2~4	1	
	国際貿易論1	2~4	1	
	国際貿易論2	2~4	1	
	国際貿易論1E	2~4	1	
	国際貿易論2E	2~4	1	
	国際開発論1	2~4	1	
	国際開発論2	2~4	1	
	国際開発論1E	2~4	1	
	国際開発論2E	2~4	1	
	国際金融論	2~4	2	
世界地誌A	2~4	2		
世界地誌B	2~4	2		
現代中国論A1	2~4	1		
現代中国論A2	2~4	1		
現代中国論B1	2~4	1		
現代中国論B2	2~4	1		
現代中国論1E	2~4	1		
現代中国論2E	2~4	1		
韓国・北朝鮮研究1	2~4	1		
韓国・北朝鮮研究2	2~4	1		
米英政治・外交論1	2~4	1		
米英政治・外交論2	2~4	1		
米英政治・外交論1E	2~4	1		
米英政治・外交論2E	2~4	1		

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
専門必修・選択必修科目	アフリカ概説1	2~4	1	8単位必修
	アフリカ概説2	2~4	1	
	異文化理解1	1	1	
	異文化理解2	1	1	
	地球環境論1E	2~4	1	
	地球環境論2E	2~4	1	
	憲法(人権)A	2~4	2	
	憲法(人権)B	2~4	2	
	中国語コミュニケーション科目群	2~4	各1	4単位必修
	朝鮮語コミュニケーション科目群	2~4	各1	
	ドイツ語コミュニケーション科目群	2~4	各1	
	フランス語コミュニケーション科目群	2~4	各1	
	スペイン語コミュニケーション科目群	2~4	各1	
	ロシア語コミュニケーション科目群	2~4	各1	
	研究演習A1	3	1	
	研究演習A2	3	1	
研究演習A3	3	1		
研究演習A4	3	1		
研究演習B1	3	1		
研究演習B2	3	1		
研究演習B3	3	1		
研究演習B4	3	1		
小計			30単位	
選択科目	インターンシップ	3	2	38単位
	異文化体験実習	1~4	1~8	
	日本史要説A	2~4	1	
	日本史要説B	2~4	1	
	東洋史要説A	2~4	1	
	東洋史要説B	2~4	1	
	政治学A	1~4	1	
	政治学B	1~4	1	
	社会学概論1	3~4	1	
	社会学概論2	3~4	1	
	漢文学概説1	2~4	1	
	漢文学概説2	2~4	1	
	漢文学史A1	2~4	1	
	漢文学史A2	2~4	1	
	書写書道基礎	3~4	2	
	地理学概論B	2~4	2	
	哲学概論A	1~4	2	
	哲学概論B	1~4	2	
	英米言語文化概説A	2~4	1	
	英米言語文化概説B	2~4	1	
ELPセンター英語セミナー1	1~4	1		
ELPセンター英語セミナー2	1~4	1		
ELPセンター英語セミナー3	1~4	1		
ELPセンター英語セミナー4	1~4	1		
外国語コミュニケーション	1~4	1~12		
国際学特別研究	1~4	1~12		
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4		
その他の科目				
合計				88単位
共通教育科目				36単位
総計				124単位

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を越えて履修した科目、修得すべき単位数を越えて修得した言語系専門科目群、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

注2) 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業(Eを付した科目)を4単位以上修得すること。

別表第4-2 国際政治Eプログラム科目表

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数	
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位	
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修	
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1		
卒業論文	4	6	6単位		
小計			16単位		
専門基礎科目	国際学入門E	1	1	1単位	
	日本文化E	1	1	1単位	
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	2単位	
	小計			4単位	
専門必修・選択必修科目	国際関係論E	2~4	2	2科目から2単位必修	
	国際機構論E	2~4	2		
	比較教育学1E	2~4	1	4科目から2単位必修	
	比較教育学2E	2~4	1		
	比較教育学3E	2~4	1		
	比較教育学4E	2~4	1		
	国際学特論E	2~4	2		
	グローバル・ガバナンス論E	2~4	2		
	国際政治史(東洋)1E	2~4	1		
	国際政治史(東洋)2E	2~4	1		
	国際政治史(西洋)1E	2~4	1		
	国際政治史(西洋)2E	2~4	1		
	平和構築論E	2~4	2		
	外交入門1E	2~4	1		
	外交入門2E	2~4	1		
	国際経済学1E	2~4	1		
	国際経済学2E	2~4	1		
	国際貿易論1E	2~4	1	研究演習4単位、英語コミュニケーション科目群から8単位を含め30単位必修(国際関係論E・国際機構論Eから2単位、国際政治史(東洋)1E・2E・国際政治史(西洋)1E・2Eから2単位を含む)	
	国際貿易論2E	2~4	1		
	国際開発論1E	2~4	1		
	国際開発論2E	2~4	1		
	現代中国論1E	2~4	1		
	現代中国論2E	2~4	1		
	人類的異文化理解	3~4	1		
	米英政治・外交論1E	2~4	1		
	米英政治・外交論2E	2~4	1		
	比較ジェンダー論E	2~4	2		
	地球環境論1E	2~4	1	※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる	
	地球環境論2E	2~4	1		
	英語コミュニケーション科目群	2~4	各1		8単位必修
	研究演習A1	3	1		4単位必修
	研究演習A2	3	1		
	研究演習A3	3	1		
研究演習A4	3	1			
研究演習B1	3	1			
研究演習B2	3	1			
研究演習B3	3	1			
研究演習B4	3	1			
小計			30単位		

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数
選択科目	インターンシップ	3	2	38単位
	異文化体験実習	1~4	1~8	
	日本史要説A	2~4	1	
	日本史要説B	2~4	1	
	東洋史要説A	2~4	1	
	東洋史要説B	2~4	1	
	政治学A	1~4	1	
	政治学B	1~4	1	
	社会学概論1	3~4	1	
	社会学概論2	3~4	1	
	漢文学概説1	2~4	1	
	漢文学概説2	2~4	1	
	漢文学史A1	2~4	1	
	漢文学史A2	2~4	1	
	書写書道基礎	3~4	2	
	地理学概論B	2~4	2	
	哲学概論A	1~4	2	
	哲学概論B	1~4	2	
	英米言語文化概説A	2~4	1	
	英米言語文化概説B	2~4	1	
	ELPセンター英語セミナー1	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー2	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー3	1~4	1	
ELPセンター英語セミナー4	1~4	1		
外国語コミュニケーション	1~4	1~12		
国際学特別研究	1~4	1~12		
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4		
その他の科目				
合計			88単位	
共通教育科目			36単位	
総計			124単位	

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を超えて履修した科目、修得すべき単位数を超えて修得した言語系専門科目群、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

国際政治プログラム／国際政治Eプログラム

【教育方針】

本プログラムでは、グローバル時代の様々な問題について多角的に考察し、国際協力への道筋を探求するために、国際社会や国家の政治制度、歴史、社会についての広い知識と洞察力を修得するとともに、自らの考えを他者に伝え、議論することのできる英語などの高いコミュニケーション能力を身につけた国際人を育成することを目指しています。

【本プログラムにおけるカリキュラムの考え方（カリキュラム・ポリシー）】

本プログラムのカリキュラムは、国際社会や国家の政治制度、および、その制度を支えるシステムの構造を理解し、国際機構・国家の政策やその社会を構成する組織や人々の行動を分析することに主眼を置いています。政治学、社会学、歴史学などの学問諸領域からの知見を生かしながら、一見、局地的・単発的と思われる国際社会の問題に関してもグローバルな視点から考察する能力を修得することができるように構成されています。

【学士学位授与のために求められる学習成果（ディプロマ・ポリシー）】

上記の教育方針で示した人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与します。この目標に到達するために、本プログラム所属の学生は以下の学習成果を上げることが求められます。

- ・グローバル社会における諸問題を理解するための政治学的素養を修得していること。
- ・自らが関心を持つテーマを研究課題として設定し、その問題を掘り下げて調査・分析し、考察した内容を口頭および文章で他者に伝えることができること。
- ・文化的・社会的背景なども踏まえて対話することのできる、外国語のコミュニケーション能力を獲得していること。
- ・自らが国際社会の一員であることを認識し、日本に関してもグローバルな視点から客観性をもって捉えることができること。

参考：入学者受入れに関する基本的考え方（アドミッション・ポリシー）

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO・NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系、地域研究系、インクルーシブ社会構築系という3つの系に大別される複数のプログラムがあり、そのうちのいくつかは英語のみで卒業できません。

別表第4-3 国際経済プログラム科目表

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1	
卒業論文	4	6	6単位	
小計			16単位	
専門基礎科目	国際学入門・国際学入門E	1	各1	2科目から1単位必修
	日本文化・日本文化E	1	各1	2科目から1単位必修
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	4科目から1単位必修
小計			4単位	
専門必修・選択必修科目	国際関係論	2~4	2	2科目から2単位必修
	国際関係論E	2~4	2	
	国際協力論1	2~4	1	
	国際協力論2	2~4	1	
	国際政治経済論	2~4	2	
	国際公共政策論	2~4	2	
	国際機構論E	2~4	2	
	国際私法A	3~4	2	
	国際私法B	3~4	2	
	国際社会論特論1	2~4	1	
	国際社会論特論2	2~4	1	
	国際学特論E	2~4	2	
	国際コミュニケーション論	2~4	2	
	国際法概論A	2~4	2	
	国際法概論B	2~4	2	
	グローバル・ガバナンス論	2~4	2	
	グローバル・ガバナンス論E	2~4	2	
	国際制度論	2~4	2	
	国際政治史(東洋)1E	2~4	1	
	国際政治史(東洋)2E	2~4	1	
	国際政治史(西洋)1E	2~4	1	
	国際政治史(西洋)2E	2~4	1	
	平和構築論E	2~4	2	
	外交入門1E	2~4	1	
	外交入門2E	2~4	1	
	国際経済学1	2~4	1	8科目から2単位必修
	国際経済学2	2~4	1	
	国際経済学1E	2~4	1	
	国際経済学2E	2~4	1	
	国際貿易論1	2~4	1	
	国際貿易論2	2~4	1	
	国際貿易論1E	2~4	1	4科目から2単位必修
	国際貿易論2E	2~4	1	
	国際開発論1	2~4	1	
	国際開発論2	2~4	1	
	国際開発論1E	2~4	1	
	国際開発論2E	2~4	1	
	国際経済法	3~4	2	研究演習4単位、英語を除いた言語系専門科目群から8単位を含め30単位必修(国際関係論・同Eから2単位、国際経済学1・2・1E・2E・国際貿易論1・2・1E・2Eから2単位、国際開発論1・2・1E・2Eから2単位を含む) ※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる
	国際取引法A	3~4	2	
	国際取引法B	3~4	2	
	国際金融論	2~4	2	
	国際金融史	2~4	2	
	国際経営論	2~4	2	
	計量経済学	2~4	2	
	国際マーケティング論	2~4	2	
	グローバル経済史	2~4	2	
	世界地誌A	2~4	2	
	世界地誌B	2~4	2	
	日本経済論	2~4	2	
	現代中国論A1	2~4	1	
	現代中国論A2	2~4	1	
	現代中国論B1	2~4	1	
現代中国論B2	2~4	1		
現代中国論1E	2~4	1		
現代中国論2E	2~4	1		
アジア経済史A1	2~4	1		
アジア経済史A2	2~4	1		
アジア経済史B1	2~4	1		
アジア経済史B2	2~4	1		

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数	
専門必修・選択必修科目	南アジア地域論	2~4	1	8単位必修	
	人類学的異文化理解	3~4	1		
	アメリカ経済論1E	2~4	1		
	アメリカ経済論2E	2~4	1		
	米英政治・外交論1	2~4	1		
	米英政治・外交論2	2~4	1		
	米英政治・外交論1E	2~4	1		
	米英政治・外交論2E	2~4	1		
	Business Communication	2~4	1		
	Management Communication	2~4	1		
	現代ヨーロッパ社会論	2~4	2		
	アフリカ概説1	2~4	1		
	アフリカ概説2	2~4	1		
	異文化理解1	1	1		
	異文化理解2	1	1		
	比較ジェンダー論E	2~4	2		
	地球環境論1E	2~4	1		
	地球環境論2E	2~4	1		
	イスラーム社会と文化	3~4	1		
	中国語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	朝鮮語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	ドイツ語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	フランス語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	スペイン語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	ロシア語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	研究演習A1	3	1	4単位必修	
	研究演習A2	3	1		
	研究演習A3	3	1		
	研究演習A4	3	1		
	研究演習B1	3	1		
	研究演習B2	3	1		
	研究演習B3	3	1		
	研究演習B4	3	1		
	小計			30単位	
	選択科目	インターンシップ	3	2	38単位
		異文化体験実習	1~4	1~8	
		日本史要説A	2~4	1	
		日本史要説B	2~4	1	
		東洋史要説A	2~4	1	
		東洋史要説B	2~4	1	
		政治学A	1~4	1	
		政治学B	1~4	1	
		社会学概論1	3~4	1	
		社会学概論2	3~4	1	
		漢文学概説1	2~4	1	
		漢文学概説2	2~4	1	
		漢文学史A1	2~4	1	
漢文学史A2		2~4	1		
書写書道基礎		3~4	2		
地理学概論B		2~4	2		
哲学概論A		1~4	2		
哲学概論B		1~4	2		
英米言語文化概説A		2~4	1		
英米言語文化概説B		2~4	1		
ELPセンター英語セミナー1	1~4	1			
ELPセンター英語セミナー2	1~4	1			
ELPセンター英語セミナー3	1~4	1			
ELPセンター英語セミナー4	1~4	1			
外国語コミュニケーション	1~4	1~12			
国際学特別研究	1~4	1~12			
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4			
その他の科目					
合計			88単位		
共通教育科目			36単位		
総計			124単位		

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を越えて履修した科目、修得すべき単位数を超えて修得した言語系専門科目群、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

注2) 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業(Eを付した科目)を4単位以上修得すること。

別表第4-4 国際経済Eプログラム科目表

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1	
卒業論文	4	6	6単位	
小計			16単位	
専門基礎科目	国際学入門E	1	1	1単位
	日本文化E	1	1	1単位
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	2単位
	小計			4単位
専門必修・選択必修科目	国際関係論E	2~4	2	2科目から2単位必修
	国際機構論E	2~4	2	
	比較教育学1E	2~4	1	
	比較教育学2E	2~4	1	
	比較教育学3E	2~4	1	
	比較教育学4E	2~4	1	
	国際学特論E	2~4	2	
	グローバル・ガバナンス論E	2~4	2	
	国際政治史(東洋)1E	2~4	1	
	国際政治史(東洋)2E	2~4	1	
	国際政治史(西洋)1E	2~4	1	
	国際政治史(西洋)2E	2~4	1	
	平和構築論E	2~4	2	
	外交入門1E	2~4	1	
	外交入門2E	2~4	1	
	国際経済学1E	2~4	1	4科目から2単位必修
	国際経済学2E	2~4	1	
	国際貿易論1E	2~4	1	
	国際貿易論2E	2~4	1	
	国際開発論1E	2~4	1	1単位必修
	国際開発論2E	2~4	1	1単位必修
	国際金融史	2~4	2	
	国際経営論	2~4	2	
	計量経済学	2~4	2	
	国際マーケティング論	2~4	2	
	グローバル経済史	2~4	2	
	現代中国論1E	2~4	1	研究演習4単位、英語コミュニケーション科目群から8単位を含め30単位必修(国際関係論E・国際機構論Eから2単位、国際経済学1E・2E・国際貿易論1E・2Eから2単位、国際開発論1E・2E各1単位を含む)
	現代中国論2E	2~4	1	
	人類学的異文化理解	3~4	1	
	アメリカ経済論1E	2~4	1	
	アメリカ経済論2E	2~4	1	
	米英政治・外交論1E	2~4	1	
	米英政治・外交論2E	2~4	1	
	Business Communication	2~4	1	
	Management Communication	2~4	1	
	比較ジェンダー論E	2~4	2	
	地球環境論1E	2~4	1	
	地球環境論2E	2~4	1	
	英語コミュニケーション科目群	2~4	各1	8単位必修
	研究演習A1	3	1	4単位必修
	研究演習A2	3	1	
	研究演習A3	3	1	
研究演習A4	3	1		
研究演習B1	3	1		
研究演習B2	3	1		
研究演習B3	3	1		
研究演習B4	3	1		
小計			30単位	

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
選択科目	インターンシップ	3	2	38単位
	異文化体験実習	1~4	1~8	
	日本史要説A	2~4	1	
	日本史要説B	2~4	1	
	東洋史要説A	2~4	1	
	東洋史要説B	2~4	1	
	政治学A	1~4	1	
	政治学B	1~4	1	
	社会学概論1	3~4	1	
	社会学概論2	3~4	1	
	漢文学概説1	2~4	1	
	漢文学概説2	2~4	1	
	漢文学史A1	2~4	1	
	漢文学史A2	2~4	1	
	書写書道基礎	3~4	2	
	地理学概論B	2~4	2	
	哲学概論A	1~4	2	
	哲学概論B	1~4	2	
	英米言語文化概説A	2~4	1	
	英米言語文化概説B	2~4	1	
	ELPセンター英語セミナー1	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー2	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー3	1~4	1	
ELPセンター英語セミナー4	1~4	1		
外国語コミュニケーション	1~4	1~12		
国際学特別研究	1~4	1~12		
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4		
その他の科目				
合計				88単位
共通教育科目				36単位
総計				124単位

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を越えて履修した科目、修得すべき単位数を越えて修得した言語系専門科目群、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

国際経済プログラム／国際経済Eプログラム

【教育方針】

本プログラムでは、グローバル時代の様々な問題について多角的に考察し、国際協力や持続可能な経済発展への道筋を探求するために、国際的な経済関係や経済開発、それらに関連する政治、歴史、社会についての広い知識と洞察力を修得するとともに、自らの考えを他者に伝え、議論することのできる英語などの高いコミュニケーション能力を身につけた国際人を育成することを目指しています。

【本プログラムにおけるカリキュラムの考え方（カリキュラム・ポリシー）】

本プログラムのカリキュラムは、国際的な経済問題である国際貿易、国際金融、国際ビジネス、先進国と途上国の格差問題、持続可能な経済発展について、その現状とメカニズムを理解し、各国政府の政策や企業、人々の行動を分析することに主眼を置いています。国際経済学、開発経済学を基礎に政治学、社会学、歴史学、経営学の知見を取り入れてグローバル社会における様々な経済問題をマクロ・ミクロ両面から考察し議論する能力を修得することができるよう構成されています。

【学士学位授与のために求められる学習成果（ディプロマ・ポリシー）】

上記の教育方針で示した人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与します。この目標に到達するために、本プログラム所属の学生は以下の学習成果を上げることが求められます。

- ・グローバル社会における諸問題を理解するための経済学的素養を修得していること。
- ・自らが関心を持つテーマを研究課題として設定し、その問題を掘り下げて調査・分析し、考察した内容を口頭および文章で他者に伝えることができること。
- ・文化的・社会的背景なども踏まえて対話することのできる、外国語のコミュニケーション能力を獲得していること。
- ・自らが国際社会の一員であることを認識し、日本に関してもグローバルな視点から客観性をもって捉えることができること。

参考：入学者受入れに関する基本的考え方（アドミッション・ポリシー）

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO・NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系、地域研究系、インクルーシブ社会構築系という3つの系に大別される複数のプログラムがあり、そのうちのいくつかは英語のみで卒業できません。

別表第4-5 英語圏研究プログラム科目表

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数	
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位	
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修	
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1		
卒業論文	4	6	6単位		
小計			16単位		
専門基礎科目	国際学入門・国際学入門E	1	各1	2科目から1単位必修	
	日本文化・日本文化E	1	各1	2科目から1単位必修	
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	4科目から1単位必修	
	小計			4単位	
専門必修・選択必修科目	国際関係論	2~4	2	2科目から1単位必修	
	国際関係論E	2~4	2		
	国際政治史(西洋)1E	2~4	1		
	国際政治史(西洋)2E	2~4	1		
	国際開発論1	2~4	1		
	国際開発論2	2~4	1		
	国際開発論1E	2~4	1		
	国際開発論2E	2~4	1		
	グローバル経済史	2~4	2		
	文化人類学概論A	3~4	1		
	文化人類学概論B	3~4	1		
	世界地誌B	2~4	2		
	米英研究A1	2~4	1		
	米英研究A2	2~4	1		
	米英研究B1	2~4	1		
	米英研究B2	2~4	1		
	アメリカ地域文化論1E	2~4	1		
	アメリカ地域文化論2E	2~4	1		
	米英文化関係論1E	2~4	1		
	米英文化関係論2E	2~4	1		
	イギリス地域文化論1E	2~4	1		
	イギリス地域文化論2E	2~4	1		
	英語学概説1	2~4	1		
	英語学概説2	2~4	1		
	英語学概説1E	2~4	1		
	英語学概説2E	2~4	1		
	米英メディア文化論1E	2~4	1		
	米英メディア文化論2E	2~4	1		
	アメリカ経済論1E	3~4	1		
	アメリカ経済論2E	3~4	1		
	北米文化論1	3~4	1		
	北米文化論2	3~4	1		
	米英政治・外交論1	2~4	1		
	米英政治・外交論2	2~4	1		
	米英政治・外交論1E	2~4	1		
	米英政治・外交論2E	2~4	1		
	英文法教授法	2~4	1		
	米英研究特論1	2~4	1		
	米英研究特論2	2~4	1		
	英語圏文化論1E	2~4	1		
	英語圏文化論2E	2~4	1		
	Business Communication	2~4	1		
	Management Communication	2~4	1		
	異文化理解1	1	1		
	異文化理解2	1	1		
	英語コミュニケーション科目群	2~4	各1		8単位必修
	研究演習A1	3	1		4単位必修
研究演習A2	3	1			
研究演習A3	3	1			
研究演習A4	3	1			
研究演習B1	3	1			
研究演習B2	3	1			
研究演習B3	3	1			
研究演習B4	3	1			
小計			30単位		

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数
選択科目	インターンシップ	3	2	38単位
	異文化体験実習	1~4	1~8	
	日本史要説A	2~4	1	
	日本史要説B	2~4	1	
	東洋史要説A	2~4	1	
	東洋史要説B	2~4	1	
	政治学A	1~4	1	
	政治学B	1~4	1	
	社会学概論1	3~4	1	
	社会学概論2	3~4	1	
	漢文学概説1	2~4	1	
	漢文学概説2	2~4	1	
	漢文学史A1	2~4	1	
	漢文学史A2	2~4	1	
	書写書道基礎	3~4	2	
	地理学概論B	2~4	2	
	哲学概論A	1~4	2	
	哲学概論B	1~4	2	
	英米言語文化概説A	2~4	1	
	英米言語文化概説B	2~4	1	
	ELPセンター英語セミナー1	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー2	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー3	1~4	1	
ELPセンター英語セミナー4	1~4	1		
外国語コミュニケーション	1~4	1~12		
国際学特別研究	1~4	1~12		
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4		
その他の科目				
合計			88単位	
共通教育科目			36単位	
総計			124単位	

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を越えて履修した科目、修得すべき単位数を越えて修得した言語系専門科目群、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

注2) 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業(Eを付した科目)を6単位以上修得すること。

別表第4-6 英語圏研究Eプログラム科目表

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数	
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位	
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修	
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1		
卒業論文	4	6	6単位		
小計			16単位		
専門基礎科目	国際学入門E	1	1	1単位	
	日本文化E	1	1	1単位	
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	2単位	
	小計			4単位	
専門必修・選択必修科目	国際関係論E	2~4	2	研究演習4単位、英語コミュニケーション科目群から8単位を含め30単位必修(アメリカ地域文化論1E・2Eから1単位、米英文化関係論1E・2Eから1単位、イギリス地域文化論1E・2Eから1単位を含む)※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる	
	国際機構論E	2~4	2		
	比較教育学1E	2~4	1		
	比較教育学2E	2~4	1		
	比較教育学3E	2~4	1		
	比較教育学4E	2~4	1		
	国際政治史(西洋)1E	2~4	1		
	国際政治史(西洋)2E	2~4	1		
	平和構築論E	2~4	2		
	国際経済学1E	2~4	1		
	国際経済学2E	2~4	1		
	国際貿易論1E	2~4	1		
	国際貿易論2E	2~4	1		
	国際開発論1E	2~4	1		
	国際開発論2E	2~4	1		
	グローバル経済史	2~4	2		
	人類的異文化理解	3~4	1		
	米英研究A1	2~4	1		
	米英研究A2	2~4	1		
	アメリカ地域文化論1E	2~4	1		2科目から1単位必修
	アメリカ地域文化論2E	2~4	1		
	米英文化関係論1E	2~4	1		2科目から1単位必修
	米英文化関係論2E	2~4	1		
	イギリス地域文化論1E	2~4	1		2科目から1単位必修
	イギリス地域文化論2E	2~4	1		
	英語学概説1E	2~4	1		
	英語学概説2E	2~4	1		
	米英メディア文化論1E	2~4	1		
	米英メディア文化論2E	2~4	1		
	アメリカ経済論1E	2~4	1		
	アメリカ経済論2E	2~4	1		
	米英政治・外交論1E	2~4	1		
	米英政治・外交論2E	2~4	1		
	ヨーロッパ社会特論CE	2~4	2		
	英語圏文化論1E	2~4	1		
	英語圏文化論2E	2~4	1		
	Business Communication	2~4	1		
	Management Communication	2~4	1		
	英語コミュニケーション科目群	2~4	各1		8単位必修
	研究演習A1	3	1		4単位必修
	研究演習A2	3	1		
	研究演習A3	3	1		
	研究演習A4	3	1		
	研究演習B1	3	1		
	研究演習B2	3	1		
	研究演習B3	3	1		
研究演習B4	3	1			
小計			30単位		

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
選択科目	インターンシップ	3	2	38単位
	異文化体験実習	1~4	1~8	
	日本史要説A	2~4	1	
	日本史要説B	2~4	1	
	東洋史要説A	2~4	1	
	東洋史要説B	2~4	1	
	政治学A	1~4	1	
	政治学B	1~4	1	
	社会学概論1	3~4	1	
	社会学概論2	3~4	1	
	漢文学概説1	2~4	1	
	漢文学概説2	2~4	1	
	漢文学史A1	2~4	1	
	漢文学史A2	2~4	1	
	書写書道基礎	3~4	2	
	地理学概論B	2~4	2	
	哲学概論A	1~4	2	
	哲学概論B	1~4	2	
	英米言語文化概説A	2~4	1	
	英米言語文化概説B	2~4	1	
	ELPセンター英語セミナー1	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー2	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー3	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー4	1~4	1	
外国語コミュニケーション	1~4	1~12		
国際学特別研究	1~4	1~12		
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4		
その他の科目				
合計				88単位
共通教育科目				36単位
総計				124単位

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を超えて履修した科目、修得すべき単位数を超えて修得した言語系専門科目群、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

【教育方針】

本プログラムでは、英語圏の歴史、社会、文化について広範な知識と深い理解を身につけ、それらを批判的に分析することでグローバル時代における諸問題について新たな見方・捉え方を提示するとともに、自らの考えを他者に伝え、議論することのできる高い英語コミュニケーション能力を身につけた国際人を育成することを目指しています。

【本プログラムにおけるカリキュラムの考え方（カリキュラム・ポリシー）】

本プログラムのカリキュラムは、歴史学、文化人類学、および文学・文化研究の立場から、英語圏世界についての横断的かつ深い知識を獲得することに主眼を置いています。英語運用の実践的訓練を兼ねた演習形式の授業を通じて、英語圏の歴史、社会、文化を分析し、多様な文化的背景を持つ人々との共生を目指す国際人に必要な知的基盤と能力を修得することができるように構成されています。

【学士学位授与のために求められる学習成果（ディプロマ・ポリシー）】

上記の教育方針で示した人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与します。この目標に到達するために、本プログラム所属の学生は以下の学習成果を上げることが求められます。

- ・英語圏の歴史、社会、文化について高度な知識を修得していること。
- ・グローバルな視座から俯瞰的に英語圏及び自国の歴史、社会、文化を捉え、批判的に考察する能力を修得していること。
- ・英語で書かれた文献を正確に読解し、確実な情報基盤を築く能力を有していること。
- ・自らの論理的な思考を、正確かつ高度な英語を使って表現する能力を有していること。

参考：入学者受入れに関する基本的考え方（アドミッション・ポリシー）

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO・NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系、地域研究系、インクルーシブ社会構築系という3つの系に大別される複数のプログラムがあり、そのうちのいくつかは英語のみで卒業できません。

別表第4-7 ヨーロッパ圏研究プログラム科目表

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数	
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位	
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修	
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1		
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1		
卒業論文	4	6	6単位		
小計			16単位		
専門基礎科目	国際学入門・国際学入門E	1	各1	2科目から1単位必修	
	日本文化・日本文化E	1	各1	2科目から1単位必修	
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	4科目から1単位必修	
	小計			4単位	
専門必修・選択必修科目	国際関係論	2~4	2	研究演習4単位、英語・中国語・朝鮮語を除いた言語系専門科目群から8単位を含め30単位必修(西洋近・現代史概説2単位、現代ヨーロッパ社会論2単位を含む)※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる	
	国際関係論E	2~4	2		
	国際政治史(西洋)1E	2~4	1		
	国際政治史(西洋)2E	2~4	1		
	グローバル経済史	2~4	2		
	文化人類学概論A	3~4	1		
	文化人類学概論B	3~4	1		
	比較文化論A1	2~4	1		
	比較文化論A2	2~4	1		
	比較文化論B1	2~4	1		
	比較文化論B2	2~4	1		
	世界地誌B	2~4	2		
	西洋近・現代史概説	2~4	2		2単位必修
	現代ヨーロッパ社会論	2~4	2		2単位必修
	ヨーロッパの宗教1	2~4	1		
	ヨーロッパの宗教2	2~4	1		
	美術史1E	2~4	1		
	美術史2E	2~4	1		
	美術史3E	2~4	1		
	美術史4E	2~4	1		
	ドイツ文学史A1	2~4	1		
	ドイツ文学史A2	2~4	1		
	ドイツ文学史B1	2~4	1		
	ドイツ文学史B2	2~4	1		
	フランス文学史A1	2~4	1		
	フランス文学史A2	2~4	1		
	フランス文学史B1	2~4	1		
	フランス文学史B2	2~4	1		
	ヨーロッパ生活論1E	2~4	1		
	ヨーロッパ生活論2E	2~4	1		
	ヨーロッパ研究特論1	2~4	1		
	ヨーロッパ研究特論2	2~4	1		
	ヨーロッパ研究特論1E	2~4	1		
	ヨーロッパ研究特論2E	2~4	1		
	ヨーロッパ研究特論3E	2~4	1		
	ヨーロッパ研究特論4E	2~4	1		
	ヨーロッパ歴史特論A	2~4	2		
	ヨーロッパ歴史特論B	3~4	2		
	ヨーロッパ文化特論A1	2~4	1		
	ヨーロッパ文化特論A2	2~4	1		
	ヨーロッパ文化特論B1	3~4	1		
	ヨーロッパ文化特論B2	3~4	1		
ヨーロッパ社会特論A1	2~4	1			
ヨーロッパ社会特論A2	2~4	1			
ヨーロッパ社会特論B1	3~4	1			
ヨーロッパ社会特論B2	3~4	1			
ヨーロッパ社会特論CE	2~4	2			
アフリカ概説1	2~4	1			
アフリカ概説2	2~4	1			
ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義A	2~4	1			
ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義B	2~4	1			

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数
専門必修・選択必修科目	ヨーロッパ・アフリカ史演習A	2~4	1	8単位必修
	ヨーロッパ・アフリカ史演習B	2~4	1	
	ヨーロッパ・アフリカ史演習C	2~4	1	
	ヨーロッパ・アフリカ史演習D	2~4	1	
	ヨーロッパ・アフリカ史演習E	2~4	1	
	ヨーロッパ・アフリカ史演習F	2~4	1	
	アフリカ研究	2~4	1	
	異文化理解1	1	1	
	異文化理解2	1	1	
	ドイツ語コミュニケーション科目群	2~4	各1	
	フランス語コミュニケーション科目群	2~4	各1	
	スペイン語コミュニケーション科目群	2~4	各1	
	ロシア語コミュニケーション科目群	2~4	各1	
	研究演習A1	3	1	
	研究演習A2	3	1	
	研究演習A3	3	1	
研究演習A4	3	1		
研究演習B1	3	1		
研究演習B2	3	1		
研究演習B3	3	1		
研究演習B4	3	1		
小計			30単位	
選択科目	インターンシップ	3	2	38単位
	異文化体験実習	1~4	1~8	
	日本史要説A	2~4	1	
	日本史要説B	2~4	1	
	東洋史要説A	2~4	1	
	東洋史要説B	2~4	1	
	政治学A	1~4	1	
	政治学B	1~4	1	
	社会学概論1	3~4	1	
	社会学概論2	3~4	1	
	漢文学概説1	2~4	1	
	漢文学概説2	2~4	1	
	漢文学史A1	2~4	1	
	漢文学史A2	2~4	1	
	書写書道基礎	3~4	2	
	地理学概論B	2~4	2	
	哲学概論A	1~4	2	
	哲学概論B	1~4	2	
	英米言語文化概説A	2~4	1	
	英米言語文化概説B	2~4	1	
ELPセンター英語セミナー1	1~4	1		
ELPセンター英語セミナー2	1~4	1		
ELPセンター英語セミナー3	1~4	1		
ELPセンター英語セミナー4	1~4	1		
外国語コミュニケーション	1~4	1~12		
国際学特別研究	1~4	1~12		
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4		
その他の科目				
合計			88単位	
共通教育科目			36単位	
総計			124単位	

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を超えて履修した科目、修得すべき単位数を超えて修得した言語系専門科目群、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

注2) 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業(Eを付した科目)を4単位以上修得すること。

ヨーロッパ圏研究プログラム

【教育方針】

本プログラムでは、ヨーロッパとその関連諸地域に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実践的知識を基礎に、価値の多様性に基づく文化的寛容を模索する現代ヨーロッパ社会の理念に学ぶ、真の国際人を育成することを目指しています。

【本プログラムにおけるカリキュラムの考え方（カリキュラム・ポリシー）】

本プログラムのカリキュラムは、ヨーロッパ世界とその関連諸地域の諸事象について、人文科学や社会科学の様々な研究手法を通じ認識を深めることに主眼を置いています。こうした認識の深化に併せて、英語のみならず欧州諸言語の実践的運用能力を伸ばすことを通じて、たとえば、環境、人権、福祉、観光といった諸分野で新しい試みに挑みつづけているヨーロッパの現在を、複眼的に把握する能力を修得することができるように構成されています。

【学士学位授与のために求められる学習成果（ディプロマ・ポリシー）】

上記の教育方針で示した人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与します。この目標に到達するために、本プログラム所属の学生は以下の学習成果を上げることが求められます。

- ・現代ヨーロッパの政治・経済・文化について、将来この分野の専門職業人として活動するにふさわしい、基礎的知識を修得していること。
- ・歴史と伝統の深い根を有すると同時に、現代に生きる創造力ある世界でもあるヨーロッパ社会を学ぶ者として、これまでのヨーロッパ社会が産み出してきた思想、文学、芸術等の歴史的諸価値に対しそれを理解する豊かな感受性を備えていること。
- ・ヨーロッパのみならずその関連諸地域の社会・文化の理解のもと、複眼的に世界を見る目を有していること。
- ・外国語で書かれた文献を正確に読解し、確実な情報基盤を築く能力を有していること。
- ・自らの論理的な思考を、正確かつ高度な外国語を使って表現する能力を有していること。

参考：入学者受入れに関する基本的考え方（アドミッション・ポリシー）

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外の NPO・NGO で経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系、地域研究系、インクルーシブ社会構築系という3つの系に大別される複数のプログラムがあり、そのうちのいくつかは英語のみで卒業できます。

別表第4-8 アジア・日本研究プログラム科目表

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1	
	卒業論文	4	6	6単位
	小計			16単位
専門基礎科目	国際学入門・国際学入門E	1	各1	2科目から1単位必修
	日本文化・日本文化E	1	各1	2科目から1単位必修
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	4科目から1単位必修
	小計			4単位
専門必修・選択必修科目	国際関係論	2~4	2	2科目から1単位必修
	国際関係論E	2~4	2	
	国際政治史(東洋)1E	2~4	1	
	国際政治史(東洋)2E	2~4	1	
	国際開発論1	2~4	1	
	国際開発論2	2~4	1	
	国際開発論1E	2~4	1	
	国際開発論2E	2~4	1	
	グローバル経済史	2~4	2	
	文化人類学概論A	3~4	1	
	文化人類学概論B	3~4	1	
	文化人類学講義	3~4	1	
	地理学概論A	2~4	2	
	世界地誌A	2~4	2	
	日本の思想と宗教1	2~4	1	
	日本の思想と宗教2	2~4	1	
	日本史概説1	2~4	1	
	日本史概説2	2~4	1	
	日本史概論1	2~4	1	
	日本史概論2	2~4	1	
	日本経済論	2~4	2	
	日本民俗文化論1E	2~4	1	
	日本民俗文化論2E	2~4	1	
	日本の文学	2~4	2	
	日本の古典文学1	2~4	1	
	日本の古典文学2	2~4	1	
	日本文化体験A	2~4	2	
	日本文化体験B	2~4	2	
	日本文化体験C	2~4	1	
	日本文化体験D	2~4	1	
	日本の近代文学1	2~4	1	
	日本の近代文学2	2~4	1	
	日本の現代文学1	2~4	1	
	日本の現代文学2	2~4	1	
	日本研究特論1	2~4	1	
	日本研究特論2	2~4	1	
	日本研究特論1E	2~4	1	
	日本研究特論2E	2~4	1	
	日本思想史1	2~4	1	
	日本思想史2	2~4	1	
	日本史特論1	2~4	1	
	日本史特論2	2~4	1	
	東アジア史概説A1	2~4	1	
	東アジア史概説A2	2~4	1	
	東アジア史概説B1	2~4	1	
	東アジア史概説B2	2~4	1	
	現代中国論A1	2~4	1	
	現代中国論A2	2~4	1	
	現代中国論B1	2~4	1	
	現代中国論B2	2~4	1	
	現代中国論1E	2~4	1	
	現代中国論2E	2~4	1	
アジア経済史A1	2~4	1		
アジア経済史A2	2~4	1		
アジア経済史B1	2~4	1		
アジア経済史B2	2~4	1		
東アジア国際交流史1	2~4	1		
東アジア国際交流史2	2~4	1		
東南アジア研究	2~4	1		
南アジア文化論	2~4	1		
南アジア地域論	2~4	1		
仏教文化論	2~4	1		
比較文化学概説A	2~4	1		
比較文化学概説B	2~4	1		
現代中国文化論1	3~4	1		
現代中国文化論2	3~4	1		

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数	
専門必修・選択必修科目	韓国・北朝鮮研究1	2~4	1	8単位必修	
	韓国・北朝鮮研究2	2~4	1		
	中国の文化と社会1E	2~4	1		
	中国の文化と社会2E	2~4	1		
	アジア研究特論A1	2~4	1		
	アジア研究特論A2	2~4	1		
	アジア研究特論B1	2~4	1		
	アジア研究特論B2	2~4	1		
	アジア研究特論1E	2~4	1		
	アジア研究特論2E	2~4	1		
	東アジア社会と教育A1	2~4	1		
	東アジア社会と教育A2	2~4	1		
	東アジア社会と教育B1	2~4	1		
	東アジア社会と教育B2	2~4	1		
	東アジアの社会学と人類学A1	2~4	1		
	東アジアの社会学と人類学A2	2~4	1		
	東アジアの社会学と人類学B1	2~4	1		
	東アジアの社会学と人類学B2	2~4	1		
	人類学的異文化理解	3~4	1		
	異文化理解1	1	1		
	異文化理解2	1	1		
	イスラーム社会と文化	3~4	1		
	日本語学概論A	2~4	2		
	日本語学概論B	2~4	2		
	中国語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	朝鮮語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	英語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	ドイツ語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	フランス語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	スペイン語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	ロシア語コミュニケーション科目群	2~4	各1		
	研究演習A1	3	1		
	研究演習A2	3	1		
	研究演習A3	3	1		
	研究演習A4	3	1		
	研究演習B1	3	1		
	研究演習B2	3	1		
	研究演習B3	3	1		
	研究演習B4	3	1		
		小計			30単位
	選択科目	インターンシップ	3	2	38単位
		異文化体験実習	1~4	1~8	
		日本史要説A	2~4	1	
		日本史要説B	2~4	1	
		東洋史要説A	2~4	1	
		東洋史要説B	2~4	1	
		政治学A	1~4	1	
政治学B		1~4	1		
社会学概論1		3~4	1		
社会学概論2		3~4	1		
漢文学概説1		2~4	1		
漢文学概説2		2~4	1		
漢文学史A1		2~4	1		
漢文学史A2		2~4	1		
書写書道基礎		3~4	2		
地理学概論B		2~4	2		
哲学概論A		1~4	2		
哲学概論B		1~4	2		
英米言語文化概説A		2~4	1		
英米言語文化概説B		2~4	1		
ELPセンター英語セミナー1	1~4	1			
ELPセンター英語セミナー2	1~4	1			
ELPセンター英語セミナー3	1~4	1			
ELPセンター英語セミナー4	1~4	1			
外国語コミュニケーション	1~4	1~12			
国際学特別研究	1~4	1~12			
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4			
その他の科目					
	合計			88単位	
	共通教育科目			36単位	
	総計			124単位	

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を越えて履修した科目、修得すべき単位数を越えて修得した言語系専門科目群、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

注2) 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業(Eを付した科目)を4単位以上修得すること。

アジア・日本研究プログラム

【教育方針】

本プログラムでは、多文化・多民族社会であるアジアの多様性と、その中に位置する日本社会を理解し、その知識に基づいて近隣諸国との緊密化する交流の一角を担うことのできる国際人を育成することを目指しています。

【本プログラムにおけるカリキュラムの考え方（カリキュラム・ポリシー）】

本プログラムのカリキュラムは、日本をふくむアジア諸地域について、人文科学や社会科学の様々なアプローチを用いて分析することに主眼を置いています。他の地域や世界の状況との比較の視座から、俯瞰的に日本やアジアの文化・社会を考察し、専門知識に裏打ちされた自らの思考を論理的に、正確かつ高度な外国語を使って表現する能力を修得することができるように構成されています。

【学士学位授与のために求められる学習成果（ディプロマ・ポリシー）】

上記の教育方針で示した人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与します。この目標に到達するために、本プログラム所属の学生は以下の学習成果を上げることが求められます。

- ・世界情勢を偏りなく見定め、自己のアイデンティティを大切にしながら異文化を受け入れられる価値観や包容力を身につけていること。
- ・日本およびアジア諸国の文化・社会・歴史について、グローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を獲得していること。
- ・日本とアジア諸国の関係について、専門的知識に裏打ちされた自らの意見を持ち、両者の交流の仲介役となることができるコミュニケーション能力を備えていること。
- ・外国語で書かれた文献を正確に読解し、確実な情報基盤を築く能力を有していること。
- ・自らの論理的な思考を、正確かつ高度な外国語を使って表現する能力を有していること。

参考：入学者受入れに関する基本的考え方（アドミッション・ポリシー）

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO・NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系、地域研究系、インクルーシブ社会構築系という3つの系に大別される複数のプログラムがあり、そのうちのいくつかは英語のみで卒業できます。

別表第4-9 グローバルDEIプログラム科目表

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1	
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1	6単位
卒業論文	4	6		
	小計			16単位
専門基礎科目	国際学入門・国際学入門E	1	各1	2科目から1単位必修
	日本文化・日本文化E	1	各1	2科目から1単位必修
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	4科目から1単位必修
	小計			4単位
専門必修・選択必修科目	国際関係論	2~4	2	2科目から2単位必修
	国際関係論E	2~4	2	
	国際協力論1	2~4	1	
	国際協力論2	2~4	1	
	国際公共政策論	2~4	2	
	国際機構論E	2~4	2	
	比較教育学1E	2~4	1	
	比較教育学2E	2~4	1	
	比較教育学3E	2~4	1	
	比較教育学4E	2~4	1	
	国際私法A	3~4	2	
	国際私法B	3~4	2	
	国際コミュニケーション論	2~4	2	
	国際制度論	2~4	2	
	平和構築論E	2~4	2	
	国際経済学1	2~4	1	
	国際経済学2	2~4	1	
	国際経済学1E	2~4	1	
	国際経済学2E	2~4	1	
	国際貿易論1	2~4	1	
	国際貿易論2	2~4	1	
	国際貿易論1E	2~4	1	
	国際貿易論2E	2~4	1	
	国際開発論1	2~4	1	
	国際開発論2	2~4	1	
	国際開発論1E	2~4	1	
	国際開発論2E	2~4	1	
	文化人類学概論A	3~4	1	
	文化人類学概論B	3~4	1	
	世界地誌A	2~4	2	
	世界地誌B	2~4	2	
	日本の思想と宗教1	2~4	1	
	日本の思想と宗教2	2~4	1	
	日本民俗文化論1E	2~4	1	
	日本民俗文化論2E	2~4	1	
	日本文化体験A	2~4	2	
	日本文化体験B	2~4	2	
	日本文化体験C	2~4	1	
	日本文化体験D	2~4	1	
	日本思想史1	2~4	1	
	日本思想史2	2~4	1	
	東アジア国際交流史1	2~4	1	
	東アジア国際交流史2	2~4	1	
	東アジア社会と教育A1	2~4	1	
	東アジア社会と教育A2	2~4	1	
	東アジア社会と教育B1	2~4	1	
	東アジア社会と教育B2	2~4	1	
東アジアの社会学と人類学A1	2~4	1		
東アジアの社会学と人類学A2	2~4	1		
東アジアの社会学と人類学B1	2~4	1		
東アジアの社会学と人類学B2	2~4	1		
アメリカ地域文化論1E	2~4	1		
アメリカ地域文化論2E	2~4	1		
米英文化関係論1E	2~4	1		
米英文化関係論2E	2~4	1		
イギリス地域文化論1E	2~4	1		
イギリス地域文化論2E	2~4	1		
北米文化論1	3~4	1		
北米文化論2	3~4	1		
英語圏文化論1E	2~4	1		
英語圏文化論2E	2~4	1		

	授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数		
専門必修・選択必修科目	現代ヨーロッパ社会論	2~4	2			
	ヨーロッパの宗教1	2~4	1			
	ヨーロッパの宗教2	2~4	1			
	ヨーロッパ生活論1E	2~4	1			
	ヨーロッパ生活論2E	2~4	1			
	異文化理解1	1	1		1単位必修	
	異文化理解2	1	1		1単位必修	
	ジェンダーと社会A	1~4	1			
	ジェンダーと社会B	1~4	1			
	比較ジェンダー論E	2~4	2			
	マイノリティとメディア文化論1E	2~4	1			1単位必修
	マイノリティとメディア文化論2E	2~4	1		1単位必修	
	多文化主義論1E	3~4	1			
	多文化主義論2E	3~4	1			
	地球環境論1E	2~4	1			
	地球環境論2E	2~4	1			
	憲法(人権)A	2~4	2			
	憲法(人権)B	2~4	2			
	イスラーム社会と文化	3~4	1			
	日本語教育学基礎1	2~4	1			
	日本語教育学基礎2	2~4	1		8単位必修	
	中国語コミュニケーション科目群	2~4	各1			
	朝鮮語コミュニケーション科目群	2~4	各1			
	英語コミュニケーション科目群	2~4	各1			
	ドイツ語コミュニケーション科目群	2~4	各1			
	フランス語コミュニケーション科目群	2~4	各1			
	スペイン語コミュニケーション科目群	2~4	各1			
	ロシア語コミュニケーション科目群	2~4	各1			
	研究演習A1	3	1		4単位必修	
	研究演習A2	3	1			
	研究演習A3	3	1			
	研究演習A4	3	1			
	研究演習B1	3	1			
	研究演習B2	3	1			
	研究演習B3	3	1			
	研究演習B4	3	1			
		小計				30単位
	選択科目	インターンシップ	3		2	38単位
		異文化体験実習	1~4		1~8	
		日本史要説A	2~4		1	
		日本史要説B	2~4		1	
		東洋史要説A	2~4		1	
		東洋史要説B	2~4		1	
		政治学A	1~4		1	
		政治学B	1~4		1	
		社会学概論1	3~4		1	
		社会学概論2	3~4		1	
漢文学概説1		2~4	1			
漢文学概説2		2~4	1			
漢文学史A1		2~4	1			
漢文学史A2		2~4	1			
書写書道基礎		3~4	2			
地理学概論B		2~4	2			
哲学概論A		1~4	2			
哲学概論B		1~4	2			
英米言語文化概説A		2~4	1			
英米言語文化概説B		2~4	1			
ELPセンター英語セミナー1		1~4	1			
ELPセンター英語セミナー2	1~4	1				
ELPセンター英語セミナー3	1~4	1				
ELPセンター英語セミナー4	1~4	1				
外国語コミュニケーション	1~4	1~12				
国際学特別研究	1~4	1~12				
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4				
その他の科目						
	合計			88単位		
	共通教育科目			36単位		
	総計			124単位		

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を越えて履修した科目、修得すべき単位数を超えて修得した言語系専門科目群、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

注2) 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業(Eを付した科目)を4単位以上修得すること。

グローバル DEI (Diversity, Equity & Inclusion) プログラム

【教育方針】

本プログラムでは、文化・宗教・ジェンダー・セクシュアリティ等についての学問的な知識と認識を持ち、人文科学・社会科学の素養と各種言語による高いコミュニケーション能力を身につけて、グローバル時代にふさわしい、多様な人々や価値観が共存するダイバーシティ社会の構築に寄与できる国際人を育成することを目指しています。

【本プログラムにおけるカリキュラムの考え方 (カリキュラム・ポリシー)】

本プログラムのカリキュラムは、現代社会における多様性や公正・共生に関する諸問題について、人文科学や社会科学の様々な研究手法を通じ認識を深めることに主眼を置いています。多様性に富んだ公正かつインクルーシブな社会の構築に向けて、文化・宗教・ジェンダー・セクシュアリティ等に関する視野を広げ、そこで得られた知見をもとに現代社会を多層的に考察する能力を修得することができるように構成されています。

【学士学位授与のために求められる学習成果 (ディプロマ・ポリシー)】

上記の教育方針で示した人材養成目標に到達した者に学士 (国際学) の学位を授与します。この目標に到達するために、本プログラム所属の学生は以下の学習成果を上げることが求められます。

- ・自己のアイデンティティを大切にしながら、異文化や人々の多様なあり方を受け入れられる価値観や包容力を身につけていること。
- ・多様性をめぐる国際社会や日本社会の動向・あり方への強い関心・問題意識を有していること。
- ・世界のさまざまな文化や言語・宗教、あるいはジェンダー・セクシュアリティ・人権・環境等についての学問的な知識と認識を身につけて、多様な人々が参加できる社会を構築しようとするマインドを有していること。
- ・英語などの諸外国語及び日本語による高度なコミュニケーション能力を有していること。

参考：入学者受入れに関する基本的考え方 (アドミッション・ポリシー)

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外の NPO・NGO で経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系、地域研究系、インクルーシブ社会構築系という3つの系に大別される複数のプログラムがあり、そのうちのいくつかは英語のみで卒業できます。

別表第4-10 日本語教育プログラム科目表

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数		
必修科目	学域GS科目	1~2		8単位		
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	2科目から2単位必修		
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1			
	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2	1			
	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2	1			
	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2	1			
	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2	1			
	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2	1			
卒業論文	4	6	6単位			
小計			16単位			
専門基礎科目	国際学入門・国際学入門E	1	各1	2科目から1単位必修		
	日本文化・日本文化E	1	各1	2科目から1単位必修		
	研究指導1a・1b・2a・2b	2	各0.5	4科目から1単位必修		
小計			4単位			
専門必修・選択必修科目	国際関係論	2~4	2	研究演習4単位を含め30単位必修(日本語教育学基礎1・2,日本語教科書研究1・2,日本語教授法A1・A2・B1・B2,社会言語学1・2各1単位、日本語学概論A・B各2単位、日本語教育実習1・2・3・4・海外日本語実習から2単位を含む) ※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる		
	国際関係論E	2~4	2			
	文化人類学概論A	3~4	1			
	文化人類学概論B	3~4	1			
	日本史概説1	2~4	1			
	日本史概説2	2~4	1			
	日本の文学	2~4	2			
	東アジア社会と教育A1	2~4	1			
	東アジア社会と教育A2	2~4	1			
	東アジア社会と教育B1	2~4	1			
	東アジア社会と教育B2	2~4	1			
	異文化理解1	1	1			
	異文化理解2	1	1			
	ジェンダーと社会A	1~4	1			
	ジェンダーと社会B	1~4	1			
	多文化主義論1E	3~4	1			
	多文化主義論2E	3~4	1			
	憲法(人権)A	2~4	2			
	憲法(人権)B	2~4	2			
	イスラーム社会と文化	3~4	1			
	日本語教育学基礎1	2~4	1		1単位必修	
	日本語教育学基礎2	2~4	1		1単位必修	
	日本語教育史1	3~4	1		5科目から2単位必修	
	日本語教育史2	3~4	1			
	日本語教育実習1(大学留学生)	3~4	1			
	日本語教育実習2(生活者)	3~4	1			
	日本語教育実習3(児童・生徒)	3~4	1			
	日本語教育実習4(日本語学校留学生)	3~4	1			
	海外日本語教育実習	3~4	2			
	日本語教科書研究1	2~4	1			1単位必修
	日本語教科書研究2	2~4	1			1単位必修
	日本語教授法A1	2~4	1			1単位必修
	日本語教授法A2	2~4	1		1単位必修	
	日本語教授法B1	3~4	1		1単位必修	
	日本語教授法B2	3~4	1		1単位必修	
	第二言語習得論1	3~4	1		1単位必修	
	第二言語習得論2	3~4	1			
	言語学概論A	2~4	1			
	言語学概論B	2~4	1			
	言語学概論C	2~4	1			
	言語学概論D	2~4	1			
	対照言語学1	3~4	1			
対照言語学2	3~4	1				
認知言語学1	3~4	1				
認知言語学2	3~4	1				
発達と学習の心理A	2~4	1				
発達と学習の心理B	2~4	1				
社会言語学1	3~4	1	1単位必修			
社会言語学2	3~4	1	1単位必修			
日本語教育評価法	3~4	1				
日本語学概論A	2~4	2	2単位必修			
日本語学概論B	2~4	2	2単位必修			
日本語史1	2~4	1	1単位必修			
日本語史2	2~4	1				
日本語文法1	2~4	1				
日本語文法2	2~4	1				
日本語教育とICT	3~4	1				
日本語音声学1	2~4	1				
日本語音声学2	2~4	1				

授業科目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
専門必修・選択必修科目	研究演習A1	3	1	4単位必修
	研究演習A2	3	1	
	研究演習A3	3	1	
	研究演習A4	3	1	
	研究演習B1	3	1	
	研究演習B2	3	1	
	研究演習B3	3	1	
	研究演習B4	3	1	
小計			30単位	
選択科目	インターンシップ	3	2	38単位
	異文化体験実習	1~4	1~8	
	日本史要説A	2~4	1	
	日本史要説B	2~4	1	
	東洋史要説A	2~4	1	
	東洋史要説B	2~4	1	
	政治学A	1~4	1	
	政治学B	1~4	1	
	社会学概論1	3~4	1	
	社会学概論2	3~4	1	
	漢文学概説1	2~4	1	
	漢文学概説2	2~4	1	
	漢文学史A1	2~4	1	
	漢文学史A2	2~4	1	
	書写書道基礎	3~4	2	
	地理学概論B	2~4	2	
	哲学概論A	1~4	2	
	哲学概論B	1~4	2	
	英米言語文化概説A	2~4	1	
	英米言語文化概説B	2~4	1	
	ELPセンター英語セミナー1	1~4	1	
	ELPセンター英語セミナー2	1~4	1	
ELPセンター英語セミナー3	1~4	1		
ELPセンター英語セミナー4	1~4	1		
外国語コミュニケーション	1~4	1~12		
国際学特別研究	1~4	1~12		
社会実習ボランティア活動	1~4	1~4		
言語コミュニケーション科目	2~4	8		
その他の科目				
合計			88単位	
共通教育科目			36単位	
総計			124単位	

注1) 「その他の科目」とは、専門基礎科目及び専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を越えて履修した科目、選択プログラム以外の各プログラムの専門科目及び他学域・他学類の専門科目(24単位まで)をいいます。

注2) 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業(Eを付した科目)を4単位以上修得すること。

日本語教育プログラム

【教育方針】

本プログラムでは、グローバル時代に必要な日本語や日本語教育、日本文化についての知識を持ち、日本語を学ぶ人々の社会参画を後押しできる、実践力のある日本語教師を育成することを目指しています。

【本プログラムにおけるカリキュラムの考え方（カリキュラム・ポリシー）】

本プログラムのカリキュラムは、日本語教員養成のための専門科目を中心に学び、日本語や日本語教育、日本文化の専門知識はもちろん、「日本語教授法」「日本語教育実習」等の演習・実習科目で実践力を身につけることに主眼を置いています。グローバル時代の国際社会や日本社会についての理解と、外国語でのコミュニケーション力を生かして日本語を教える能力を修得することができるように構成されています。

【学士学位授与のために求められる学習成果（ディプロマ・ポリシー）】

上記の教育方針で示した人材養成目標に到達した者に学士（国際学）の学位を授与します。この目標に到達するために、本プログラム所属の学生は以下の学習成果を上げることが求められます。

- ・世界情勢を偏りなく見つけ、自己のアイデンティティを大切にしながら異文化を受け入れられる価値観や包容力を身につけていること。
- ・日本の文化・社会・歴史や日本語についてグローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を獲得していること。
- ・日本文化や日本語・日本語教育に対する深い理解と知識を有していること。
- ・自国文化や母語についての深い理解を前提として、国内外で日本語を学ぶ人々に指導するための高度な知識や教授法を身につけていること。
- ・英語などの外国語コミュニケーション能力とともに、日本語による高度なコミュニケーション能力を有していること。

参考：入学者受入れに関する基本的考え方（アドミッション・ポリシー）

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外の NPO・NGO で経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系、地域研究系、インクルーシブ社会構築系という3つの系に大別される複数のプログラムがあり、そのうちのいくつかは英語のみで卒業できます。

4. 副専攻について

(1) 制度の趣旨

この制度は、学生諸君の自由な選択にゆだねられている選択科目の枠を利用して、特定の学問領域について主専攻の半分程度の科目を履修することで、副専攻を認定するものです。学類内および学類間、学域間で副専攻を取ることで、より広範な知識と学際的なものの見方を習得することができます。

各副専攻には、所属する学類・プログラムでの専門分野に関する学習と並行して、関連分野に関する知見を広げてくれるものや、幅広い視野を身につけ、専門性に裏づけられた教養人として自己を形成していく上で手助けとなるもの、就職のための資格を得るのに有利なもの等、多様な性格を持っていますので、それぞれの関心に応じて自由に選択してください。

(2) 認定の方法

所定の期間内に副専攻の登録を行い、卒業時まで所定の科目及び単位数を修得し、最終判定に合格した学生について、当該プログラムを「副専攻」として認定します。認定は卒業時に提出する副専攻修了認定申請書に基づいて行われ、副専攻修了証明書が交付されます。

(3) 補足

この制度は、希望する学生のみを対象とするもので、主専攻に専念したいと考える学生や、副専攻という形を取らずに幅広い科目の履修を目指す学生を強制するものではありません。また、卒業要件となる制度でもありません。副専攻認定のための単位数を満たせなくても、修得した科目で自らの主専攻プログラムの科目ではないものは選択科目として卒業要件に算入できます。(ただし他学類の授業科目については、学類細則第5条第1項のとおり。)

(4) 具体的な手続きについて

副専攻登録を希望する学生は、金沢大学公式Webサイトの『副専攻制度』の説明及び金沢大学人間社会学域Webサイトの『副専攻Q&A』をよく読んで、必要な手続きを忘れないようにしてください。

5. 免許状・資格取得のための履修について

(1) 教育職員免許状

教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする学生は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要単位を修得しなければなりません。教育職員免許状取得のための履修及び単位修得については、制度を理解した上で、自己の責任で行ってください。詳しくは、人間社会学域で作成した『教職の手引き』を参照してください。以下は、ここで案内すべき最重要の事柄だけを述べます。

本学類で取得できる免許状の種類は、次のとおりです。

免許状の種類	免許教科
中学校教諭一種免許状	国語
	英語
	社会
高等学校教諭一種免許状	国語
	英語
	地歴、公民

*プログラムによっては、修得困難な免許教科があります。アドバイス教員と相談の上、1年次より履修計画を立て、修得を目指してください。

*人間社会学域規定別表第7から9に掲げる科目の単位は、卒業に必要な単位数に含めません。(教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科(保育内容)の指導法、大学が独自に認定する科目、特別支援教育に関する科目)

(2) 卒業時に取得できる資格

大学卒業時に取得できる資格にはさまざまなものがあります。これを整理すると、(1) 開講されている所定の授業科目を修得することによって取得できる資格と、(2) その学類・プログラム・専修を卒業したということだけで取得できる資格(卒業自体が資格に必要な専門的知識を得たものと見なされます)とがあります。

また、卒業時に得られる資格にも、資格それ自体が得られる場合と、資格を得るための試験の受験資格あるいは受験科目の一部免除が得られる場合とがあります。以下では、人間社会学域における取得可能資格を示します。

① 開講されている所定の授業科目を修得することによって取得できる資格

所定の科目を修得すると取得できる資格と学類・プログラム・専修との関係を一覧表に表すと以下のようになります。

資格の分類・名称 [認定機関]		学類・プログラム・専修	備 考	
所定の科目を修得すると取得できる資格	資格自体が得られる	社会調査士 [一般社団法人社会調査協会]	人文学類	他学類の学生でも必要科目の単位修得をすることで資格取得は可能ですが、実習の科目が多いため、左記以外の学類では取得するための負担が相当に大きくなります。
		学芸員	人文学類及び他の全学類	博物館に関する科目の単位を修得する必要があります。主要な科目は人文学類で開講されます。
	あるいは受験科目の一部免除	日本語教育専攻	国際学類及び他の全学類	指定科目から教育実習を含む26単位以上の修得が必要。

日本語教育プログラムにおける日本語教育専攻資格取得について

国際学類では、多様な日本語学習者への日本語の指導等に携わることができる日本語教師を養成するプログラムを提供します。

このプログラムは、平成31(2019)年に文化庁から出された「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改訂版」の枠組みに基づいて構成されています。以下の科目を26単位以上取得することで、卒業時に「日本語教育専攻資格」が取得できます。

日本語教育専攻資格のための科目表

科目名	開講年次	単位	必修	
日本語教育学基礎 1	2～4	1	必修	「社会・文化・地域」 10 単位から 4 単位以上
日本語教育学基礎 2	2～4	1	必修	
国際関係論	2～4	2		
国際関係論 E	2～4	2		
日本史概説 1	2～4	1		
日本史概説 2	2～4	1		
日本の文学	2～4	2		
社会言語学 1	3～4	1	必修	「言語と社会」 13 単位から 4 単位以上
社会言語学 2	3～4	1	必修	
ジェンダーと社会 A	1～4	1		
ジェンダーと社会 B	1～4	1		
多文化主義論 1E	3～4	1		
多文化主義論 2E	3～4	1		
文化人類学概論 A	3～4	1		
文化人類学概論 B	3～4	1		
憲法(人権) A	2～4	2		
憲法(人権) B	2～4	2		
イスラーム社会と文化	3～4	1		
異文化理解 1	1	1		
異文化理解 2	1	1		
第二言語習得論 1	3～4	1		
第二言語習得論 2	3～4	1		
発達と学習の心理 A	2～4	1		
発達と学習の心理 B	2～4	1		
東アジア社会と教育 A1	2～4	1		
東アジア社会と教育 A2	2～4	1		
東アジア社会と教育 B1	2～4	1		
東アジア社会と教育 B2	2～4	1		
日本語教科書研究 1	2～4	1	必修	「言語と教育」 10 単位から 7 単位以上
日本語教科書研究 2	2～4	1	必修	
日本語教授法 A1	2～4	1	必修 ^{注1}	
日本語教授法 A2	2～4	1	必修	
日本語教授法 B1	3～4	1	必修 ^{注2}	
日本語教授法 B2	3～4	1	必修	
日本語教育史 1	3～4	1		
日本語教育史 2	3～4	1		
日本語教育と ICT	3～4	1		
日本語教育評価法	3～4	1		

日本語学概論 A	2~4	2	必修	「言語」 18 単位から 7 単位以上	
日本語学概論 B	2~4	2	必修		
日本語史 1	2~4	1			
日本語史 2	2~4	1			
日本語文法 1	2~4	1			
日本語文法 2	2~4	1			
日本語音声学 1	2~4	1			
日本語音声学 2	2~4	1			
言語学概論 A	2~4	1			
言語学概論 B	2~4	1			
言語学概論 C	2~4	1			
言語学概論 D	2~4	1			
対照言語学 1	3~4	1			
対照言語学 2	3~4	1			
認知言語学 1	3~4	1			
認知言語学 2	3~4	1			
教育 実習 科目 注3	日本語教育実習 1(大学留 学生)	3~4	1	注4	「教育実習」 6 単位から 2 単位以上
	日本語教育実習 2 (生活 者)	3~4	1		
	日本語教育実習 3 (児童・ 生徒)	3~4	1		
	日本語教育実習 4(日本語 学校留学生)	3~4	1		
	海外日本語教育実習	3~4	2		

なお、以下の科目の受講に順序が決まっているので、注意してください。

- 注1 日本語教授法 A1・A2：受講前に、日本語教育学基礎 1・2、日本語学概論 A・B を履修していることが条件。合格していることが望ましいが、不合格でも履修はできる。
- 注2 日本語教授法 B1・B2：日本語教授法 A1・A2 に合格していることが条件。
- 注3 「教育実習」に含まれる科目（日本語教育実習 1（大学留学生）、日本語教育実習 2（生活者）、日本語教育実習 3（児童・生徒）、日本語教育実習 4（日本語学校留学生）、海外日本語教育実習）は、日本語教授法 B1・B2 を履修していることが条件。
- 注4 日本語教育プログラムを主専攻とする学生は、原則として日本語教育実習 1（大学留学生）を履修すること。日本語教育実習 1（大学留学生）は、最大履修人数を 15 人程度とし、日本語教育プログラムを主専攻とする学生の履修を優先する。日本語教育プログラムを副専攻とする学生および他学類生が履修する場合は相談すること。

(3) 学類の学習が結びつく受験資格

大学卒業に関係なく誰でも受験できる資格の中には、学類の専門科目の授業がその資格取得に役立つものがあります。

【学類とその学習が役立つ主な受験資格一覧】

学類	受験資格	役立つ授業科目
国際学類	全国通訳案内士 [観光庁]	言語系専門科目群

(4) その他の資格

①公認心理師資格について

人間社会学域「公認心理師養成プログラム」を修了することで、学士課程での要件を満たすことができます。本プログラムの履修要件及び修了要件は以下のとおりです。詳細は別にお知らせします。

履修要件…人間社会学域規程（以下、「学域規程」）別表第10-2に規定された修得すべき単位数を修得していること

修了要件…学域規程別表第10-1に規定された全科目を修得すること

※学域規程別表第10-1に規定された科目単位は卒業要件に算入できません。

※学域規程別表第10-2に規定された科目は、人文学類専門教育科目の科目番号で履修登録してください（ただし、教育職員免許状取得希望者除く）。その場合、他学類科目の履修となるため、「選択科目」として卒業要件に算入することができます。

なお、教育職員免許状取得希望者は、「発達心理学Ⅰ」「発達心理学Ⅱ」の2科目について、学校教育学類専門教育科目の科目番号で履修することで、教育職員免許状取得のための「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位に算入することが可能です。ただし、その場合、当該2科目の単位は卒業要件に算入できませんのでご注意ください。

なおプログラムの受け入れ人数には上限があり、希望者数が受け入れ上限を超えた場合は、選考により履修者を決定します。本プログラムを修了することにより、公認心理師試験に必要な証明書の交付を受けることができます。

6. 体験実習科目について

(1) 就業体験実習（インターンシップ）

○ 趣旨・目的

国際学類共通科目の一つとして、在学中に一定期間、民間企業や官庁・自治体、NGO・NPO等において就業体験を行うことにより、学問を学ぶ意味を実践を通じて理解させるとともに、自らに適した将来の進路を選択する能力の向上を図ることを目的としています。

○ 対象学年・実施時期

原則として国際学類3年生以上を対象とし、夏季あるいは春季休業中の1～2週間とします。

- 履修手続き等
 - ・履修続きについては、3年次の4月に、キャリア形成支援委員会が開催するキャリア講座の中で説明します（アカンサスポータルで通知）。
 - ・キャリア講座での説明を理解した上で、所定期間内に履修登録を行ってください。
 - ・インターンシップの終了後に、キャリア形成支援委員会に評価報告書・結果報告書などを提出し、所定の実習時間が確認された場合に単位が認定されます。
 - ・派遣留学先でのインターンシップや海外長期インターンシップを行った学生は、所定の書類を提出することで、「異文化体験実習」の単位認定を受けることができます。詳細は、3年次の4月にキャリア形成支援委員会が開催するキャリア講座の中で説明します。

（２） 異文化体験実習

- 趣旨・目的

国際学類共通科目の一つとして、現在グローバル化が進む中、在学中に一定期間、海外での短期の研修、語学研修及び異文化体験を行うことにより、学問を学ぶ意味を体験を通じて理解させるとともに、コミュニケーションの手段としての実践的な語学能力と、幅広い視野及び柔軟な状況適応能力等の向上を図ることを目的としています。「異文化体験実習」に該当するものは、海外等における研修、語学研修や海外ボランティア等です。
- 対象学年・実施時期

国際学類1～4年生を対象とし、原則として、夏季あるいは春季休業中とします。
- 履修手続き等
 - ・履修を希望する学生は、異文化体験実習科目コーディネーターが主催する「説明会」に**必ず出席してください**。（メールやHP、掲示で通知）
 - ・履修登録は担当教員が行うものと、自身で行うものがありますので「説明会」で確認してください。
 - ・事前指導・事後指導

体験実習を実施するための準備授業一事前指導、及び体験実習を終了した後の授業一事後指導に出席する必要があります。（掲示で通知）
- 異文化体験実習には、「異文化体験実習Ⅰ」（1～8単位）と「異文化体験実習Ⅱ」（2単位）があり、いずれも成績評価は合否制です。「異文化体験実習Ⅰ」は短期の研修、語学研修及び異文化体験を行うことによって単位を修得するものです。「異文化体験実習Ⅱ」は、**帰国後所定の語学検定試験に合格することによって修得するものです**。「異文化体験実習Ⅰ」と同時に履修登録してください。所定の語学検定試験については以下を参照してください。
 - 英 語：TOEFL (PBT/ITP) 550点以上、(CBT) 213点以上、(iBT) 72点以上、TOEIC (L&R) 730点以上、英語検定試験準1級、IELTS 5.5以上、BULATS B2以上、及び同等のもの
 - 中 国 語：中国語検定試験2級以上及び同等のもの
 - 朝 鮮 語：ハングル能力検定試験2級以上及び同等のもの
 - ド イ ツ 語：ドイツ語技能検定試験2級以上及び同等のもの
 - フ ラ ン ス 語：フランス語技能検定試験準2級以上及び同等のもの
 - ス ペ イ ン 語：スペイン語技能検定2級以上及び同等のもの
 - ロ シ ア 語：ロシア語能力検定試験3級以上及び同等のもの

なお、2015年度以前の入学者に認めていた交換留学等の派遣留学に対する異文化体験実習の認定は、2016年度入学者からは適用されません。留学先で履修した科目の単位互換制度を利用ください。

7. 短期留学及び海外研修について

国際学類では所属する学生に**短期留学（1年ないしは半年）**および**海外語学研修等**、海外に出て学習することを強く勧めます。国際学類の掲げている学習目標を達成するためには、海外での学習・体験が欠かせないと考えるからです。入学時から、本学の派遣留学制度等を十分に調べ、短期留学及び海外研修を目指した学習計画を立ててください。特に、**語学の条件等（TOEFL iBT及びIELTS等）**に関しては、**求められるレベルを正確に把握し、1年次から学習計画を入念に立てて積極的に受験してください**。また、学業成績も応募条件にありますから、GPAを下げないようにしっかりと学んでください（特に放棄をしないように）。

（1）短期留学

本学と学生交流協定を結び相互に学生を交換している協定大学へ派遣留学生として短期（1年ないしは半年）留学する制度があります。派遣留学制度を使つての留学の募集は、毎年10月、12月、4月（オーストラリア・韓国・ブラジル等）および掲示等で広報される所定の時期です。交流大学の一覧・派遣留学の条件等については、国際部発行の『金沢大学生のための派遣留学の手引き』や海外研修・留学関係のWebサイトを参照ください。留学によって修得した単位は、所定の手続きを経て金沢大学の単位として認められ、留学しながら4年で卒業することも可能です。各プログラムの履修モデルなどを参照したり、アドバイス教員や留学相談教員に相談したりして、留学について十分な準備を行ってください。

また、協定大学以外にも自力で留学先を探し、自らのイニシアティブで留学することもできます。留学によって修得した単位は学類会議により認定される場合があります。本学以外のさまざまな機関が提供している奨学金などの情報を積極的に入手して、留学奨学金にチャレンジしてみてください。

（2）海外研修

春季休業あるいは夏季休業を利用して、海外の大学や語学学校において語学研修を行い、外国語の運用能力を高め、海外での体験を積むことは、本学類の趣旨にかなう有効な学習です。本学では、後述の大学主催の語学研修のほか、自分が企画・実施する海外研修（語学研修、海外ボランティア、インターンシップ等）に単位を認めています（「異文化体験実習Ⅰ、Ⅱ」）。また、語学研修を行い、外国語の運用能力を高め、海外での生活に親しんだ後で、短期留学するのもよい方法だと思われます。

なお、以下の諸大学における語学研修は、金沢大学が主催するもので、金沢大学の教員が引率するものもあります。詳しくは、Webサイトや『金沢大学生のための派遣留学の手引き』、各研修担当者にご確認ください。

【本学が主催する語学研修を実施する大学】（予定）

英 語 圏 ワイカト大学、ユーコンカレッジ 他
中 国 台湾師範大学、北京言語大学 他
ド イ ツ レーゲンスブルク大学・デュッセルドルフ大学
フランス オルレアン大学
スペイン アルカラ大学(春)、アリカンテ大学(夏)

8. 外部検定試験等による単位認定について

国際学類の学生で外部検定試験等に合格した者は、言語科目の認定を受けることができます。対象となる科目については、以下の申合せを参照してください。

外部検定試験等による単位認定に関する申合せ

金沢大学学則第56条第1項に基づき、外部検定試験等による単位認定について、次のとおり申し合わせる。

1. 対象科目及び認定基準は、外部検定試験等による単位認定基準による。
2. 申請の方法は、単位認定申請書（別紙様式）に成績証明書を添えて、各学期の指定する期日までに提出するものとする。
3. 単位の認定は、学類会議において行う。

附 則

この申合せは、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、平成22年4月1日から施行し、平成22年3月31日に在学する者から適用する。

附 則

この申合せは、平成23年4月1日から施行し、平成23年3月31日に在学する者から適用する。

附 則

この申合せは、平成25年4月1日から施行し、平成25年3月31日に在学する者から適用する。

附 則

この申合せは、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、令和6年4月1日から施行する。

科 目	認定対象とする外部検定試験等	合格基準	認定科目・単位数
中国語	HSK(漢語水平考査) 4級	試験合格	中国語コミュニケーション初級1 1単位 中国語コミュニケーション初級2 1単位 中国語コミュニケーション初級3 1単位 中国語コミュニケーション初級4 1単位 中国語コミュニケーション初級5 1単位 中国語コミュニケーション初級6 1単位 中国語コミュニケーション初級7 1単位 中国語コミュニケーション初級8 1単位
	HSK(漢語水平考査) 5級～6級	6割以上のスコア獲得	中国語コミュニケーション初級1 1単位 中国語コミュニケーション初級2 1単位 中国語コミュニケーション初級3 1単位 中国語コミュニケーション初級4 1単位 中国語コミュニケーション初級5 1単位 中国語コミュニケーション初級6 1単位 中国語コミュニケーション初級7 1単位 中国語コミュニケーション初級8 1単位 実践中国語1 1単位 実践中国語2 1単位 中国語表現法A1 1単位 中国語表現法A2 1単位 中国語表現法B1 1単位 中国語表現法B2 1単位 現代中国時事文A1 1単位 現代中国時事文A2 1単位 現代中国時事文B1 1単位 現代中国時事文B2 1単位
朝鮮語	TOPIK(韓国語能力試験) 5級以上	試験合格	朝鮮語コミュニケーション初級1 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級2 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級3 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級4 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級5 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級6 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級7 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級8 1単位
	KLT(韓国語レベルテスト) 840点以上		
	KLPT(世界韓国語認証試験) 400点以上		

科目	認定対象とする外部検定試験等	合格基準	認定科目・単位数
英語	TOEFL (PBT/ITP) 577-597, TOEFL (CBT) 233-247, TOEFL (iBT) 90-99, ※TOEIC (L&R) 820-895, IELTS 6.5	試験合格	英語コミュニケーション科目群から4単位まで
	TOEFL (PBT/ITP) 600～ TOEFL (CBT) 250～ TOEFL (iBT) 100～ ※TOEIC (L&R) 900～ IELTS 7.0		英語コミュニケーション科目群から8単位まで
ドイツ語	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A2	試験合格	ドイツ語読解基礎 1 1単位 ドイツ語読解基礎 2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級4 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級5 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級6 1単位
	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B1 またはドイツ語技能検定試験 (独検) 2級		ドイツ語読解基礎 1 1単位 ドイツ語読解基礎 2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級4 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級5 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級6 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級4 1単位
	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B2以上 またはドイツ語技能検定試験 (独検) 準1級以上		ドイツ語読解基礎 1 1単位 ドイツ語読解基礎 2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級4 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級5 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級6 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級4 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級5 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級6 1単位
フランス語	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A2* * 実用フランス語技能検定準2級, DELF A2に相当	試験合格	フランス語コミュニケーション初級1 1単位 フランス語コミュニケーション初級2 1単位 フランス語コミュニケーション初級3 1単位 フランス語コミュニケーション初級4 1単位 フランス語コミュニケーション初級5 1単位 フランス語コミュニケーション初級6 1単位 フランス語コミュニケーション初級7 1単位 フランス語コミュニケーション初級8 1単位
	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B1* * 実用フランス語技能検定2級, DELF B1に相当		フランス語コミュニケーション初級1 1単位 フランス語コミュニケーション初級2 1単位 フランス語コミュニケーション初級3 1単位 フランス語コミュニケーション初級4 1単位 フランス語コミュニケーション初級5 1単位 フランス語コミュニケーション初級6 1単位 フランス語コミュニケーション初級7 1単位 フランス語コミュニケーション初級8 1単位 フランス語コミュニケーション中級1 1単位 フランス語コミュニケーション中級2 1単位 フランス語コミュニケーション中級3 1単位 フランス語コミュニケーション中級4 1単位

科目	認定対象とする外部検定試験等	合格基準	認定科目・単位数
フランス語	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B2* * 実用フランス語技能検定準1級、DEL F B2に相当	試験合格	フランス語コミュニケーション初級1 1単位 フランス語コミュニケーション初級2 1単位 フランス語コミュニケーション初級3 1単位 フランス語コミュニケーション初級4 1単位 フランス語コミュニケーション初級5 1単位 フランス語コミュニケーション初級6 1単位 フランス語コミュニケーション初級7 1単位 フランス語コミュニケーション初級8 1単位 フランス語コミュニケーション中級1 1単位 フランス語コミュニケーション中級2 1単位 フランス語コミュニケーション中級3 1単位 フランス語コミュニケーション中級4 1単位 フランス語コミュニケーション中級5 1単位 フランス語コミュニケーション中級6 1単位 フランス語コミュニケーション中級7 1単位 フランス語コミュニケーション中級8 1単位
スペイン語	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A2	試験合格	スペイン語コミュニケーション初級1 1単位 スペイン語コミュニケーション初級2 1単位 スペイン語コミュニケーション初級3 1単位 スペイン語コミュニケーション初級4 1単位 スペイン語コミュニケーション初級5 1単位 スペイン語コミュニケーション初級6 1単位 スペイン語コミュニケーション初級7 1単位 スペイン語コミュニケーション初級8 1単位
	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B1以上	試験合格	スペイン語コミュニケーション初級1 1単位 スペイン語コミュニケーション初級2 1単位 スペイン語コミュニケーション初級3 1単位 スペイン語コミュニケーション初級4 1単位 スペイン語コミュニケーション初級5 1単位 スペイン語コミュニケーション初級6 1単位 スペイン語コミュニケーション初級7 1単位 スペイン語コミュニケーション初級8 1単位 スペイン語コミュニケーション中級1 1単位 スペイン語コミュニケーション中級2 1単位 スペイン語コミュニケーション中級3 1単位 スペイン語コミュニケーション中級4 1単位
	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B2以上	試験合格	スペイン語コミュニケーション初級1 1単位 スペイン語コミュニケーション初級2 1単位 スペイン語コミュニケーション初級3 1単位 スペイン語コミュニケーション初級4 1単位 スペイン語コミュニケーション初級5 1単位 スペイン語コミュニケーション初級6 1単位 スペイン語コミュニケーション初級7 1単位 スペイン語コミュニケーション初級8 1単位 スペイン語コミュニケーション中級1 1単位 スペイン語コミュニケーション中級2 1単位 スペイン語コミュニケーション中級3 1単位 スペイン語コミュニケーション中級4 1単位 スペイン語コミュニケーション中級5 1単位 スペイン語コミュニケーション中級6 1単位 スペイン語コミュニケーション中級7 1単位 スペイン語コミュニケーション中級8 1単位
ロシア語	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A2	試験合格	ロシア語コミュニケーション初級1 1単位 ロシア語コミュニケーション初級2 1単位 ロシア語コミュニケーション初級3 1単位 ロシア語コミュニケーション初級4 1単位 ロシア語コミュニケーション初級5 1単位 ロシア語コミュニケーション初級6 1単位 ロシア語コミュニケーション初級7 1単位 ロシア語コミュニケーション初級8 1単位 ロシア語コミュニケーション中級1 1単位 ロシア語コミュニケーション中級2 1単位 ロシア語コミュニケーション中級3 1単位 ロシア語コミュニケーション中級4 1単位

※TOEIC (L&R) -IP は除く。

備考 1 単位認定を申請する科目は未修得のものに限る。

2 外部検定試験による同一言語の単位認定を複数回求める場合、先に認定を受けた単位数を除くものとする。

3 外部検定試験のスコアは大学入学後のものに限る。

9. 富山大学人文学部及び信州大学人文学部との単位互換について

富山大学人文学部及び信州大学人文学部で開講される専門科目を履修し、30単位を限度に、本学類の選択単位とすることができます。ただし、専門基礎科目内の「学域GS科目」、専門科目内の卒業論文関係科目、教職に関する科目、博物館学芸員資格取得のための科目などの履修できない科目があります。また、共通教育科目も対象外とします。履修の手続きの際に、本学類のアドバイザー教員等及び相手学部の当該授業科目担当教員の承認が必要で、具体的には当該授業科目担当教員の裁量に委ねられます。

履修手続きの詳細は掲示で通知します。

修学上の心得

1. 授業について

授業は各クォーター8週行い（セメスター制の授業は15週）、日程は学年の始めに公示します。

前期は4月上旬、後期は9月下旬または10月上旬から開講します。

各学期の開講科目については、授業時間割により発表します。

授業時間割は発表後においても、一部変更することがあります。

授業時間は次のとおりです。

第1限	8時45分～10時15分
第2限	10時30分～12時00分
第3限	13時00分～14時30分
第4限	14時45分～16時15分
第5限	16時30分～18時00分

※授業中は、担当教員の指示もしくは許可を得た場合を除き、以下の行為を禁止します。

○授業の撮影・録画・録音

またこれらの許可を得てもSNS等への掲載は禁止です。

2. 専門科目の単位数について

学域規程別表の単位数は、修業年限内で開講される標準開講単位数を示すものです。事情によっては開講されない場合もありますので注意してください。

3. 履修登録について

その学期・クォーターに開講される科目で単位認定を希望する科目は、集中講義を含め、すべてその学期・クォーター毎に履修登録が必要です。登録方法等については後述しますが、期限に遅れたり、手続きミスをするとその学期・クォーターは履修できなくなりますので、十分注意してください。

履修登録において最も重要なことは、「学務情報サービス」上の「履修時間割表」を確認（訂正）することです。「履修時間割表」には、集中講義を含めて、その学期・クォーターの開講科目のうち単位認定を希望する全科目が記載されていなければなりません。この「履修時間割表」に載っていない科目は、履修しても単位認定はされませんので、必ず内容を確認してください。

また、履修登録についての指示・方法、期限等は全てアカンサスポータルでの通知と掲示にて行いますので、必ず通知・掲示を確認するようにしてください。

4. 定期試験について

試験は、その科目の授業の終わった後すみやかに行われます。ただし、通年の授業科目のうちの一部には、一括して試験するものもあります。

試験の日程及び試験科目は、実施の日の約1週間前に発表します。

定期試験については再試験は行いません。

疾病、負傷その他やむを得ない理由により、定期試験を受験することができない学生に限り、追試験申請を認めることがあります。追試験の申請は理由を証明する書類（医師の診断書など）を添えて、事前に（事情によっては、証明書は、後日提出しても差し支えありません。）、試験担当教員へ申し出なければなりません。

5. 転学域・転学類・プログラム変更について

転学類（転学域を含む）は、原則1年次後期の10月初旬頃に申請できます。ただし、それ以降も転学類は可能です。

プログラム変更は、原則3年次後期の12月頃に申請できます。ただし、それまでの単位修得状況によっては4年間で卒業できない場合があります。また、留学等の事由がある場合は、アドバイス教員にご相談ください。

6. 授業科目履修の具体的方法について

(1) 手続きに必要なコード番号

① 学籍番号

この番号は全処理のキーナンバーとなるため、間違えると単に自分が困るだけでなく、その番号を持った他人に多大な迷惑をかけることとなります。

必ず学生証で確認してください。

② 名列番号

学年（学類・プログラム）ごとに氏名を50音順に並べた3ケタの番号を名列番号と言います。3年生以上はプログラムごとに付番します。各プログラムの先頭名列番号は次のとおりです。

国際政治プログラム	001	国際政治Eプログラム	101
国際経済プログラム	201	国際経済Eプログラム	301
英語圏研究プログラム	401	英語圏研究Eプログラム	501
ヨーロッパ圏研究プログラム	601	アジア・日本研究プログラム	701
グローバルD E Iプログラム	801	日本語教育プログラム	901

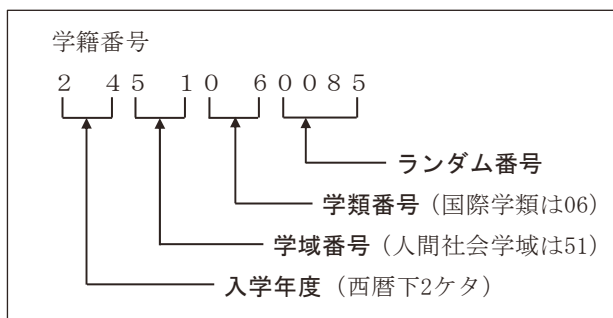
出欠や定期試験（答案用紙に要記入）、証明書交付願等に最もよく使うので必ず暗記してください。

なお、名列番号は、学籍番号とは関係なく、かつ留年等の場合に変更するので特に注意してください。

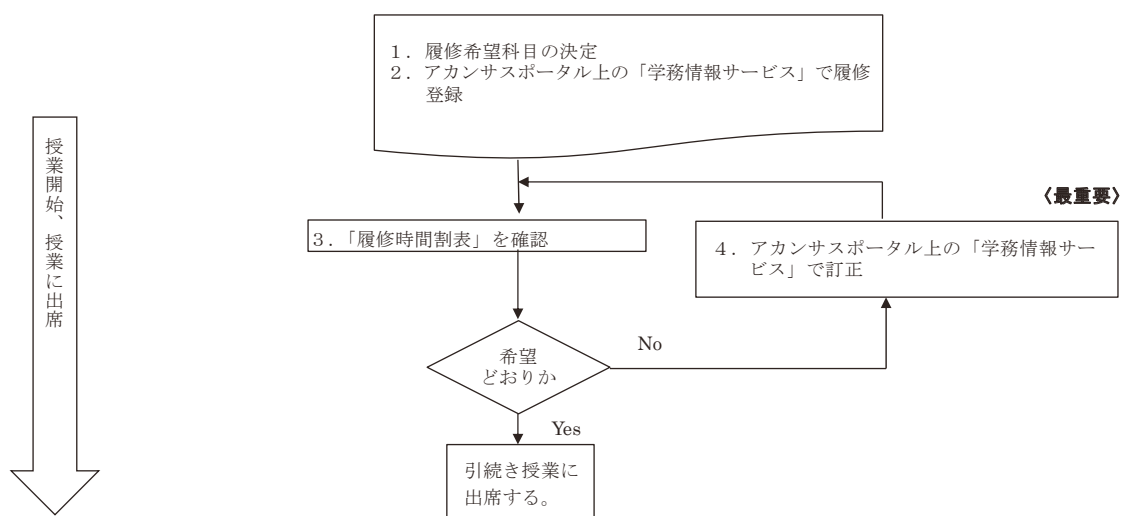
③ 時間割番号

各学類の授業科目すべてに時間割番号がつけられています。5ケタと8ケタの数字は1回のみ履修可能です。（桁数によるルールは学類によって異なり、国際学類の科目は一部の科目を除き原則全ての科目が再修得できません。例外については、毎学期・クォーターの授業時間割表で確認してください）。

なお、同一科目でも年度・学期・クォーターによって、時間割番号が変わる科目もありますので、必ず各学期・クォーターの授業時間割表で確認してください。



履修登録の流れ図



※インターネットを利用して履修登録する。
詳細は、「金沢大学学生便覧」を参照すること。

(2) 履修登録の方法

履修希望科目の履修登録は、毎学期・クォーター必ず指示する期間内にWeb登録しなければなりません。以下に手順と注意を詳述しますので熟読してください。

① 履修希望科目の決定

- ・シラバス、授業時間割表、掲示物等を基にその学期・クォーター中の履修希望科目を各自で決めてください。
- ・同一時限（部分重複を含む）に複数科目（共通教育科目を含む）の重複登録は認めません（集中講義を含む）。
- ・過年度者等で自分が取るべき科目が開講されていない場合は、別途指示しますので、履修登録期間内に（なるべく早く）人社系教務・学生支援担当に相談してください。

② Web履修登録

- ・Webでの履修登録は、学生便覧を参照して、必ず所定の期間内に行ってください。
- ・同一時限に開講される同一科目名または同一教員の授業は、学類等によって科目番号が異なる場合がありますので、必ず国際学類ハンドブックで科目番号を確認してください。
- ・人間社会学域以外の学域に属する学類（数物学類・保健学類等）の開講科目の履修希望者は、「他学域授業科目履修願」を人社系学生課で受領し、早めに担当教員の下承印を得て、期間内に提出してください。なお、通常のWeb登録による履修手続きでは、人間社会学域以外の学域に属する学類の科目の履修登録はできませんので、特に注意してください。
- ・卒業論文は、4年次で履修登録が必要です。絶対に忘れないで下さい。
- ・専門教育科目は、各クォーターの履修登録上限が共通教育科目と合計して12単位以下と決められています。（インターンシップ、異文化体験実習、卒業論文、集中講義により開講する科目及び教職に関する科目は除きます。）
- ・例えば、教育実習等、別に所定の書類の提出を要する科目は、履修登録願とその手続きの両方が必要です。一方で欠けると履修が許可されませんので注意してください。
また、集中講義や教育実習等、実施時期が遅い科目でも学期・クォーター当初の履修登録が必要です。なお、日程の重なっている集中講義は重複して履修することはできません。
- ・教育実習と教育実習事前・事後指導は、希望年次の前期に同時に履修登録してください。

③ 履修登録科目の確認と訂正 **《重要》**

- ・履修登録補正期間になると「学務情報サービス上」の「履修時間割表」に確定した科目が掲載されますので、確認してください。
- ・希望どおりであれば、その時点で履修許可科目が確定します。
- ・卒業予定の学生は、**卒業論文が登録されていることを確認してください。**
- ・希望と違っていたら、科目の選び方や、これまでの手続きに誤りがなかったか十分検討してください。
その上で、訂正（追加・削除）したい場合は、Webで訂正してください。
- ・履修登録補正期間中は、履修登録・削除を行うことによって「履修時間割表」もリアルタイムで更新されます。希望どおり訂正できたか必ず「履修時間割表」を確認してください。
- ・**指定期間外の訂正は原則受け付けません。また、他学域の科目の訂正はできません。**
- ・一旦履修が許可された科目でも、履修要件や単位認定等に不都合がある場合は、予告なく履修許可を取消されることがあります。この場合も科目の追加は認められません。

④ 成績の通知

- ・成績通知は、掲示等で指示する日時にWebで公開されます。
- ・成績通知表の評語は、S・A・B・C・不可の評語のほか、合・否（合否は一定の水準以上の成績達成を目的とした授業科目の場合）・認定（本学の開講科目以外の授業科目及び外部試験の結果を単位認定する場合）・放棄（履修許可されたが実際には履修せずと判断）の9評語に、保留（合否判定が次学期以降に延期）が加わり10種類になります。単位の認定は、S・A・B・C並びに合・認定の評語を得た授業科目に対してのみ行います。

なお、各評語の標準的到達度は次のとおりです。

S（90%以上）、A（80%以上90%未満）、B（70%以上80%未満）、C（60%以上70%未満）、
不可（60%未満）

- ・保留の科目で次学期・クォーター末に単位認定を希望する場合は、学期・クォーター当初に必ず担当教員に申し出て指示を受けなければなりません。この際の履修登録は、次学期・クォーターの開講科目ではないので必要ありません。（卒業論文も含まれます）
- ・成績通知前に教員に合否を尋ねてはいけません。また、集中講義等を含め、学期途中の単位認定は行いません。
- ・成績通知表には学期・クォーターごとと通算のGPA値（履修科目のグレード・ポイント＝GPの平均＝アベレージ）が掲載されます。各評語ごとのGPは次のとおり。

S = 4点 A = 3点 B = 2点 C = 1点

不可・放棄・保留 = 0点 合・認定・否は対象外

*放棄は成績通知表上だけのことで、成績原簿やGPAなどでは不可と同じ扱いです。したがって放棄の評語は、授業に最後までついていかなかったことを確認するためのものであり、学生にとって有利になる評価ではありませんので、注意してください。

- ・GPAを算出する基準は、次のとおりです。

放棄した科目もカウントされますので、履修登録はよく検討して行ってください。

$$GPA = \frac{\text{（授業科目で得たGP} \times \text{その授業科目の単位数）の総和}}{\text{（履修登録した授業科目の単位数の総和）}}$$

また、GPAの対象外となるのは、次の授業科目です。

共通教育科目のうちの「全学共通科目」「いしかわシティカレッジの他大学提供科目」「放送大学の授業科目」「入学前の既修得単位を認定した授業科目」「外部試験によって単位認定した授業科目」及び「海外異文化体験学習」

専門教育科目では「入学前の既修得単位を認定した授業科目」「派遣留学によって単位認定した授業科目」「外部試験によって単位認定した授業科目」「異文化体験実習Ⅰ・Ⅱ」「教職科目」「卒

業論文」。

- ・ 掲示された評価結果について疑義がある場合は、成績通知日より一定の期間以内で疑義の申し立てができます。疑義申し立ての期間や申し立て方法については、成績通知前に別途掲示等で連絡します。

7. アドバイス教員について

アドバイス教員は、皆さんが学生生活をスムーズに送る応援の役割をします。学習計画や海外研修・留学、進路などを含む学業面や生活面での分からないことを聞いたり、相談したりしてみてください。適切な情報をくれたり、助言をしてくれたり、場合によっては必要な相談先を紹介してくれたりします。

国際学類では、1年次はアカデミックスキル、プレゼン・ディベート論の担当教員、2年次は割り当てられた学生研究室の担当教員がアドバイス教員になります。3年次以降は、主専攻プログラムの教員がアドバイス教員になります。

8. 研究演習について

国際学類のすべてのプログラムに3年次以降、研究演習A、研究演習Bが設けられています。研究演習A、研究演習Bの順に履修してください。通年での修得が望ましいのですが、留学などの特別な事情がある場合、研究演習Aと研究演習Bを2単位ずつ取ることが認められています。研究演習のあり方などはプログラムによって異なりますので、プログラムの説明会などでよく確認してください。

9. 卒業論文について

国際学類の必修科目として「卒業論文」があります。詳細については、以下の申し合わせによります。

国際学類卒業論文に関する申し合わせ

1. 審査制度とスケジュール

(1) 主査

4月の卒論ゼミ（研究演習）履修登録時に決定

(2) 副査

プログラム内外の専任及び準専任教員等から1名以上選出

(3) 題目届と外部検定試験のスコア

10月上旬、人社系教務・学生支援担当に提出

(4) 提出

1月11日（当日が土曜、日曜、祝日の場合は休日明けの）午後5時までにLMS（Webクラス）の所定の提出先にPDFファイルをアップロードする。9月末卒業予定者については、7月21日（当日が土曜、日曜、祝日の場合は休日明けの日）の午後5時までに同様にLMS経由でPDFファイルを提出する。

なお、研究室によってはLMS経由での提出に加え、査読用に印刷した原稿（副本）の提出が求められることがある。提出方法や提出先については、指導教員の指示に従うこと。

(5) 口頭試問

実施方法については、プログラム別に定める。

2. 提出要件

卒業論文を提出するには、所定の外部検定試験を受験のうえ所定の成績を修め、そのスコアを提出しなければならない(※)。

TOEIC700点相当を卒業要件とする。

(1) スコア提出方法

原則として10月上旬に題目届とあわせて人社系教務・学生支援担当に提出する。

(2) 対象外部検定試験・成績

TOEIC (Listening & Reading Test) 700以上, TOEIC (Listening & Reading IP Test) 700以上,
TOEFL-iBT 70以上, TOEFL-ITP 523以上, IELTS 5.5以上

(3) 受験時期

2年生以上

(4) 受験免除者

- ・ TOEFL iBT 80以上, TOEFL ITP 550以上, IELTS 6.0以上, TOEIC 760以上のスコアを有する者
(題目届提出時に証明するスコアを提出すること。)
- ・ 大学が定める英語圏を国籍とする者

3. 書式

(1) 共通の原則

用紙 A4用紙

表紙 論文題目・学籍番号・氏名・指導教員名を明記

内容 表紙・目次・本文・注釈・参考文献一覧を含む

なお、日本語論文以外の場合、A4用紙2枚程度の日本語概要を付すこと

(2) 使用言語別の原則

・日本語論文の場合

字数 本文20,000字以上 (図・表, 参考文献一覧, 注釈などを含まず)

書式 原則として横書き, 10.5ポイント, 横40字×縦30行で印刷

・英語論文の場合

分量 本文①25枚以上 ②6000ワード以上 のいずれか

(図・表, 参考文献一覧, 注釈などを含まず)

書式 12ポイント・80×24ストローク (ダブル・スペース) を原則とする

・諸外国語論文の場合

主査と学生の協議により, その他の言語で論文を書くことができる。

その場合の分量・書式の要件については, 上記日本語・英語論文の要件を参考に,
別途定めることとする。

3. 論文内容に関する原則

(1) 共通の評価基準

1. 研究テーマを論じるのに必要な最低限の資料・文献を収集・利用しているか。
2. 資料の分析法や論理展開は妥当か。
3. 文章力があるか (議論・意見の展開力, 文法・語彙・表記, 表現力)。
4. 必要な注を, しかるべき仕方で付しているか。

(2) 内容の要件

このほか、プログラム別に論文内容について要件を定めることができる。

(ヨーロッパ圏研究プログラム:最低限英語論文一本ないし自身の研究対象地域の言語で記述された資料一本を使用する)

※英語の外部検定試験受験義務化について

社会のグローバル化が急速に進むなか、本学では、さまざまな場でグローバルに活躍できる高度人材育成のため、「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」をテーマに各種取組を進めています。そうした取組の一つとして、本学では英語の外部検定試験受験を義務化しており、人間社会学域学生は、最低2回の受験が必要となります。

1回目の受験…1年次にGS言語科目「Practical English」においてTOEICテストに必要な英語能力向上をはかり、大学が実施するTOEIC-IPテストを第4クォーターに受験。

2回目の受験…専門教育科目「学域GS言語科目」において人間社会学域に共通する基礎的な英語の学習等を学び、その成果の確認も含め、再度英語の外部検定試験を受験。

国際学類では卒業論文の提出要件となります。

一般心得について

1. 国際学類図書室について

国際学類の図書室は、人間社会 5 号館 4 階 3402 号室に設置されています。ただし、ここは、主に教員が教育で使用する図書を配置していますので、学生に自由には開放されていません。本室の図書を閲覧したい時は、最寄りの国際学類教員に鍵を開けてもらい、その許可を得て閲覧してください。

本室の図書の借用は、原則として中央図書館を通してもらうことになっていますが、本学類の学生に限り、国際学類教員の立ち会いのもとで、「貸出帳簿」に必要事項を記入することで貸し出します。期限は1週間です。また、コピーなどで一時的に借用したい場合は、国際学類教員立ち会いのもと、「一時貸出簿」に必要事項を記入することで貸し出します。

2. 学生研究室について

国際学類生のための学生研究室が、下記の部屋に設置されています。

第1 学生研究室・・・・・・・・・・人間社会 4 号館 4223・4224 号室

第2 学生研究室・・・・・・・・・・人間社会 4 号館 4306 号室

第3 学生研究室・・・・・・・・・・人間社会 5 号館 3106・3107 号室

第4 学生研究室・・・・・・・・・・人間社会 5 号館 3119 号室

第5 学生研究室・・・・・・・・・・人間社会 5 号館 3409・3410 号室

各研究室には、会議・書見用のテーブル、椅子、辞書などの参考図書や授業に関連する図書、パソコン、プリンターなどが設置され、プログラム所属の学生の予習・復習などに使用できるようになっています。また、授業・ゼミ等で使用する資料の印刷のために各プログラムにコピーカードが配付されています。学生研究室の使用の詳細は、2 年生への進学時に説明します。

3. 姓名等の変更・異動の届け出について

本人又は父母等の姓名・住所・電話番号等が変更・異動した場合は、速やかに人社系学生課教務・学生支援担当に届け出てください。

4. 休学・退学について

経済的な理由等により、休学や退学をする場合は、必ず、アドバイザー教員と十分相談した上、人社系学生課で届出用紙を受け取ってください。

休学は1か月以上で学期・クォーターの終わり又は学年の終わりまでとなっています。なお、各学期・クォーターの開始前月までに届出がない場合は、次学期・クォーターの授業料は徴収されます。

また、当該学期・クォーターの授業料を納入しない場合は、退学届は受理されません。

休学期間が過ぎると手続き等はなく復学しますが、復学届を提出することで休学期間内であっても復学することができます。復学の時期はクォーター始めとします。

5. 事故等について

(1) 学内の緊急連絡先

a) 平日昼間：人社系学生課教務・学生支援担当（電話番号 076-264-5556）

b) 夜間・休日等（事務職員が不在のとき。）

角間キャンパス中央監視室（電話番号 076-264-6295）

（110番、119番通報が必要な緊急時は学生が直接連絡しても構いません。ただし、その後で上記の中央監視室へ連絡してください。）

(2) 危険・故障箇所，照明切れ，不審者等の報告のお願い

キャンパス内の危険・故障箇所，照明切れ，不審者に気づいたら，すぐに最寄りの事務室に知らせてください。（緊急で事務職員不在の時は，上記の中央監視室へ連絡を）

(3) 事故等の報告について

大学の内・外を問わず，万一交通事故等に遭った場合・事故を起した場合は，人社系学生課教務・学生支援担当に届け出てください。

(4) 救急箱の設置場所

救急箱は保健管理センター（本部棟，自然科学本館，医学類F棟），基幹教育学務係，中央図書館サービスカウンター，大学会館にあります。（基幹教育学務係，中央図書館サービスカウンター，大学会館事務室には簡単な外傷処理用品のみ配置）

6. 非常時における授業・試験等の取扱いについて

暴風警報，大雨警報，大雪警報等及び各種特別警報の発令や地震等の自然災害等による公共交通機関の運休並びに学内事故等で，授業及び試験の実施が困難となった場合の取扱いに関しては，別に定められています。「非常時等における緊急登学停止措置に関する要項（抄）」（83ページ）を参照してください。

7. 学生に対する公示について

学類が行う学生に対する通知は，人間社会第2講義棟1階学生課前の掲示板に公示するので，常時注意してください。（主に1年生向けの通知は総合教育講義棟内の基幹教育学務係近くの国際学類用掲示板にも公示されます。また，アカンサスポータルにも掲載されません。）

8. 学生団体の結成届出について

学生が学域・学類内で団体を結成する場合は，所定の様式により人社系学生課教務・学生支援担当を経て学域長・学類長に届けなければなりません。

なお、一度結成された団体でも、毎年度の始めにあらためて届出をする必要があります。

9. 就職について

本部棟2階に就職支援室が設置されています。企業等の求人や公務員・教員等の募集状況がわかるだけでなく、各種就職関係資料も揃っていますし、専門職員が様々な相談にも応じています。気軽に随時利用してください。また、インターンシップなども就職支援室で扱っていますので、就職活動期以前から気軽に立ち寄ってみてください。なお、就職支援室のWebサイトには多くの情報がありますので、ぜひアクセスしてください。

学類では、キャリア形成支援委員会が就職に関する支援を担当します。就職に関する相談には、キャリア形成支援委員が応じています。

学類としての就職支援は、およそ次の手順で行われます。

- (1) 就職希望者に対する各種説明会の実施
- (2) 就職希望調査の提出
- (3) 企業の求人内容及び公務員、教員の募集内容の掲示

(企業などとの接触や面接、公務員試験・教員採用試験などへの応募は各自で行ってください。)

就職活動をしている学生は、絶えずアドバイス教員と連絡を取るよう心掛けてください。

卒業後の進路が確定した時は、直ちにアドバイス教員に報告し、アカンサスポータルから進路報告をしてください。

10. 駐車・駐輪について

自動車による通学は、駐車許可証を申請し許可された者に限られます。申請者は、必ず研修に参加ください。

駐車許可証を交付された者は、必ず学生用駐車場内の所定の駐車ラインに従って駐車してください(通路部分は駐車禁止)。サービスヤード(人間社会2号館周囲、大学会館横、体育館前)、総合教育棟周辺、北福利施設周囲等には駐車してはいけません。なお、悪質な駐車違反は懲戒の対象となりますので十分に注意してください。

サービスヤード、周回道路、駐車場における違反駐車車両は、警告ポールを取り付け、一定期間は解錠しません。

アカデミックゾーン内(キャンパス周回道路の内側)への違反侵入・駐車車両(バイク・自転車を含む)は、発見次第、警告ポールを取り付け、一定期間解錠しません。

11. 禁煙について

角間キャンパスは、灰皿の設置場所以外、敷地内はすべて禁煙です。

なお、大学としては、自身の健康や他人への健康被害などからも、禁煙をお勧めします。

12. ゴミの分別収集について

金沢大学では、持続可能な社会の実現を目指す環境対策の一環として、ゴミの分別収集に努めています。各建物内のゴミ箱に貼られた表示にしたがって、ゴミを分別して捨ててください。

生協の弁当ゴミは生協で独自に回収していますので、それを利用してください。

日常生活でも分別方法や回収日を守って、ゴミは正しく捨ててください。特に違法投棄をした場合には、高額の罰金が科されるだけでなく、大学からも処分を受けることがありますので、よく心してください。

13. 『金沢大学学生便覧』『きいつけまっし』参照事項

次の項目については、「金沢大学学生便覧」を参照してください。

- 学生証の取り扱い
- 諸証明の発行
- 授業料の納入
- 授業料免除
- 奨学制度
- 学生寮
- 健康管理，定期健康診断
- アルバイト
- 留学希望
- インターネットおよび電子メール（学内コンピューター情報ネットワーク）の利用法
- 能美学舎の利用

なお、トラブルを予防し、充実した学生生活を送るためのアドバイス・留意点については、『きいつけまっし：安全で快適な学生生活のために』を参照してください。

第 1 章 総則

(趣旨)

第 1 条 この規程は、金沢大学人間社会学域(以下「本学域」という。)における教育課程、履修方法、試験、卒業等に関し、金沢大学学則(以下「学則」という。), 金沢大学履修規程(以下「履修規程」という。)及び金沢大学共通教育科目に関する規程(以下「共通教育科目規程」という。)に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(学類等)

第 2 条 本学域に次の学類並びにコース、プログラム及び課程を置く。なお, 学校教育学類 共同教員養成課程は, 金沢大学(以下「本学」という。)及び富山大学教育学部 共同教員養成課程による共同教育課程とする。

学類	コース・プログラム・課程	
人文学類	心理学プログラム	
	現代社会・人間学プログラム	
	考古学・文化資源学プログラム	
	歴史学プログラム	
	日本・中国言語文化学プログラム	
	欧米言語文化学プログラム	
	言語科学プログラム	
法学類	公共法政策コース	
	企業関係法コース	
	総合法学コース	
経済学類	エコノミクスコース	
	グローバル・マネジメントコース	
学校教育学類	共同教員養成課程	
地域創造学類	人と自然の共生プログラム	公共政策プログラム
		地域マネジメントプログラム
	地域協働プログラム	公共政策プログラム
		地域マネジメントプログラム
	共生社会プログラム	公共政策プログラム
		地域マネジメントプログラム
国際学類	国際関係・国際協力系	国際政治プログラム
		国際政治 E プログラム
		国際経済プログラム
		国際経済 E プログラム

	地域研究系	英語圏研究プログラム
		英語圏研究Eプログラム
		ヨーロッパ圏研究プログラム
		アジア・日本研究プログラム
	インクルーシブ社会構築系	グローバル DEI (Diversity, Equity & Inclusion) プログラム
		日本語教育プログラム

※人文学類, 地域創造学類及び国際学類に所属する学生は, プログラムに所属しない。コース制は採用せず, プログラムを選択して履修する。

(附属施設)

第3条 学則第5条の2第4項により学校教育学類に置かれる, 附属教育研究施設に関する事項は, 学校教育学類において別に定める。

(教育研究上の目的)

第4条 本学域においては, 人間及び人間社会に関する普遍的真理の探求とともに, 激変する複雑な社会状況の下で, 人間及び人間社会が直面する諸問題の解決に貢献寄与するための教育を行い, 社会に貢献しうる自発的な課題探求能力や解決能力を持ち, かつ多文化共生時代にふさわしい理解力と判断力を持った個性的な人材を養成することを目的とする。

2 学類における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的は, 別表第1のとおりとする。

第2章 履修方法等

(所属コース及びプログラムの決定)

第5条 学生は, その所属する学類において別に定めるところにより, 志望するコース, プログラムを選択し, 学類長に届出なければならない。

2 前項の志望者数が, コース, プログラムごとに学類において定める受入れ上限数(人文学類, 地域創造学類及び国際学類にあっては適正上限数)を超過したときは, 選考によりコース, プログラムを決定することがある。

(授業科目及び単位数等)

第6条 学生は, 別表第2, 別表第3-1, 別表第3-2及び別表第4により, 必要な単位を修得しなければならない。ただし, 学則第46条第1項の第3号から第7号までの規定により編入学を許可された学生の卒業に必要な事項は学類において別に定める。

2 本学域が提供する授業科目, 単位数及び開講時期は, 別表第3-1, 別表第3-2のとおりとする

3 本学域の各学類が提供する授業科目及び単位数は, 別表第4のとおりとする。

4 前項の授業科目の開講時期は, 各学類で別に定める。

5 共通教育科目の授業科目及び単位数は, 共通教育科目規程の定めるところによる。

(短期留学プログラム)

第6条の2 本学域に短期留学プログラムを置く。短期留学プログラムに関する授業科目及び単位数は、別表第4及び共通教育科目規程のほか、別に定める。

2 前項に定めるプログラムを履修することができる学生は、別に選考する。

3 第1項に定めるプログラムを履修する学生は、1学期に1科目以上専門科目を履修しなければならない。

4 第1項に定めるプログラムに関する必要な事項は、別に定める。

(公認心理師養成プログラム)

第6条の3 本学域に公認心理師養成プログラムを置く。公認心理師養成プログラムに関する授業科目及び単位数は、別表第10-1のとおりとする。

2 前項に定めるプログラムを履修することができる学生は、別表第10-2に規定する修得すべき単位数を修得した学生とする。ただし、特別な事情があると判断した場合は、履修を許可することができる。なお、履修希望者数が別に定める上限数を超過したときは、選考により履修者を決定する。

3 第1項に定めるプログラムに関する必要な事項は、別に定める。

第7条 前条で定めた、授業科目の単位修得に関する要件及び履修方法は、各学類で別に定める。

(履修の上限)

第8条 履修規程第9条の規定に基づく各学期又は各クォーターに履修科目として登録できる科目の上限単位数(以下「履修登録単位数の上限」という。)は、共通教育科目、他学域履修科目及び本学域履修科目を含め、別表第5のとおりとする。

2 履修登録単位数の上限の対象としない授業科目は、共通教育科目規程第5条第2項で定める授業科目の他、集中講義により開講する科目、異文化体験実習、インターンシップ、法律実務インターンシップ、教育実習、判例研究、演習(法学類及び経済学類)、卒業論文、卒業研究及び別表第7から別表第9で定める授業科目(学校教育学類を除く)とする。

3 複数クォーター継続して開講する授業科目の各クォーターにおける履修上限に算入する単位数は、開講する通算のクォーターにより按分するものとする。

4 履修登録単位数の上限を解除できる条件は、各学類で別に定める。

(他学域における授業科目の履修等)

第9条 学生は、本学域長の許可を得て、他学域の授業科目を履修することができる。

(他学域における履修単位の認定)

第10条 前条の規定により履修した単位及び本学域の他学類で履修した単位の認定方法等は、各学類で別に定める。

(他学域学生の授業科目の履修等)

第11条 他学域の学生は、当該学域長を経由して本学域長の許可を受けた上、本学域の授業科目を履修又は聴講することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)

第12条 学生は、学域長の許可を得て、他の大学又は短期大学の授業科目を履修することができる。ただし、いしかわシティカレッジ事業に参加する他大学の授業科目及び放送大学の授業科目については、国際基幹教育院の定めによるところによる。

2 前項の規定により履修した授業科目の修得単位は、教育研究会議の議を経て、本学域の単位として認定することができる。

3 前項の規定は、学生が外国の大学又は外国の短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第13条 本学域が教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(本学域に入学する前に行った学修を含む)を、所定の手続きにより本学域における授業科目の履修とみなし、教育研究会議の議を経て単位を認定することができる。

(休学期間中の他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学における学修)

第13条の2 本学域が教育上有益と認めるときは、学生が休学期間中に他の大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。)又は外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学域における授業科目の履修により修得したものとみなし、教育研究会議の議を経て単位を認定することができる。

(入学前の既修得単位等の認定)

第14条 本学域が教育上有益と認めるときは、本学域に入学する前に大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。)又は外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学域に入学した後の本学域における授業科目の履修により修得したものとみなし、教育研究会議の議を経て単位を認定することができる。

(他の大学等での学修による単位の認定)

第15条 前4条の規定により認定することができる単位数は、金沢大学国際基幹教育院総合教育部規程第4条から第7条までの規定により国際基幹教育院において認定される共通教育科目の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。ただし、再入学、転入学及び編入学をした学生の入学前の既修得単位については、各学類で別に定める。

2 前4条の規定により単位を認定した場合は、単位互換協定書等により定めがある場合を除き、成績評価を「認定」の評語をもって表す。

第3章 試験及び成績評価

(試験)

第16条 試験は、各授業科目について、その授業の終わった試験期間に行う。ただし、必要があるときは、その時期を変えることがある。

2 授業科目の性質により、前項の試験のほか、平常の成績その他の各学類で定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えるものとする。

3 履修規程第11条第2号により、学域において定めることとされている出席すべき授業回数は、各学類で別に定める。

(追試験)

第17条 病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者については、願い出により試験を行うことがある。

第18条 前2条に定める他、授業科目の試験に関し必要な事項は、各学類で別に定める。

(保留の成績評価)

第19条 履修規程第14条第4項の規定による「保留」の成績評価は、学修未達成の者で、特定の課題提出等により学修達成度60%以上に達する見込みのある場合に行うことができる。

(綜合成績評価)

第20条 本学域で履修規程第15条に規定するGPA値を利用する事項については、各学類で別に定める。

2 履修規程第15条第6項に規定する再履修の取り扱いについては、各学類で別に定める。

3 履修規程第15条第7項第3号に規定するGPA対象外科目は、S・A・B・C以外で判定する授業科目のほか、別表第7から別表第9で定める授業科目(学校教育学類を除く)及び各学類で別に定める授業科目とする。

第4章 卒業・学位

(卒業)

第21条 本学域に学則第38条に定める修業年限以上在学し、別表第2に定める卒業に必要な単位を修得し、かつ別に定める英語能力の基準を満たす学生には、教育研究会議の議を経て卒業を認定する。

2 前項の規定にかかわらず、学類は、学則第60条に定める早期卒業に関して必要な事項を定めることができる。

(学位)

第22条 本学域を卒業した者には、学則第61条の規定により学士の学位を授与する。

2 前項の学位に付記する専攻分野の名称は、金沢大学学位規程の定めるところによる。

第5章 再入学、転入学及び編入学

(再入学)

第23条 学則第46条第1項第1号に規定する者が、本学域へ再入学を志願するときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 再入学の出願資格及び選考方法等については、必要に応じて各学類で別に定める。

(転入学)

第24条 学則第46条第1項第2号に規定する者が、本学域へ転入学を志願するときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 転入学の出願資格及び選考方法等については、必要に応じて各学類で別に定める。

(編入学)

第25条 学則第46条第1項の第3号から第7号までに規定する者が、本学域へ編入学を志願するときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 編入学の出願手続、選考方法等については、必要に応じて各学類で別に定める。

3 編入学の時期は、原則として第3学年の始めとする。

第6章 転学類、転コース及び転プログラム

(転学類)

第26条 転学類(他学域に所属する学生が、本学域の各学類に転学類する場合を含む)を志願する者があるときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 転学類の出願資格及び選考方法等については、各学類で別に定める。

3 転学類の時期は、原則として第2学年の始めとする。

4 転学類をした学生については、当該転学類先の年次の学生に適用する本規程その他関係規定を適用する。

(転コース及び転プログラム)

第27条 転コース又は人文学類、地域創造学類及び国際学類にあつては転プログラムを志願する者があるときは、学類長に願い出て、許可を得なければならない。

2 転コースの選考方法等については、各学類で別に定める。

第7章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生

(選考方法等)

第28条 本学域の研究生又は科目等履修生として入学を志願する者があるときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可することがある。

2 本学域の特別聴講学生として入学を希望する者があるときは、教育研究会議の議を経て許可する。

(入学時期)

第29条 研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の入学時期は、月の始めとする。ただし、特別な事情があると判断される場合は、この限りではない。

(入学資格)

第30条 研究生として入学することのできる者は、大学を卒業した者又は教育研究会議においてこれと同等以上の学力があると認めた者とする。

2 科目等履修生として入学することのできる者は、教育研究会議が適当と認めた者とする。

(入学志願手続)

第31条 研究生又は科目等履修生として入学を志願する者は、入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて、所定の期日までに、学域長に願い出なければならない。

(研究期間)

第32条 研究生の研究期間及び科目等履修生の履修期間は、入学を許可された年度内とする。ただし、引き続き研究又は履修を願い出た者は、学域長の許可を得てその期間を延長することができる。

(研究生の指導教員等)

第33条 研究生には、その研究題目に応じて指導教員を定める。

2 研究生は、指導教員の指導を受けるほか、指導教員及び授業科目担当教員の承認を得て、当該研究に関連のある授業科目を聴講することができる。

(費用負担)

第34条 研究生には、研究に要する費用の一部を負担させることがある。

第35条 この規程に定めるもののほか、研究生、科目等履修生、特別聴講学生に関し必要な事項については別に定める。

第8章 教育職員免許

(所要資格の取得)

第36条 教育職員の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

(免許状の種類)

第37条 本学域において取得できる教育職員の免許状の種類は、別表第6のとおりとする。

(教科(領域)に関する専門的事項)

第38条 本学域における「教科(領域)に関する専門的事項」の履修方法は、各学類で別に定める。

(教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科(保育内容)の指導法)

第39条 「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」をあわせて「教育の基礎的理解に関する科目等」と呼称

し、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科（保育内容）の指導法」は、別表第7のとおりとする。その履修方法は、各学類で別に定める。

（大学が独自に設定する科目）

第40条 「大学が独自に設定する科目」は、別表第8のとおりとする。その履修方法は、学校教育学類共同教員養成課程で別に定める。

（特別支援教育に関する科目）

第41条 特別支援教育に関する科目は、別表第9のとおりとする。その履修方法は、学校教育学類共同教員養成課程で別に定める。

第9章 副専攻

（副専攻）

第42条 副専攻に関し必要な事項については別に定める。

附 則 (略)

附 則

1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

2 令和2年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第4の法学類（学類番号02）における「海外法学特別研究」及び「海外政治学特別研究」については、令和2年3月31日に在学する者についても適用し、改正後の別表第4の地域創造学類（学類番号05）における地域プランニングコース「交通計画」については、平成30年度入学者から適用する。

附 則

1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

2 令和3年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

ただし、改正後の別表第4の国際学類（学類番号06）における「比較教育学1E」及び「比較教育学2E」については平成30年度入学生から、改正後の別表第7、別表第9及び別表第10-2については令和元年度入学生から適用する。

附 則

1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

2 令和4年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第3-1（第6条関係）における「学域GS俯瞰発展系科目群」の科目については、令和3年度入学者から適用する。

附 則

1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

2 令和5年3月31日に在学する者については、第16条第2項及び第21条第1項の改正規定を除き、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第4の国際学類（学類番号06）における「グローバル・ガバナンス論E」、「マイノリティとメディア文化論1E」、「マイノリティとメディア文化論2E」及び言語系専門科目群のうちロシア語コミュニケーション科目群の改正規定並びに改正後の別表第7については、令和4年度入学者から適用する。

附 則

1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。

2 令和6年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

別表第1(第4条関係)

学類	目的
人文学類	少人数による学生参加型の授業科目を学修の中心に置き、文献読解、実験、調査、フィールドワークなどを通して自発的に課題を発見し、その解決方法を身につけ、広範な人間の行動・思考・創造及びその蓄積としての思想・歴史・文化・言語等を深く理解した、総合的・学際的視野を持つ人材を養成することを目的とする。
法学類	現実の社会に潜む法的・政策的課題に対応できる能力を育成するためのカリキュラムを設定し、少人数教育の導入によって、多様な形での討論を通して法律学、政治学に関する専門的な知識を修得するため、現代社会の規範とその適用及び公共的課題への取組みに関する総合的な判断力を身につける教育を行い、現代社会に対して幅広い関心を持ち、よりよい社会実現のために法的思考によって問題の解決策を導き出し、自発的かつ意欲的に課題発見に挑み、その探求と解決に必要な能力を備えた人材を養成することを目的とする。
経済学類	高度な情報処理能力、調査研究能力及び政策分析・立案能力を身につけるため、少人数でのゼミナール、フィールドワーク及びケース・スタディを重視した実践的な教育を行い、現代社会において各地域で起きている様々な問題を、経済理論と経済政策、経営学・情報科学及び世界各地の経済と社会の比較考察という3つの側面から捉え、現代の様々な問題に的確かつ迅速に対処することができる専門的知識を持った人材を養成することを目的とする。
養成課程 類 学校 共同 教員 教育 学	富山大学との共同教育課程によって、グローバルな視野に立って考えながらも、地域に根差した豊かな人間性と社会性、教育への情熱と使命感を持ち、教科や教職に関する専門知識と技能を身に付け、新たな教育的課題に適切に対応できる義務教育段階の諸学校の実践力のある教師を組織的及び計画的に養成することを目的とする。
地域創造学類	総合性と専門性を並行して修得できる教育カリキュラムの中に少人数の演習・実習・インターンシップなどを取り入れ、問題解決のための実践的なスキルの向上を目指す。地域創造学類で学ぶ4年間を通じて、地域の自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係などを専門的に分析把握し、自治を活かした地域固有のスタイルで、住民の健康・福祉・環境・産業・文化を発展させるとともに、新たな価値創出によって地域を再生し活性化するため、質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を持った人材を養成することを目的とする。
国際学類	国際社会と日本社会に関する基礎知識を修得し、諸地域の実態を踏まえた国際関係のマクロ的理解及び個々の地域に関する実践的知識を修得する専門教育を展開する。仕事で使える英語と日本語教育のための日本語を含む各地域の言語の高いレベルでの修得を目指す教育を行い、21世紀のグローバル化が進んだ社会の本質を理解し、異文化を持つ他者とのしなやかな共生を可能とする人材を養成することを目的とする。

別表第2(第6条関係)

単位修得要件

学類	共通教育科目	専門教育科目※2				合計
		学域GS科目※1	学域GS言語科目	専門基礎科目	専門科目※2	
人文学類	36単位以上	8単位	2単位	人文学基礎科目14単位以上	64単位以上	124単位以上
法学類	36単位以上	8単位	2単位	4単位以上	78単位以上	128単位以上
経済学類	36単位以上	8単位	2単位	4単位以上	76単位以上	126単位以上
学校教育学類 共同教員養成課程	28単位以上	8単位	2単位	82単位以上	24単位以上	144単位以上
地域創造学類	36単位以上	8単位	2単位	8単位以上	70単位以上	124単位以上
国際学類	36単位以上	8単位	2単位	4単位以上	74単位以上	124単位以上

※1 学域GS科目はデータサイエンス応用科目を2単位以上修得すること

※2 専門教育科目に含まれる卒業に必要な単位の内訳は各学類細則で定める

別表第3-1(第6条関係)
学域GS科目単位配当表

科目区分	科目番号	科目名	学 年	開講時期				単 位 数	備 考 (履修制限等)		
				前期		後期					
				Q 1	Q 2	Q 3	Q 4				
初学 者科	10301	アカデミックスキル	1	○	○	○		1	重複履修不可		
	10302	プレゼン・ディベート論	1		○	○	○	1	重複履修不可		
	10016	ジェンダーと教育	1~4 1~4			○		1 1	重複履修不可		
学域 附 属 科 目	10019	異文化理解1	1~4			○		1	国際学類生は学域GS科目として履修不可		
	10020	異文化理解2	1~4				○	1			
	10090	国際学入門E	1~4			○		1			
	10091	日本文化E	1~4				○	1			
	10021	文学概論1	1~4			○		1			
	10022	文学概論2	1~4				○	1			
	10023	世界遺産学	1~4				○	1			
	10059	ルールリテラシー	1~4			○		1			
	10060	人文社会科学における法	1~4				○	1			
	10026	イメージの比較文化学	1~4			○		1			
	10058	防災学入門	1~4	○				2	集中講義		
	10083	マクロ経済学I	2~4	○				2	経済学類生は学域GS科目として履修不可。 国際学類生は「日本経済論」を学域GS科目として履修不可。		
	10084	ミクロ経済学I	1~4				○	2			
	10087	経営学概論	1~4			○		2			
	10088	経済史	2~4	○				2			
	10082	基礎統計学	1~4				○	2			
	10085	経済学史	2~4			○		2			
	10086	日本経済論	1~4				○	2			
	10089	経済事情(日本の財政金融と北陸経済)	2~4	○	○			2			
	10093	金沢大学の歴史を学ぶ(自校教育入門)	1~4 1~4	○		○			1 1	重複履修不可	
		10094	泉鏡花と金沢アート(STEAM教育入門)	1~4				○	1		
	100aa	質的統合法(KJ法)基礎を学ぶ	1~4				○	1	重複履修不可		
	10096	イノベーション人材論	1~4	○							
			1~4		○						
			1~4			○		1			
	10092	アジア研究基礎	2~4				○	1			
	10027	現代日本の文化と社会	2~4	○				1			
10028	地域創造学1	2~4	○				1	地域創造学類生は学域GS科目として履修不可			
10029	地域創造学2	2~4		○			1				
95050	教育の制度と経営	3~4	○				2	学校教育学類以外			
95270	生徒の生活と進路の指導論	3~4			○		2	学校教育学類以外			
12BAB00	教育の思想と歴史(日本)	1~4				○	1	学校教育学類共同教員養成課程生は必修科目(学校教育学類共同教員養成課程生のみ履修可)			
12BCB00	教育制度概論(就学保障と学校安全)	2~4		○			1				
12BGB00	道徳教育論(指導法)	3~4		○			1				
12BNA00	子どもの生活とキャリア教育	2~4				○	1				
100ab	ベーシック法学	—					2				
学域GS附属発展系科目群(※1参照)は別に定める。											
GS科目発展系科目群(※2参照)は別に定める。											
専 門 教 育 科 目	学 域 G S 科 目	デ ー タ サイ エ ン ス 応 用 系 科 目	10070	データサイエンスの技術	1~4			○		1	国際学類生・経済学類生は履修不可
			10063	国際経済の理論とデータ	2~4	○				1	
			10064	国際貿易の理論とデータ	2~4	○				1	国際学類生・経済学類生は履修不可
			10065	データの活用に向けた線形代数学入門	2~4	○	○			2	令和3年度入学の学校教育学類生は履修不可。幾何学概論Iと幾何学概論IIとの同時履修は不可
			10066	情報処理	2~4				○	1	経済学類生は学域GS科目として履修不可
			10067	計量政治分析実習	3~4			○		2	法学類生は学域GS科目として履修不可
			10080	人文学のためのデータサイエンスA	1~4				○	1	
			10081	人文学のためのデータサイエンスB	1~4				○	1	
			10097	政治・行政の調査と分析A	1~4			○		1	
			10098	政治・行政の調査と分析B	1~4				○	1	
			1000a	学校教育データサイエンス応用A	3~4			○		1	
			1000b	学校教育データサイエンス応用B	3~4				○	1	
			1000C	地域情報分析概論I	1~4			○		1	
			1000D	地域情報分析概論II	1~4			○		1	
			1000E	機械学習による企業の競争優位性の創出	1~4				○	1	
			10068	統計学技能I	—					2	
			10069	統計学技能II	—					3	
学域データサイエンス系発展系科目群(※1参照)は別に定める。											
GS科目発展系科目群(※2参照)は別に定める。											

※1 当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、履修登録期間前に公示する。
 ※2 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目(GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。)を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、履修登録期間前に公示する
 ※3 学校教育学類以外の教員免許取得のための科目でもある「教育の制度と経営」及び「生徒の生活と進路の指導論」は本規程第8条第2項に従い、履修登録単位数の上限(CAP)の対象としない。

別表3-2(第6条関係)
学域GS言語科目単位配当表

科目区分	科目番号	科目名	学年	単位数	備考
専門教育 科目	10101	学域GS言語科目Ⅰ	2～4	1	海外研修等
	10102		1～4		
	10103	学域GS言語科目Ⅰ(日本語)		1	留学生対象
	10201	学域GS言語科目Ⅱ	2～4	1	海外研修等
	10202		1～4		
	10203	学域GS言語科目Ⅱ(日本語)		1	留学生対象
	10401	学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)	2～4	1	未来創成教育 環開講
	10402	学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)	2～4	1	
	10403	学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)	2～4	1	
	10404	学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)	2～4	1	
10405	学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)	2～4	1		

※ 開講時期及び履修方法等の詳細は各学類で別に定める。ただし、学域GS言語科目Ⅲの開講時期は未来創成教育環が別に定める。

※ 科目番号10102及び10202は、海外研修等による単位認定時のみ使用する。

※ 科目番号10103及び10203は、日本語学習が必要と認める外国人留学生のみ履修可能な科目である。

別表第4 専門基礎科目・専門科目単位配当表（人間社会学域番号 51）
国際学類（学類番号06）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
専門基礎科目	16202	国際学入門	1	2科目から1単位必修 4単位必修
	16402	国際学入門E	1	
	16214	日本文化	1	
	16414	日本文化E	1	
	16417	研究指導1a	0.5	
	16418	研究指導1b	0.5	
	16419	研究指導2a	0.5	
16420	研究指導2b	0.5	1単位必修	
国際関係・国際協力系共通科目群	16479	国際関係論 *1	2	国際政治・国際経済・グローバルDEIは*1と*2の2科目から2単位必修。国際政治E・国際経済Eは*2と*3の2科目から2単位必修。
	16269	国際関係論E *2	2	
	16209	国際協力論1	1	
	16409	国際協力論2	1	
	16068	国際政治経済論	2	
	16069	国際公共政策論	2	
	16271	国際機構論E *3	2	
	16480	比較教育学1E	1	
	16481	比較教育学2E	1	
	16482	比較教育学3E	1	
	16483	比較教育学4E	1	
	16484	国際私法A	2	
	16485	国際私法B	2	
	52020	国際社会論特論1	1	
	52520	国際社会論特論2	1	
	16062	国際学特論E	2	
	52533	憲法（統治）A	2	
	52534	憲法（統治）B	2	
	16049	国際コミュニケーション論	2	
	52529	国際法概論A	2	
	52530	国際法概論B	2	
	52541	グローバル・ガバナンス論	2	
	52537	グローバル・ガバナンス論E	2	
	52542	国際制度論	2	
	16257	国際政治史1	1	
	16457	国際政治史2	1	
	52026	国際政治史（東洋）1E	1	
	52526	国際政治史（東洋）2E	1	
	52338	国際政治史（西洋）1E	1	
	52838	国際政治史（西洋）2E	1	
	52538	平和構築論E	2	
	52539	外交入門1E	1	
	52540	外交入門2E	1	
	国際関係・国際協力系専門科目	16206	国際経済学1	
16406		国際経済学2	1	
16260		国際経済学1E	1	
16460		国際経済学2E	1	
16208		国際貿易論1	1	
16408		国際貿易論2	1	
16261		国際貿易論1E	1	
16461		国際貿易論2E	1	
16264		国際開発論1	1	
16464		国際開発論2	1	
16262		国際開発論1E	1	
16462		国際開発論2E	1	
51032		国際経済法	2	
51033		国際取引法A	2	
51034		国際取引法B	2	
51029		国際金融論	2	
51030		国際金融史	2	
51031		国際経営論	2	
51035		計量経済学	2	
51036		国際マーケティング論	2	
51037		グローバル経済史	2	
国際経済科目群	52029	文化人類学概論A	1	国際経済は8科目から2単位必修、国際経済Eは4科目から2単位必修
	52030	文化人類学概論B	1	
	52031	文化人類学講義	1	
	52027	比較文化論A1	1	
	52527	比較文化論A2	1	
	52028	比較文化論B1	1	
	52528	比較文化論B2	1	
	36318	地理学概論A	2	
	51010	世界地誌A	2	
	51011	世界地誌B	2	
	地域研究系専門科目	52029	文化人類学概論A	
52030		文化人類学概論B	1	
52031		文化人類学講義	1	
52027		比較文化論A1	1	
52527		比較文化論A2	1	
52028		比較文化論B1	1	
52528		比較文化論B2	1	
36318		地理学概論A	2	
51010		世界地誌A	2	
51011		世界地誌B	2	

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考				
専門教育科目	日本研究科目群	16212	日本の思想と宗教1	1	アジア・日本は2科目から1単位必修			
		16412	日本の思想と宗教2	1				
		16213	日本史概説1	1				
		16413	日本史概説2	1				
		16415	日本史概論1	1				
		16416	日本史概論2	1				
		16014	日本経済論	2				
		16265	日本民俗文化論1E	1				
		16465	日本民俗文化論2E	1				
		16067	日本の文学	2				
		16469	日本の古典文学1	1				
		16470	日本の古典文学2	1				
		16238	日本文化体験A	2				
		16239	日本文化体験B	2				
		16477	日本文化体験C	1				
		16478	日本文化体験D	1				
		16471	日本の近代文学1	1				
		16472	日本の近代文学2	1				
		16473	日本の現代文学1	1				
		16474	日本の現代文学2	1				
		52635	日本研究特論1	1				
		52636	日本研究特論2	1				
		16475	日本研究特論1E	1				
		16476	日本研究特論2E	1				
		52132	日本思想史1	1				
		52632	日本思想史2	1				
		52133	日本史特論1	1				
		52633	日本史特論2	1				
		地域研究系専門科目	アジア研究科目群	52201		東アジア史概説A1	1	アジア・日本は6科目から2単位必修
				52701		東アジア史概説A2	1	
	52202			東アジア史概説B1	1			
	52702			東アジア史概説B2	1			
	52241			現代中国論A1	1			
	52741			現代中国論A2	1			
	52242			現代中国論B1	1			
	52742			現代中国論B2	1			
	52243			現代中国論1E	1			
	52743			現代中国論2E	1			
	52206			アジア経済史A1	1			
	52706			アジア経済史A2	1			
	52207			アジア経済史B1	1			
	52707			アジア経済史B2	1			
	52210			東アジア国際交流史1	1			
	52710			東アジア国際交流史2	1			
	52211			東南アジア研究	1			
	52212			南アジア文化論	1			
	52249		南アジア地域論	1				
	52213		仏教文化論	1				
	52250		比較文化学概説A	1				
	52251		比較文化学概説B	1				
	52216		現代中国文化論1	1				
	52716		現代中国文化論2	1				
	52217		韓国・北朝鮮研究1	1				
	52717		韓国・北朝鮮研究2	1				
52244	中国の文化と社会1E		1					
52744	中国の文化と社会2E		1					
52220	アジア研究特論A1		1					
52720	アジア研究特論A2		1					
52221	アジア研究特論B1		1					
52721	アジア研究特論B2		1					
52268	アジア研究特論1E		1					
52768	アジア研究特論2E		1					
52245	東アジア社会と教育A1	1						
52745	東アジア社会と教育A2	1						
52246	東アジア社会と教育B1	1						
52746	東アジア社会と教育B2	1						
52269	東アジアの社会学と人類学A1	1						
52769	東アジアの社会学と人類学A2	1						
52270	東アジアの社会学と人類学B1	1						
52770	東アジアの社会学と人類学B2	1						
52054	人類学的異文化理解	1						

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考		
専門教育科目	英語圏研究科目群	52334	米英研究A1	1		
		52834	米英研究A2	1		
		52335	米英研究B1	1		
		52835	米英研究B2	1		
		52345	アメリカ地域文化論1E	1	英語圏・英語圏Eは2科目から1単位必修	
		52845	アメリカ地域文化論2E	1		
		52356	米英文化関係論1E	1	英語圏・英語圏Eは2科目から1単位必修	
		52856	米英文化関係論2E	1		
		52347	イギリス地域文化論1E	1	英語圏・英語圏Eは2科目から1単位必修	
		52847	イギリス地域文化論2E	1		
		51362	英語学概説1	1		
		51363	英語学概説2	1		
		51364	英語学概説1E	1		
		51365	英語学概説2E	1		
		52350	米英メディア文化論1E	1		
		52850	米英メディア文化論2E	1		
		52316	アメリカ経済論1E	1		
		52816	アメリカ経済論2E	1		
		51366	北米文化論1	1		
		51367	北米文化論2	1		
		52339	米英政治・外交論1	1		
		52839	米英政治・外交論2	1		
		52337	米英政治・外交論1E	1		
		52837	米英政治・外交論2E	1		
		52333	英文法教授法	1		
		52363	米英研究特論1	1		
		52364	米英研究特論2	1		
		52359	英語圏文化論1E	1		
		52859	英語圏文化論2E	1		
		52357	Business Communication	1		
	52358	Management Communication	1			
	地域研究系専門科目	ヨーロッパ圏研究科目群	53036	西洋近・現代史概説	2	
			52489	現代ヨーロッパ社会論	2	
			52405	ヨーロッパの宗教1	1	
			52905	ヨーロッパの宗教2	1	
			52410	美術史1E	1	
			52910	美術史2E	1	
			52411	美術史3E	1	
			52911	美術史4E	1	
			51477	ドイツ文学史A1	1	
			51478	ドイツ文学史A2	1	
			51479	ドイツ文学史B1	1	
			51480	ドイツ文学史B2	1	
			51481	フランス文学史A1	1	
			51482	フランス文学史A2	1	
51483			フランス文学史B1	1		
51484			フランス文学史B2	1		
52445			ヨーロッパ生活論1E	1		
52945			ヨーロッパ生活論2E	1		
52446			ヨーロッパ研究特論1	1		
52946			ヨーロッパ研究特論2	1		
52447			ヨーロッパ研究特論1E	1		
52947			ヨーロッパ研究特論2E	1		
52448			ヨーロッパ研究特論3E	1		
52948			ヨーロッパ研究特論4E	1		
53037			ヨーロッパ歴史特論A	2		
53038			ヨーロッパ歴史特論B	2		
52470			ヨーロッパ文化特論A1	1		
52970			ヨーロッパ文化特論A2	1		
52471			ヨーロッパ文化特論B1	1		
52971			ヨーロッパ文化特論B2	1		
52472			ヨーロッパ社会特論A1	1		
52972			ヨーロッパ社会特論A2	1		
52473			ヨーロッパ社会特論B1	1		
52973			ヨーロッパ社会特論B2	1		
52490			ヨーロッパ社会特論CE	2		
52491	アフリカ概説1	1				
52492	アフリカ概説2	1				
52481	ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義A	1				
52482	ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義B	1				
52483	ヨーロッパ・アフリカ史演習A	1				
52484	ヨーロッパ・アフリカ史演習B	1				
52485	ヨーロッパ・アフリカ史演習C	1				
52486	ヨーロッパ・アフリカ史演習D	1				
52487	ヨーロッパ・アフリカ史演習E	1				
52488	ヨーロッパ・アフリカ史演習F	1				
52493	アフリカ研究	1				

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
グローバルDEI専門科目群	16210	異文化理解1	1		
	16410	異文化理解2	1		
	52051	ジェンダーと社会A	1		
	52052	ジェンダーと社会B	1		
	52053	比較ジェンダー論E	2		
	52055	マイノリティとメディア文化論1E	1		
	52056	マイノリティとメディア文化論2E	1		
	52018	多文化主義論1E	1		
	52518	多文化主義論2E	1		
	52021	地球環境論1E	1		
	52521	地球環境論2E	1		
	52535	憲法(人権) A	2		
	52536	憲法(人権) B	2		
	52252	イスラーム社会と文化	1		
	インクルーシブ社会構築系専門科目群	16221	日本語教育学基礎1		1
16421		日本語教育学基礎2	1		
52117		日本語教育史1	1		
52617		日本語教育史2	1		
51141		日本語教育実習1 (大学留学生)	1		
51142		日本語教育実習2 (生活者)	1		
51143		日本語教育実習3 (児童・生徒)	1		
51144		日本語教育実習4 (日本語学校留学生)	1		
51134		海外日本語教育実習	2		
52107		日本語教科書研究1	1		
52607		日本語教科書研究2	1		
52108		日本語教授法A1	1		
52608		日本語教授法A2	1		
52112		日本語教授法B1	1		
52612		日本語教授法B2	1		
日本語教育科目群		52113	第二言語習得論1	1	
		52613	第二言語習得論2	1	
		52645	言語学概論A	1	
		52646	言語学概論B	1	
		52647	言語学概論C	1	
		52648	言語学概論D	1	
		52649	対照言語学1	1	
		52650	対照言語学2	1	
		52651	認知言語学1	1	
		52652	認知言語学2	1	
		52655	発達と学習の心理A	1	
		52656	発達と学習の心理B	1	
		52124	社会言語学1	1	
		52624	社会言語学2	1	
		51145	日本語教育評価法	1	
		16270	日本語学概論A	2	
		16468	日本語学概論B	2	
		52641	日本語史1	1	
52642	日本語史2	1			
52657	日本語文法1	1			
52658	日本語文法2	1			
52659	日本語教育とICT	1			
52643	日本語音声学1	1			
52644	日本語音声学2	1			
言語系専門科目群	52748	中国語コミュニケーション初級1	1	国際政治、国際経済、アジア・日本、グローバルDEIは、本科目群から8単位までプログラムの卒業要件単位に含むことができる	
	52749	中国語コミュニケーション初級2	1		
	52750	中国語コミュニケーション初級3	1		
	52751	中国語コミュニケーション初級4	1		
	52752	中国語コミュニケーション初級5	1		
	52753	中国語コミュニケーション初級6	1		
	52754	中国語コミュニケーション初級7	1		
	52755	中国語コミュニケーション初級8	1		
	52271	実践中国語1	1		
	52771	実践中国語2	1		
	52226	中国語表現法A1	1		
	52726	中国語表現法A2	1		
	52227	中国語表現法B1	1		
	52727	中国語表現法B2	1		
	52228	現代中国時事文A1	1		
	52728	現代中国時事文A2	1		
	52229	現代中国時事文B1	1		
	52729	現代中国時事文B2	1		

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考			
専門教育科目	朝鮮語コミュニケーション科目群	52756	朝鮮語コミュニケーション初級1	1	国際政治、国際経済、アジア・日本、グローバルDEIは、本科目群から8単位までプログラムの卒業要件単位に含むことができる		
		52757	朝鮮語コミュニケーション初級2	1			
		52758	朝鮮語コミュニケーション初級3	1			
		52759	朝鮮語コミュニケーション初級4	1			
		52760	朝鮮語コミュニケーション初級5	1			
		52761	朝鮮語コミュニケーション初級6	1			
		52762	朝鮮語コミュニケーション初級7	1			
		52763	朝鮮語コミュニケーション初級8	1			
		52764	朝鮮語コミュニケーション中級1	1			
		52765	朝鮮語コミュニケーション中級2	1			
		52766	朝鮮語コミュニケーション中級3	1			
		52767	朝鮮語コミュニケーション中級4	1			
		英語コミュニケーション科目群	52319	アカデミック・ライティングA1		1	国際政治E、国際経済E、英語圏、英語圏E、アジア・日本、グローバルDEIは、本科目群から8単位までプログラムの卒業要件単位に含むことができる
			52819	アカデミック・ライティングA2		1	
	52320		アカデミック・ライティングB1	1			
	52820		アカデミック・ライティングB2	1			
	52321		アカデミック・ライティングC1	1			
	52821		アカデミック・ライティングC2	1			
	52322		アカデミック・ライティングD1	1			
	52822		アカデミック・ライティングD2	1			
	52323		英語グローバルトピックA1	1			
	52823		英語グローバルトピックA2	1			
	52324		英語グローバルトピックB1	1			
	52824		英語グローバルトピックB2	1			
	52325		英語グローバルトピックC1	1			
	52825		英語グローバルトピックC2	1			
	52326		英語グローバルトピックD1	1			
	52826		英語グローバルトピックD2	1			
	52327		国際英語コミュニケーションA1	1			
	52827		国際英語コミュニケーションA2	1			
	52328	国際英語コミュニケーションB1	1				
	52828	国際英語コミュニケーションB2	1				
	52329	国際英語コミュニケーションC1	1				
	52829	国際英語コミュニケーションC2	1				
	52330	国際英語コミュニケーションD1	1				
	52830	国際英語コミュニケーションD2	1				
	ドイツ語コミュニケーション科目群	52423	ドイツ語読解基礎1	1	国際政治、国際経済、ヨーロッパ圏、アジア・日本、グローバルDEIは、本科目群から8単位までプログラムの卒業要件単位に含むことができる		
		52923	ドイツ語読解基礎2	1			
		52979	ドイツ語コミュニケーション初級1	1			
		52980	ドイツ語コミュニケーション初級2	1			
		52981	ドイツ語コミュニケーション初級3	1			
		52982	ドイツ語コミュニケーション初級4	1			
		52983	ドイツ語コミュニケーション初級5	1			
		52984	ドイツ語コミュニケーション初級6	1			
52985		ドイツ語コミュニケーション中級1	1				
52986		ドイツ語コミュニケーション中級2	1				
52987		ドイツ語コミュニケーション中級3	1				
52988	ドイツ語コミュニケーション中級4	1					
52989	ドイツ語コミュニケーション中級5	1					
52990	ドイツ語コミュニケーション中級6	1					
フランス語コミュニケーション科目群	52991	フランス語コミュニケーション初級1	1	国際政治、国際経済、ヨーロッパ圏、アジア・日本、グローバルDEIは、本科目群から8単位までプログラムの卒業要件単位に含むことができる			
	52992	フランス語コミュニケーション初級2	1				
	52993	フランス語コミュニケーション初級3	1				
	52994	フランス語コミュニケーション初級4	1				
	52995	フランス語コミュニケーション初級5	1				
	52996	フランス語コミュニケーション初級6	1				
	52997	フランス語コミュニケーション初級7	1				
	52998	フランス語コミュニケーション初級8	1				
	52999	フランス語コミュニケーション中級1	1				
	53000	フランス語コミュニケーション中級2	1				
	53001	フランス語コミュニケーション中級3	1				
	53002	フランス語コミュニケーション中級4	1				
	53003	フランス語コミュニケーション中級5	1				
	53004	フランス語コミュニケーション中級6	1				
	53005	フランス語コミュニケーション中級7	1				
53006	フランス語コミュニケーション中級8	1					

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
言語系専門科目群	53007	スペイン語コミュニケーション初級1	1	国際政治、国際経済、ヨーロッパ圏、アジア・日本、グローバルDEIは、本科目群から8単位までプログラムの卒業要件単位に含むことができる	
	53008	スペイン語コミュニケーション初級2	1		
	53009	スペイン語コミュニケーション初級3	1		
	53010	スペイン語コミュニケーション初級4	1		
	53011	スペイン語コミュニケーション初級5	1		
	53012	スペイン語コミュニケーション初級6	1		
	53013	スペイン語コミュニケーション初級7	1		
	53014	スペイン語コミュニケーション初級8	1		
	53015	スペイン語コミュニケーション中級1	1		
	53016	スペイン語コミュニケーション中級2	1		
	53017	スペイン語コミュニケーション中級3	1		
	53018	スペイン語コミュニケーション中級4	1		
	53019	スペイン語コミュニケーション中級5	1		
	53020	スペイン語コミュニケーション中級6	1		
	53021	スペイン語コミュニケーション中級7	1		
	53023	スペイン語コミュニケーション中級8	1		
	53024	ロシア語コミュニケーション初級1	1		国際政治、国際経済、ヨーロッパ圏、アジア・日本、グローバルDEIは、本科目群から8単位までプログラムの卒業要件単位に含むことができる
	53025	ロシア語コミュニケーション初級2	1		
	53026	ロシア語コミュニケーション初級3	1		
	53027	ロシア語コミュニケーション初級4	1		
	53028	ロシア語コミュニケーション初級5	1		
	53029	ロシア語コミュニケーション初級6	1		
	53030	ロシア語コミュニケーション初級7	1		
	53031	ロシア語コミュニケーション初級8	1		
	53032	ロシア語コミュニケーション中級1	1		
	53033	ロシア語コミュニケーション中級2	1		
	53034	ロシア語コミュニケーション中級3	1		
	53035	ロシア語コミュニケーション中級4	1		
	専門教育科目	36001	インターンシップ	2	
		36002	卒業論文	6	必修
		36108	異文化体験実習Ⅰ（海外）	1	
		36101	異文化体験実習Ⅰ（海外）	2	
		36102	異文化体験実習Ⅰ（海外）	3	
		36103	異文化体験実習Ⅰ（海外）	4	
		36104	異文化体験実習Ⅰ（海外）	5	
36105		異文化体験実習Ⅰ（海外）	6		
36106		異文化体験実習Ⅰ（海外）	7		
36107		異文化体験実習Ⅰ（海外）	8		
36201		異文化体験実習Ⅱ（海外）	2		
36323		日本史要説A	1		
36324		日本史要説B	1		
36325		東洋史要説A	1		
36326		東洋史要説B	1		
36327		政治学A	1		
36328		政治学B	1		
36335		社会学概論1	1		
36336		社会学概論2	1		
36329		漢文学概説1	1		
36330		漢文学概説2	1		
36331		漢文学史A1	1		
36332		漢文学史A2	1		
36317		書写書道基礎	2		
52248		地理学概論B	2		
36321		哲学概論A	2		
36322		哲学概論B	2		
36333		英米言語文化概説A	1		
36334		英米言語文化概説B	1		
36513		ELPセンター英語セミナー1	1		
36514		ELPセンター英語セミナー2	1		
36515		ELPセンター英語セミナー3	1		
36516		ELPセンター英語セミナー4	1		
36501		外国語コミュニケーション	1		
36502		外国語コミュニケーション	2		
36503	外国語コミュニケーション	3			
36504	外国語コミュニケーション	4			
36505	外国語コミュニケーション	5			
36506	外国語コミュニケーション	6			
36507	外国語コミュニケーション	7			
36508	外国語コミュニケーション	8			
36509	外国語コミュニケーション	9			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
専門教育科目	学類共通専門科目	36510	外国語コミュニケーション	10	
		36511	外国語コミュニケーション	11	
		36512	外国語コミュニケーション	12	
		36601	国際学特別研究	1	
		36602	国際学特別研究	2	
		36603	国際学特別研究	3	
		36604	国際学特別研究	4	
		36605	国際学特別研究	5	
		36606	国際学特別研究	6	
		36607	国際学特別研究	7	
		36608	国際学特別研究	8	
		36609	国際学特別研究	9	
		36610	国際学特別研究	10	
		36611	国際学特別研究	11	
		36612	国際学特別研究	12	
		36701	社会実習ボランティア活動	1	
		36702	社会実習ボランティア活動	2	
		36703	社会実習ボランティア活動	3	
		36704	社会実習ボランティア活動	4	
		36613	研究演習A1	1	8科目から4単位 必修
36614	研究演習A2	1			
36615	研究演習A3	1			
36616	研究演習A4	1			
36617	研究演習B1	1			
36618	研究演習B2	1			
36619	研究演習B3	1			
36620	研究演習B4	1			

別表第5（第8条関係）
履修登録単位数の上限

学期	1年				2年				3年				4年			
	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
人文学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
法学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
経済学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
学校教育学類 共同教員養成 課程	12	12	12	12	16	16	16	16	16	16	16	16	12	12	12	12
地域創造学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
国際学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

別表第 6 免許状の種類 (略)

別表第 7 教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科 (保育内容) の指導法 (略)

別表第 8 大学が独自に設定する科目 (略)

別表第 9 特別支援教育に関する科目 (略)

別表第 10-1 公認心理師養成プログラム 単位配当表 (略)

別表第 10-2 公認心理師養成プログラム履修要件科目 (略)

国際学類細則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この細則は、金沢大学人間社会学域規程（以下「規程」という。）に基づき、国際学類（以下「本学類」という。）における授業科目の単位修得に関する要件及び履修方法等について、必要な事項を定める。

第2章 プログラム

(プログラム・規程第5条第1項関係)

第2条 学生は、本学類に置かれるプログラムを選択して履修しなければならない。

2 学生は、第1学年の後学期の所定の期日までに、志望するプログラムを複数選択し、第2学年の後学期の所定の期日までに、そのうちから主専攻プログラムを選択し、学類長に届け出なければならない。

3 本学類に置かれる主専攻プログラムの適正上限数は次のとおりとする。

学域	学類	系	プログラム	適正上限数
人間社会学域	国際学類	国際関係・ 国際協力系	国際政治プログラム	上限なし
			国際政治Eプログラム	上限なし
			国際経済プログラム	上限なし
			国際経済Eプログラム	上限なし
		地域研究系	英語圏研究プログラム	上限なし
			英語圏研究Eプログラム	上限なし
			ヨーロッパ圏研究プログラム	上限なし
			アジア・日本研究プログラム	上限なし
		インクルーシブ 社会構築系	グローバルDEIプログラム	上限なし
			日本語教育プログラム	15名

4 プログラムの志望者数が前項に定める適正上限数を超過したときは、GPA値及び面接により、選考を行う。

(選択プログラムの変更・規程第27条関係)

第3条 学生は、プログラムを変更しようとするときは、学類長に願い出なければならない。

2 プログラム変更の時期は、学年の始めとする。ただし、留学等の事由がある場合については、学期の始めとすることができる。

(修得すべき単位数等・規程第6条、第7条関係)

第4条 修得すべき単位数は、規程第6条第1項の定めるところによる。

2 規程別表第2に定める単位修得要件の詳細は別表第1のとおりとする。

3 規程別表第3-1及び3-2に定める授業科目の修得すべき単位数は、別表第2の1及び第2の2のとおりとする。

4 規程別表第4に定める授業科目群の修得すべき単位数は、選択するプログラムに応じて、別表第3及び別表第4-1から4-10のとおりとする。

5 専門基礎科目及び各プログラムの専門必修・選択必修科目の修得すべき単位数を超えた単位は、選択科目の単位として認定する。

6 規程第8条第4項の規定により、直前の学期までの成績が、金沢大学履修規程第15条の定めるところにより算出したGPA値で2.7以上である者については、規程別表第5に定める履修登録単位数の上限を解除する。

7 本学に入学後、本学類に所属する以前に修得した専門教育科目のうち、本学類専門教育科目としても開講している学域GS科目及び他学類専門科目については、審査の上、本学類専門教育科目として読替える。

(他学域・他学類における授業科目の履修)

第5条 規程第10条の規定により履修した他学類の授業科目については、24単位まで、本学類の選択科目の単位として認定する。

第3章 試験及び成績評価

(出席時間数)

第6条 規程第16条第3項の規定により単位の認定を受けるに必要な出席時間数は、出席すべき時数(実際に授業を行った時数)の3分の2以上を原則とする。

第7条 本学類の授業科目における試験の期日と方法は、シラバス等によりあらかじめ公示する。

2 試験の当日に病気その他やむを得ない事由のために欠席した学生については、担当教員がその事由を妥当と認めた場合、追試験を行うことがある。

(GPA値の利用項目・規程第20条関係)

第8条 規程第20条の規定により、本学類においてGPA値を利用する項目は以下のとおりとする。

- (1) プログラムの決定に際しての選考における参考資料
- (2) 転学類、プログラム変更の際しての選考における参考資料
- (3) アドバイス教員による学生指導の参考資料

(再履修)

第9条 本学類における再履修については、不可・放棄と評価された専門教育科目と同一科目を次学期・クォーター以降に再履修した場合は、GPA算出の際には分母をダブルカウントしないものとする。なお、同一科目とは別途指示する時間割に記載の枝番号を含めた授業科目とする。

第4章 卒業論文(規程第6条第4項関係)

(卒業論文提出資格)

第10条 卒業論文を提出するためには、主専攻プログラムにおいて原則2学期学修していなければならない。ただし、留学等の事由がある場合については、1学期学修すれば足りるものとする。

(早期卒業)

第10条の2 前条の規定にかかわらず、本学類に3年以上在学し又は在学が見込まれる者で、規程で定める卒業要件に必要な単位を9割以上修得済みであり、かつ、直近の学期までのGPA値が3.0以上である場合は、早期卒業を申請することができる。

ただし、再入学及び転入学をした者については、早期卒業を認めない。

2 早期卒業を申請する場合は、9月末卒業予定者については同年度の5月末まで、3月卒業予定者については、同年度の11月末までに、早期卒業を申請しなければならない。

3 早期卒業の申請があった場合は、卒業論文の提出について、本学類の教務・学生生活委員会及び学類会議の承認を得ることを要する。

4 早期卒業を申請した者は、規程で定める卒業に必要な単位を、卒業論文を含めGPA値が3.0以上の優秀な成績で修得したと認められる場合は、教育研究会議の議を経て卒業を認定することができる。

(卒業論文提出期限)

第11条 卒業論文は、1月11日(当日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は、休日明けの日)午後5時までに、所定の場所へ提出しなければならない。ただし、9月末卒業予定者については、7月21日(当日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は、休日明けの日)午後5時までとする。

(卒業論文の評価)

第12条 卒業論文の評価は、提出論文の審査により行う。

第5章 転学類等

(再入学)

第13条 規程第23条第2項の規定により、本学類へ再入学の出願資格及び選抜方法については別に定める。

(転入学)

第14条 規程第24条第2項の規定により、本学類へ転入学の出願資格及び選抜方法については別に定める。

(転学類)

第15条 規程第26条第2項の規定により、本学類へ転学類の出願資格及び選抜方法については別に定める。

第6章 編入学

(編入学年次)

第16条 編入学した学生の編入学時の所属年次は第3年次とする。

(プログラム選択)

第17条 編入学者は本学類に置かれる主専攻プログラムの一を入学時に選択するものとする。ただし、定員超過により、選択可能な主専攻プログラムが志望順位の低いプログラムとされる場合があり得るものとする。

(単位の認定)

第18条 編入学をした者には、共通教育科目36単位、学域GS科目8単位、学域GS言語科目I 1単位、学域GS言語科目II 1単位、専門基礎科目6単位、言語コミュニケーション科目8単位の合わせて60単位

を一括して認定するものとする。

(専門科目の履修方法及び卒業要件)

第19条 専門教育科目の履修方法及び卒業要件については細則第4条及び第5条のとおりとする。

(卒業)

第20条 編入学した者が、本学類に2年以上在学し、前条に定める卒業に必要な単位数を修得した場合には、教育研究会議の議を経て卒業を認定する。

第7章 教育職員免許

第21条 規程第38条及び第39条の規定により、共通教育科目、「教科(領域)に関する専門的事項」、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科(保育内容)の指導法」の履修方法等は、別に定める。

第8章 雑 則

(改正)

第22条 本細則の改正は、学類会議の議による。

(補則)

第23条 本細則に定めるもののほか、必要な事項は、学類会議が定める。

附則

(略)

附則

1 この細則は、平成28年4月1日から施行する。

2 平成28年3月31日に在学する者においては従前の例による。

ただし、細則別表第3のうち、「韓国・北朝鮮研究1」、「韓国・北朝鮮研究2」、「東アジア社会と教育A1」、「東アジア社会と教育A2」、「東アジア社会と教育B1」、「東アジア社会と教育B2」、「国際経済学1E」、「国際経済学2E」、「国際開発論1」、「国際開発論2」、「国際開発論1E」、「国際開発論2E」、「英語圏文化論1E」、「英語圏文化論2E」、「異文化体験実習I(海外)」については、平成28年3月31日に在学する者についても適用する。

附則

1 この細則は、平成28年10月1日から施行する。

附則

1 この細則は、平成29年4月1日から施行する。

2 平成29年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、細則別表第2の1の学域GS科目のうち、GS科目発展系科目群については、平成28年度入学者についても適用する。

3 改正後の細則別表第3のうち、「国際公共経済論A1」、「国際公共経済論A2」、「国際コミュニケーション

ン論 1], 「国際コミュニケーション論 2], 「国際金融論 A1], 「国際金融論 A2], 「日本語教育評価法 1], 「韓国・北朝鮮比較研究 1], 「韓国・北朝鮮比較研究 2], 「英語圏文化論 1], 「英語圏文化論 2], 「西洋経済史 B」については、平成 28 年度入学者にのみ適用する。

4 前項の規定のほか、平成 29 年 3 月 31 日に在学する者については、改正後の細則別表第 3 のうち、「東アジア社会と教育 A1 (52245)」、「東アジア社会と教育 A2 (52745)」、「東アジア社会と教育 B1 (52246)」、「東アジア社会と教育 B2 (52746)」, 「異文化体験実習 I (アメリカ)」、「異文化体験実習 II (アメリカ)」を除き、なお従前の例による。ただし、改正後の細則別表第 3 における「アフリカ概説 1]、「アフリカ概説 2]、「日本文化体験 A (16238)」、「日本文化体験 B (16239)」、「現代中国論 A1]、「現代中国論 A2]、「現代中国論 B1]、「現代中国論 B2]、「現代中国論 1E]、「現代中国論 2E]、「国際社会研究演習 A1]、「国際社会研究演習 A2]、「国際社会研究演習 A3]、「国際社会研究演習 A4]、「国際社会研究演習 B1]、「国際社会研究演習 B2]、「国際社会研究演習 B3]、「国際社会研究演習 B4]、「日本語教育実習 A (1 単位)」、「日本語教育実習 B (1 単位)」、「日本史特論 1]、「日本史特論 2]、「海外日本語教育実習]、「日本研究演習 A1]、「日本研究演習 A2]、「日本研究演習 A3]、「日本研究演習 A4]、「日本研究演習 B1]、「日本研究演習 B2]、「日本研究演習 B3]、「日本研究演習 B4]、「中国の文化と社会 1E (52244)」、「中国の文化と社会 2E (52744)」、「朝鮮語コミュニケーション Va]、「朝鮮語コミュニケーション Vb]、「朝鮮語コミュニケーション VIa]、「朝鮮語コミュニケーション VIb]」、「アジア研究演習 A1]、「アジア研究演習 A2]、「アジア研究演習 A3]、「アジア研究演習 A4]、「アジア研究演習 B1]、「アジア研究演習 B2]、「アジア研究演習 B3]、「アジア研究演習 B4]、「Business Communication (52375)」、「米英研究演習 A1]、「米英研究演習 A2]、「米英研究演習 A3]、「米英研究演習 A4]、「米英研究演習 B1]、「米英研究演習 B2]、「米英研究演習 B3]、「米英研究演習 B4]、「美術史 1E (52410)」、「美術史 2E (52910)」、「ヨーロッパ研究特論 3E]、「ヨーロッパ研究特論 4E]、「ヨーロッパ研究演習 A1]、「ヨーロッパ研究演習 A2]、「ヨーロッパ研究演習 A3]、「ヨーロッパ研究演習 A4]、「ヨーロッパ研究演習 B1]、「ヨーロッパ研究演習 B2]、「ヨーロッパ研究演習 B3]、「ヨーロッパ研究演習 B4]、「社会学」については、平成 28 年度入学者から適用する。

附則

- 1 この細則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 30 年 3 月 31 日に在学する者については、なお従前の例による。

附則

- 1 この細則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年 3 月 31 日に在学する者については、改正後の細則別表第 3 における「地理学概論 B]、「英語学概説 E]、「ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義 A]、「ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義 B]、「ヨーロッパ・アフリカ史演習 A]、「ヨーロッパ・アフリカ史演習 B]、「ヨーロッパ・アフリカ史演習 C]、「ヨーロッパ・アフリカ史演習 D]、「ヨーロッパ・アフリカ史演習 E] 及び「ヨーロッパ・アフリカ史演習 F] を除き、なお従前の例による。ただし、改正後の細則別表第 3 における「日本語教授法 B] 及び「日本語教授法演習 (教育実習)」については、平成 29 年度入学者から適用する。

附則

- 1 この細則は、令和2年4月1日から施行し、令和2年度入学者から適用する。
- 2 令和2年3月31日に在学するものについては、なお従前の例による。
- 3 令和2年度に2年生及び3年生として在学する者は、第4条第7項及び第10条の2を適用する

附則

- 1 この細則は、令和3年4月1日から施行し、令和3年度入学者から適用する。
- 2 令和3年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、細則別表3のうち、「比較教育学1E」及び「比較教育学2E」については、平成30年度入学者から適用する。

附則

- 1 この細則は、令和4年4月1日から施行し、令和4年度入学者から適用する。
- 2 令和4年3月31日に在学するものについては、なお従前の例による。

附則

- 1 この細則は、令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学者から適用する。
- 2 令和5年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、改正後の細則別表第3における「グローバル・ガバナンス論 E」, 「米英研究 A1」, 「米英研究 A2」, 「マイノリティとメディア文化論 1E」, 「マイノリティとメディア文化論 2E」及び言語系専門科目群のうちロシア語コミュニケーション科目群の改正規定、別表第4-1、別表第4-2、別表第4-3及び別表第4-4における「グローバル・ガバナンス論 E」, 別表第4-6における「米英研究 A1」及び「米英研究 A2」, 別表第4-9における「マイノリティとメディア文化論 1E」及び「マイノリティとメディア文化論 2E」については、令和4年度入学者から適用する。

附則

- 1 この細則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和6年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

非常時等における緊急登学停止措置に関する要項（抄）

この要項は、学生の安全・安心の確保及び非常時等における学修機会の確保を担保しつつ、円滑な教育の推進を目的に、暴風警報、大雨警報、大雪警報等及び各種特別警報（以下、「警報」という。）の発令や地震等の自然災害等による公共交通機関の運休並びに学内事故等で、授業及び試験（以下、「授業等」という。）の実施が困難となった場合の取扱いに関し、必要な事項を定める。

（登学停止措置）

1. 警報の発令や不測の事態が生じ、学生・職員（非常勤講師を含む。以下、同じ）の通学・通勤の著しい困難が予見される場合や授業の実施が困難となる恐れが高いと本学が判断する場合、危機管理担当理事は全学生を対象に「緊急登学停止」の措置（帰宅命令を含む。以下、「登学停止措置」という。）を発令することができる。

（対象とする事例）

2. 警報の発令等により、北陸鉄道バス「金沢大学路線（金沢駅～金沢大学間）」が運休又は運休の可能性が高いと判断する場合、危機管理担当理事は教育担当理事の要請に基づき、学生に「緊急登学停止」の措置を発令し、これを学長に報告する。

なお、発令に際し、危機管理担当理事は、関係理事と事前協議を行い、前日の15時までに登学停止措置発令の有無を決定するよう努める。

（授業欠席の配慮）

3. 前項に規定するもののほか、公共交通機関の運休・不通により学生が授業等を欠席した場合、授業担当教員は欠席による不利益を与えないよう配慮するものとする。

（授業の取扱い）

4. 登学停止措置発令時における授業等は、休講とはせず、動画やオンライン教材等を用いたオンデマンド型の遠隔授業（以下、「オンライン授業」という。）で実施することを原則とする。

なお、登学停止措置発令時は当該一日の授業等は全てオンライン授業で実施することとし、授業担当教員は学生に対面授業実施等のため、登学を求めてはならない。

（登学停止措置の通知）

5. 登学停止措置発令に際し、学生及び職員へは金沢大学緊急連絡システム（C-SIREN）を介し通知するとともに、本学 Web サイト及びアカンサスポータルに情報を掲載し広く周知する。

6. (略)

(その他)

7. 第2に規定するもののほか、危機管理担当理事は、重篤な感染症の発生や、火災、大規模停電、その他の重大な事件又は事故により授業の実施が困難と判断する場合、登学停止措置の他、授業等を休講とすることができる。

学生及び職員への通知は登学停止措置に準ずる。

8. 各部局長は、第2及び第7の規定にかかわらず、授業実施に関して、大学全体と状況を異にすると判断する場合は、危機管理担当理事の許可を経て、学生の安全、公平が確保できる範囲内で、独自に授業の実施又は登学停止の措置をとることができる。

附則 (略)

角間北地区校舎配置図

角間地区建物等配置図

人間社会第1講義棟・1号館[※]・2号館[※]

人間社会第2講義棟・4号館[※]・5号館[※]

総合教育1号館[※]・2号館・講義棟

[※]国際学類専任教員・準専任教員の教員室を表示しています。
(専任は網かけ)

人間社会1号館～5号館の建物等配置図（教員研究室を含む）は、学内のPCまたはタッチパネル式端末から金沢大学公式Webサイトの次のアドレスを開き、最新情報を確認してください。

金沢大学角間北地区建物案内図（学内からのアクセス専用）
<http://center.ed.kanazawa-u.ac.jp/maps/>

角間地区建物等配置図

(注)

- 環状道路で囲まれた内側のアカデミックゾーン内は、諸車進入禁止です。
- 環状道路の最高速度は時速20kmです。
- 指定の駐車場及び駐輪場以外は、自動車及び二輪の駐車禁止です。
- 横断歩道、交差点、カーブは徐行してください。
- アカデミックゾーン内は、スケートボード等は禁止です。
- 角間キャンパスは敷地内禁煙です(灰皿設置の場所を除く)。

